

7 都市計画・街づくり

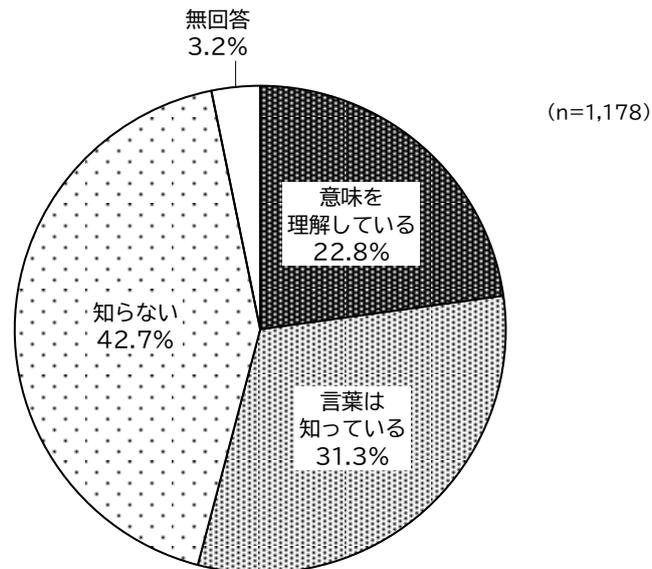
(1) 生物多様性の認知度

問26 「生物多様性」について知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

①全体

「知らない」が42.7%で最も高くなっている。「言葉は知っている」は31.3%、「意味を理解している」は22.8%である。

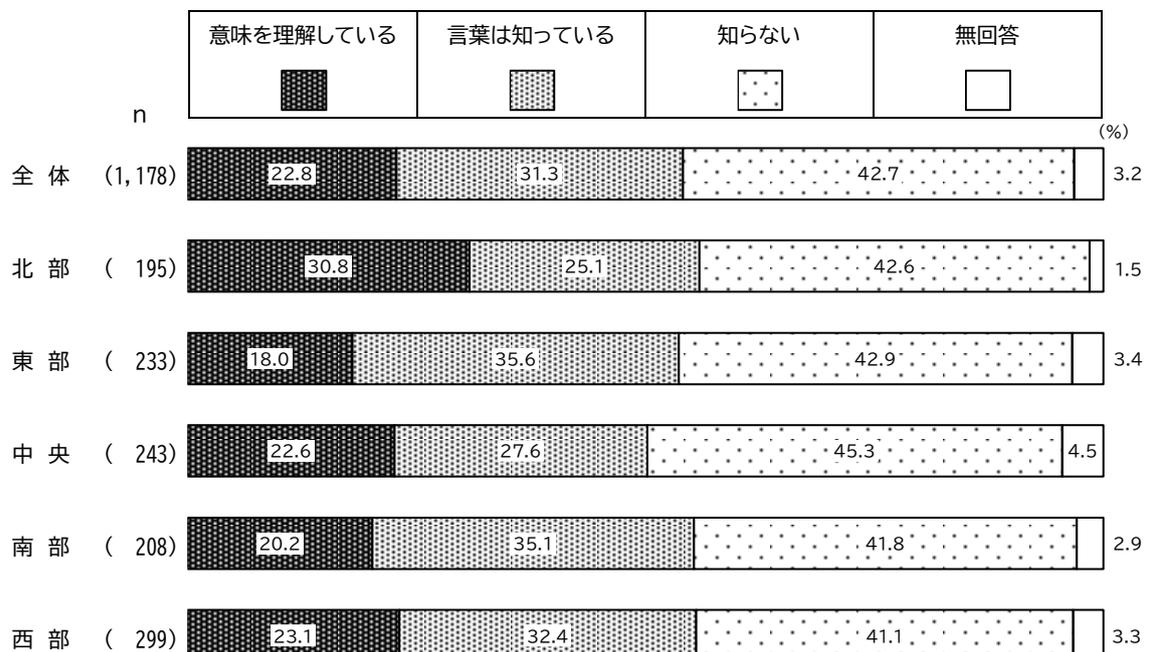
図7-1-1 生物多様性の認知度(全体)



②地区別

「意味を理解している」は北部地区(30.8%)が最も高く3割を超え、その他の地区は2割前後となっている。「言葉は知っている」は東部地区(35.6%)と南部地区(35.1%)で高く、「知らない」は中央地区(45.3%)で最も高くなっている。

図7-1-2 生物多様性の認知度(地区別)

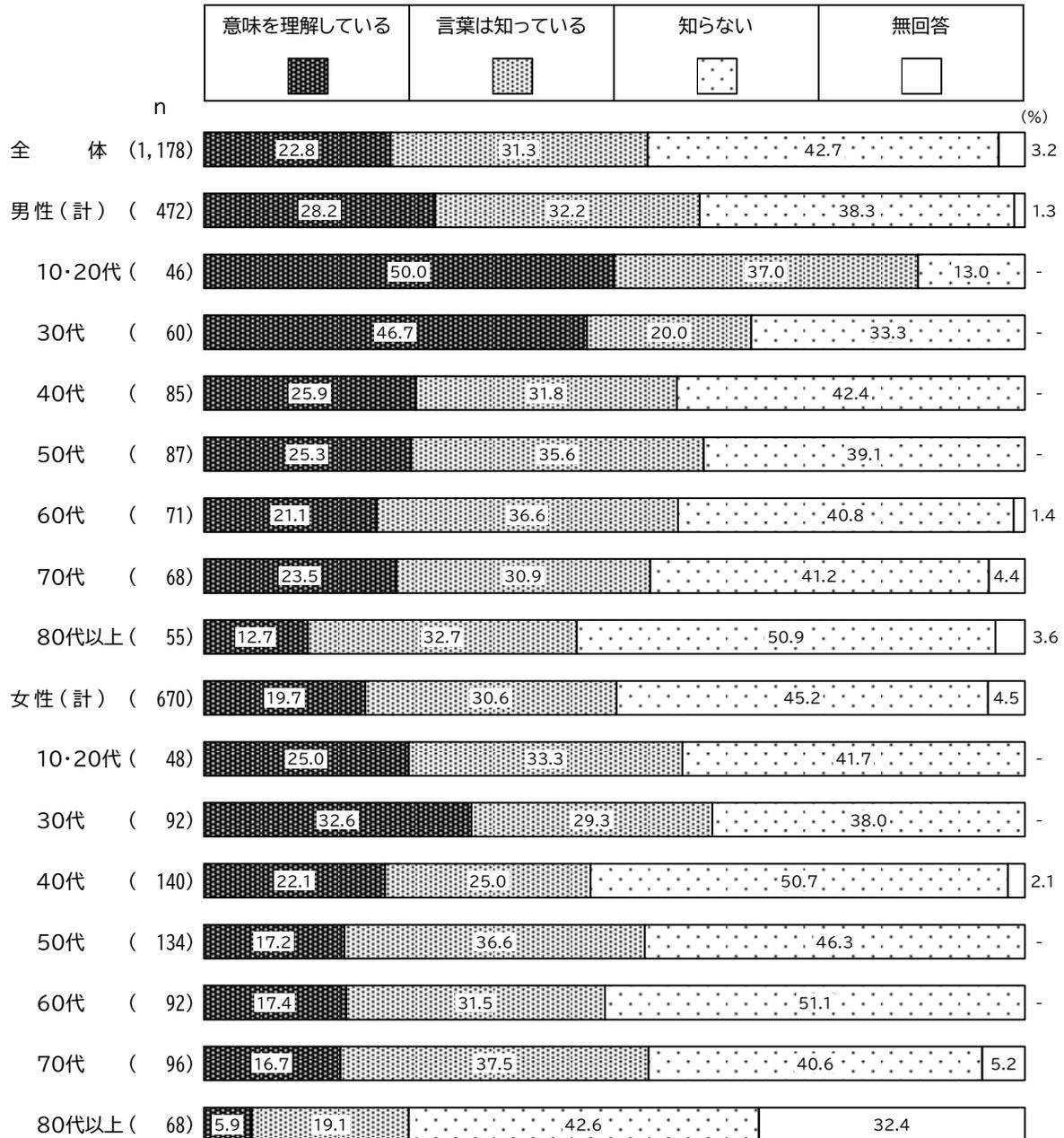


③性・年代別

「意味を理解している」は男性の10・20代(50.0%)が最も高く、次いで男性の30代(46.7%)が高くなっている。「意味を理解している」と「言葉は知っている」を合わせた『知っている』は男女とも30代以下の若年層の方が高く、各年代とも女性より男性の方が高い。

一方、「知らない」は男性の80代以上(50.9%)、女性の40代(50.7%)と60代(51.1%)で5割を超えている。

図7-1-3 生物多様性の認知度(性・年代別)



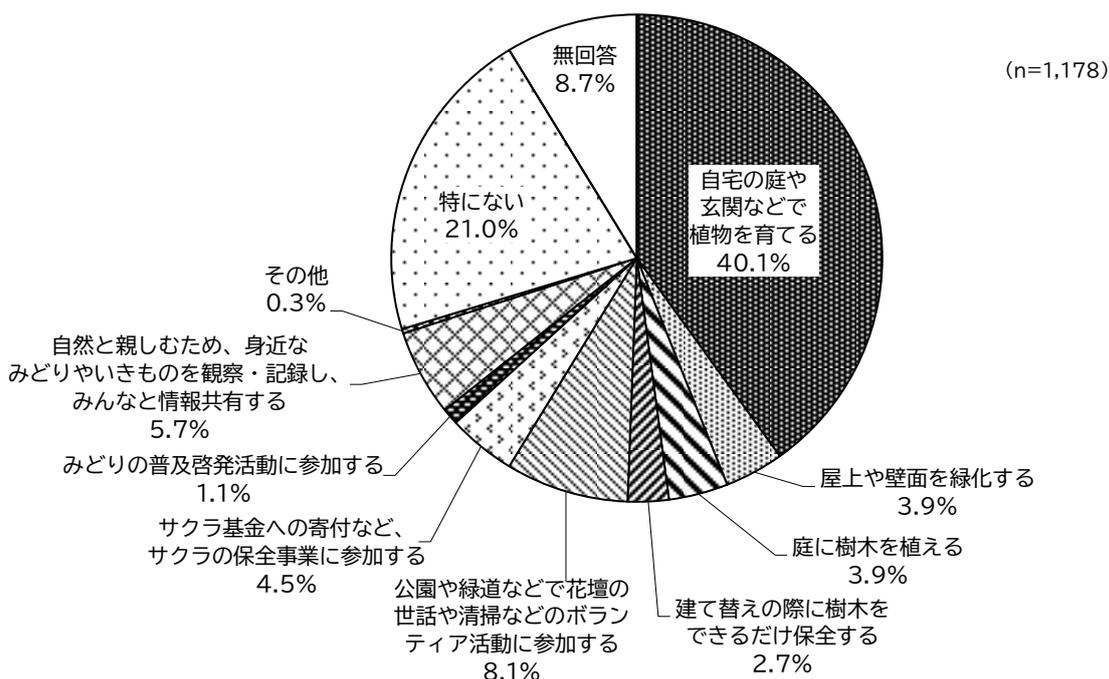
(2) みどりのまちづくりのために協力できること、やってみたいこと

問27 区では、「目黒区みどりの基本計画」を策定し、みどりの保全・創出・育成に努めています。そこで、魅力あるみどりのまちづくりのために、あなたが協力できること、やってみたいことは何ですか。(もっともあてはまるもの1つに○)

①全体

「自宅の庭や玄関などで植物を育てる」が40.1%で最も高くなっている。「特にない(21.0%)」を除くと、次いで、「公園や緑道などで花壇の世話や清掃などのボランティア活動に参加する」が8.1%となっている。

図7-2-1 みどりのまちづくりのために協力できること、やってみたいこと (全体)



②地区別

「自宅の庭や玄関などで植物を育てる」は中央地区(45.7%)で最も高く、東部地区、南部地区、西部地区も4割前後となっている。

表7-2-1 みどりのまちづくりのために協力できること、やってみたいこと (地区別)

	n	自宅の庭や玄関などで植物を育てる	屋上や壁面を緑化する	庭に樹木を植える	建て替えの際に樹木をできるだけ保全する	公園や緑道などで花壇の世話や清掃などのボランティア活動に参加する	桜基金への寄付など、桜の保全事業に参加する	みどりの普及啓発活動に参加する	自然と親しむため、身近なみどりやいきものを観察・記録し、みんなと情報共有する	その他	特にない	無回答
全体	1,178	40.1	3.9	3.9	2.7	8.1	4.5	1.1	5.7	0.3	21.0	8.7
北部	195	32.3	3.6	3.6	4.6	9.2	6.7	-	6.2	0.5	25.1	8.2
東部	233	39.1	4.3	2.6	2.1	8.6	4.7	2.1	6.9	0.4	21.9	7.3
中央	243	45.7	4.5	5.8	1.2	6.2	3.3	0.4	5.3	-	19.8	7.8
南部	208	39.9	4.3	3.8	3.8	8.2	2.9	1.0	5.3	-	24.0	6.7
西部	299	41.5	3.0	3.7	2.3	8.7	5.0	1.7	5.0	0.3	16.4	12.4

③性・年代別

「自宅の庭や玄関などで植物を育てる」は女性の10・20代(50.0%)が最も高く、次いで女性の30代(47.8%)、男性の50代(46.0%)が高くなっている。「公園や緑道などで花壇の世話や清掃などのボランティア活動に参加する」は男性の10・20代(15.2%)が最も高く、女性の30代、50～60代も1割を超えている。「自然と親しむため、身近なみどりやいきものを観察・記録し、みんなと情報共有する」は男性の30代(11.7%)、男性の70代(10.3%)で1割を超え、「屋上や壁面を緑化する」は男性の10・20代(10.9%)で1割を超えている。

表7-2-2 みどりのまちづくりのために協力できること、やってみたいこと(性・年代別)

(%)

	n	自宅の庭や玄関などで植物を育てる	屋上や壁面を緑化する	庭に樹木を植える	建て替えの際に樹木をできるだけ保全する	公園や緑道などで花壇の世話や清掃などのボランティア活動に参加する	サクラ基金への寄付など、サクラの保全事業に参加する	みどりの普及啓発活動に参加する	自然と親しむため、身近なみどりやいきものを観察・記録し、みんなと情報共有する	その他	特になし	無回答
全体	1,178	40.1	3.9	3.9	2.7	8.1	4.5	1.1	5.7	0.3	21.0	8.7
男性計	472	37.7	3.6	4.9	2.1	5.9	4.9	1.1	6.8	-	24.8	8.3
10・20代	46	34.8	10.9	2.2	2.2	15.2	2.2	2.2	4.3	-	23.9	2.2
30代	60	33.3	1.7	6.7	3.3	3.3	6.7	3.3	11.7	-	28.3	1.7
40代	85	40.0	5.9	3.5	1.2	4.7	9.4	-	7.1	-	23.5	4.7
50代	87	46.0	4.6	5.7	1.1	4.6	4.6	-	4.6	-	23.0	5.7
60代	71	38.0	2.8	4.2	2.8	8.5	2.8	-	4.2	-	25.4	11.3
70代	68	29.4	-	4.4	2.9	4.4	4.4	2.9	10.3	-	29.4	11.8
80代以上	55	38.2	-	7.3	1.8	3.6	1.8	-	5.5	-	20.0	21.8
女性計	670	42.2	4.3	3.3	2.8	10.0	4.2	1.2	4.9	0.3	18.2	8.5
10・20代	48	50.0	2.1	6.3	-	6.3	6.3	-	4.2	-	22.9	2.1
30代	92	47.8	6.5	1.1	6.5	13.0	4.3	-	5.4	-	12.0	3.3
40代	140	44.3	5.0	2.1	4.3	9.3	5.0	0.7	5.7	0.7	17.9	5.0
50代	134	44.8	5.2	4.5	3.0	11.9	5.2	0.7	5.2	-	14.9	4.5
60代	92	35.9	3.3	3.3	-	14.1	5.4	2.2	8.7	-	17.4	9.8
70代	96	41.7	4.2	5.2	1.0	8.3	-	3.1	3.1	-	19.8	13.5
80代以上	68	29.4	1.5	1.5	2.9	2.9	2.9	1.5	-	1.5	29.4	26.5

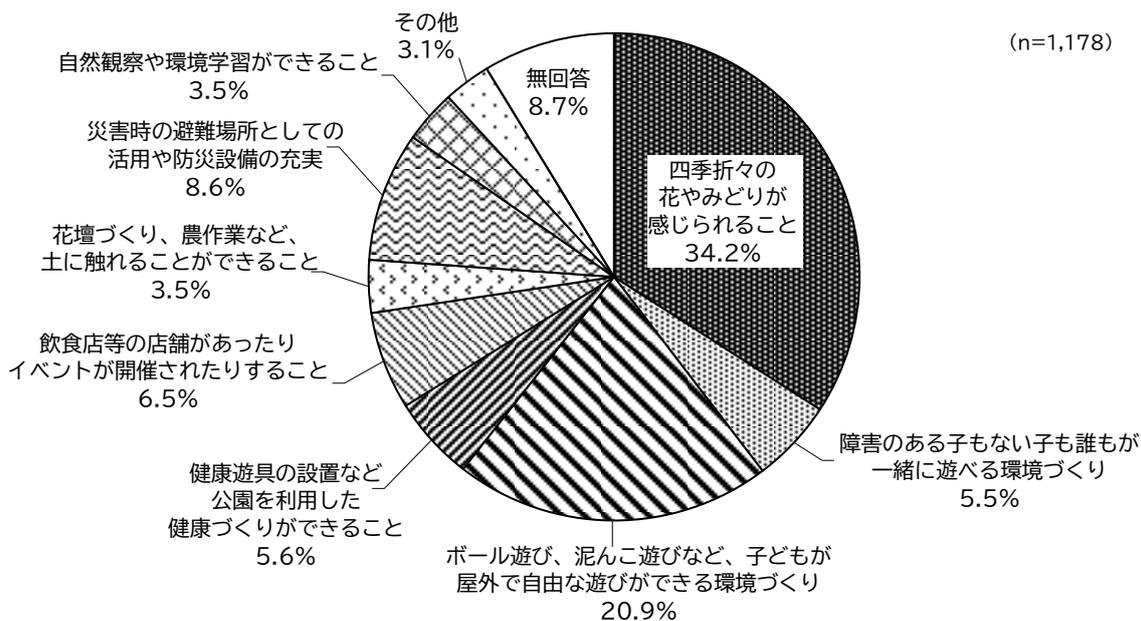
(3) 公園の魅力向上のために必要だと思うこと

問28 公園の魅力向上させるために、あなたが必要だと思うことは何ですか。
(もっとも必要だと思うこと1つに○)

①全体

「四季折々の花やみどりを感じられること」が34.2%で最も高く、次いで、「ボール遊び、泥んこ遊びなど、子どもが屋外で自由な遊びができる環境づくり (20.9%)」となっている。

図7-3-1 公園の魅力向上のために必要だと思うこと (全体)



②地区別

「四季折々の花やみどりを感じられること」は東部地区 (36.5%)、北部地区 (36.4%) がやや高くなっている。「ボール遊び、泥んこ遊びなど、子どもが屋外で自由な遊びができる環境づくり」は南部地区 (26.0%) が最も高くなっている。

表7-3-1 公園の魅力向上のために必要だと思うこと (地区別)

	n	四季折々の花やみどりを感じられること	障害のある子どもない子どもと一緒に遊べる環境づくり	ボール遊び、泥んこ遊びなど、子どもが屋外で自由な遊びができる環境づくり	健康遊具の設置など公園を利用した健康づくりができること	飲食店等の店舗があったりイベントが開催されたりすること	花壇づくり、農作業など、土に触れることができること	災害時の避難場所としての活用や防災設備の充実	自然観察や環境学習ができること	その他	無回答
全体	1,178	34.2	5.5	20.9	5.6	6.5	3.5	8.6	3.5	3.1	8.7
北部	195	36.4	3.6	21.5	4.1	9.2	3.1	7.2	3.6	4.6	6.7
東部	233	36.5	4.7	18.5	4.3	8.2	5.6	7.7	4.3	1.7	8.6
中央	243	33.7	4.9	18.1	9.9	4.9	2.5	10.3	1.6	4.1	9.9
南部	208	29.3	4.8	26.0	4.3	5.8	2.4	11.1	3.8	3.8	8.7
西部	299	34.8	8.4	21.1	5.0	5.0	3.7	7.0	4.0	1.7	9.4

③性・年代別

「四季折々の花やみどりを感じられること」は女性の10・20代と70代（共に43.8%）が最も高く、男性の80代以上と女性の50～60代も4割を超えている。「ボール遊び、泥んこ遊びなど、子どもが屋外で自由な遊びができる環境づくり」は男女とも低い年代の方が高く、男性の30代以下で4割を超え、男性の40代と女性の30代で3割を超えている。「飲食店等の店舗があったりイベントが開催されたりすること」は男性の40代（23.5%）が最も高く、「災害時の避難場所としての活用や防災設備の充実」は男女とも60代以上が1割を超えている。

表7-3-2 公園の魅力向上のために必要だと思うこと（性・年代別）

(%)

	n	四季折々の花やみどりを感じられること	障害のある子どもも一緒に遊べる環境づくり	ボール遊び、泥んこ遊びなど、子どもが屋外で自由な遊びができる環境づくり	健康遊具の設置など公園を利用した健康づくりができること	飲食店等の店舗があったりイベントが開催されたりすること	花壇づくり、農作業など、土に触れることができること	災害時の避難場所としての活用や防災設備の充実	自然観察や環境学習ができること	その他	無回答
全体	1,178	34.2	5.5	20.9	5.6	6.5	3.5	8.6	3.5	3.1	8.7
男性計	472	30.5	4.9	25.8	5.7	7.8	3.0	8.5	3.6	2.8	7.4
10・20代	46	34.8	4.3	45.7	2.2	-	4.3	4.3	-	4.3	-
30代	60	13.3	1.7	48.3	8.3	13.3	5.0	3.3	1.7	1.7	3.3
40代	85	18.8	5.9	30.6	7.1	23.5	3.5	2.4	3.5	2.4	2.4
50代	87	39.1	3.4	24.1	8.0	4.6	-	5.7	4.6	4.6	5.7
60代	71	35.2	5.6	11.3	5.6	4.2	7.0	12.7	2.8	1.4	14.1
70代	68	32.4	7.4	17.6	5.9	2.9	1.5	13.2	7.4	1.5	10.3
80代以上	55	41.8	5.5	9.1	-	-	-	20.0	3.6	3.6	16.4
女性計	670	37.2	6.0	17.6	5.8	5.2	3.9	8.8	3.4	3.3	8.8
10・20代	48	43.8	6.3	25.0	8.3	8.3	2.1	-	-	-	6.3
30代	92	27.2	4.3	35.9	9.8	13.0	2.2	3.3	1.1	3.3	-
40代	140	34.3	6.4	25.0	1.4	5.0	5.0	5.0	4.3	5.7	7.9
50代	134	41.0	6.0	15.7	6.7	6.0	4.5	6.7	2.2	4.5	6.7
60代	92	41.3	5.4	8.7	5.4	2.2	3.3	13.0	8.7	-	12.0
70代	96	43.8	5.2	6.3	9.4	1.0	6.3	14.6	2.1	3.1	8.3
80代以上	68	29.4	8.8	4.4	1.5	1.5	1.5	20.6	4.4	2.9	25.0

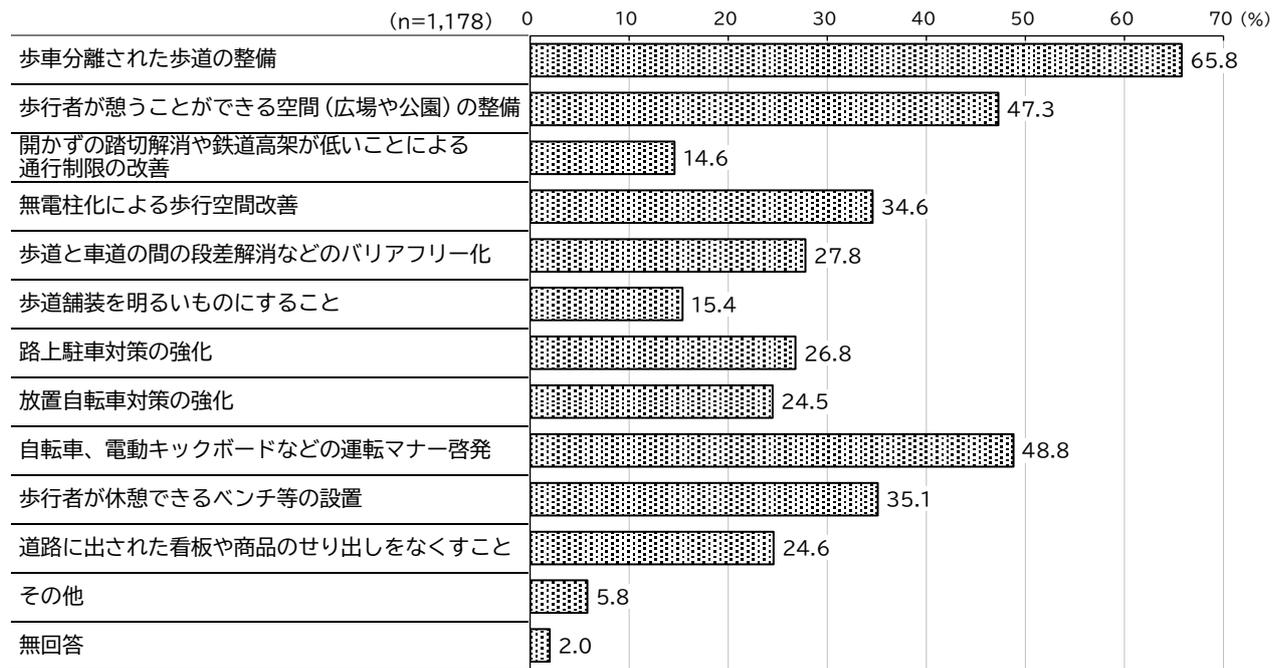
(4) 歩きたくなる空間づくりのために必要な取組

問29 区では「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりを進めています。歩きたくなる空間づくりのためにはどのような取組が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

①全体

「歩車分離された歩道の整備」が65.8%で最も高く、次いで、「自転車、電動キックボードなどの運転マナー啓発(48.8%)」、「歩行者が憩うことができる空間(広場や公園)の整備(47.3%)」となっている。

図7-4-1 歩きたくなる空間づくりのために必要な取組(全体)



②地区別

西部地区は「無電柱化による歩行空間改善」(42.8%)と「開かずの踏切解消や鉄道高架が低いことによる通行制限の改善」(26.1%)が他地区に比べ高くなっている。

表7-4-1 歩きたくなる空間づくりのために必要な取組(地区別)

	n	歩車分離された歩道の整備	歩行者が憩うことができる空間(広場や公園)の整備	開かずの踏切解消や鉄道高架が低いことによる通行制限の改善	無電柱化による歩行空間改善	歩道と車道との段差解消などのバリアフリー化	歩道舗装を明るいものにする	路上駐車対策の強化	放置自転車対策の強化	自転車、電動キックボードなどの運転マナー啓発	歩行者が休憩できるベンチ等の設置	道路に出された看板や商品のせり出しをなくすこと	その他	無回答
全体	1,178	65.8	47.3	14.6	34.6	27.8	15.4	26.8	24.5	48.8	35.1	24.6	5.8	2.0
北部	195	61.5	48.7	12.8	29.7	25.1	18.5	26.7	27.7	47.2	35.4	26.7	8.2	1.5
東部	233	63.5	48.1	9.4	29.6	27.5	14.2	26.6	21.9	51.1	36.5	21.0	6.4	1.3
中央	243	66.3	42.8	7.8	33.3	24.3	12.8	26.7	22.2	50.2	30.5	26.3	4.5	2.5
南部	208	65.9	42.8	13.5	34.6	31.3	19.2	28.4	26.0	46.2	39.4	20.2	5.8	2.9
西部	299	69.9	52.5	26.1	42.8	30.1	14.0	26.1	25.4	48.8	34.8	27.8	4.7	1.7

③性・年代別

「歩車分離された歩道の整備」は男性の10・20代と女性の80代以上を除くすべての年代で6割を超えている。「自転車、電動キックボードなどの運転マナー啓発」は男性の60代以上と女性の50～70代で5割を超えている一方、男女とも10・20代は1割台となっている。「無電柱化による歩行空間改善」は男性の50代と60代（共に43.7%）が最も高く、次いで女性の50代と70代（共に39.6%）が高くなっている。「歩道と車道との段差解消などのバリアフリー化」は女性の70代（42.7%）が最も高くなっている。

表7-4-2 歩きたくなる空間づくりのために必要な取組（性・年代別）

(%)

	n	歩車分離された歩道の整備	歩行者が憩うことができる空間（広場や公園）の整備	開かずの踏切や鉄道高架が低いことによる通行制限の改善	無電柱化による歩行空間改善	歩道と車道との段差解消などのバリアフリー化	歩道舗装を明るくすること	路上駐車対策の強化	放置自転車対策の強化	自転車、電動キックボードなどの運転マナー啓発	歩行者が休憩できるベンチ等の設置	道路に出された看板や商品のせり出しをなくすること	その他	無回答
全体	1,178	65.8	47.3	14.6	34.6	27.8	15.4	26.8	24.5	48.8	35.1	24.6	5.8	2.0
男性計	472	64.8	48.1	15.9	35.4	24.8	14.6	28.8	26.7	48.9	30.5	24.4	5.3	1.7
10・20代	46	56.5	50.0	23.9	23.9	26.1	19.6	19.6	8.7	19.6	26.1	17.4	2.2	-
30代	60	70.0	43.3	25.0	28.3	23.3	18.3	33.3	26.7	40.0	23.3	21.7	6.7	-
40代	85	62.4	47.1	23.5	31.8	21.2	17.6	31.8	24.7	41.2	23.5	23.5	7.1	1.2
50代	87	69.0	48.3	10.3	43.7	23.0	14.9	17.2	19.5	46.0	28.7	13.8	5.7	-
60代	71	63.4	47.9	15.5	43.7	26.8	2.8	33.8	33.8	67.6	33.8	23.9	2.8	2.8
70代	68	64.7	48.5	8.8	38.2	25.0	16.2	36.8	35.3	66.2	38.2	36.8	8.8	2.9
80代以上	55	65.5	52.7	5.5	30.9	30.9	14.5	29.1	36.4	54.5	41.8	36.4	1.8	5.5
女性計	670	66.9	47.0	14.0	33.6	30.1	15.8	26.1	23.0	48.2	37.9	24.9	6.3	1.8
10・20代	48	62.5	52.1	16.7	20.8	25.0	12.5	12.5	8.3	16.7	37.5	8.3	4.2	-
30代	92	69.6	52.2	20.7	28.3	28.3	23.9	19.6	17.4	40.2	35.9	19.6	5.4	-
40代	140	68.6	40.7	17.1	34.3	22.1	16.4	27.9	17.1	38.6	26.4	20.0	5.7	0.7
50代	134	70.9	41.0	16.4	39.6	32.1	13.4	29.9	28.4	59.0	34.3	27.6	9.0	-
60代	92	66.3	54.3	8.7	33.7	35.9	16.3	27.2	30.4	63.0	42.4	25.0	7.6	-
70代	96	68.8	58.3	10.4	39.6	42.7	12.5	25.0	31.3	59.4	54.2	32.3	4.2	2.1
80代以上	68	52.9	35.3	4.4	27.9	23.5	14.7	33.8	20.6	44.1	42.6	38.2	5.9	13.2

8 地球温暖化対策

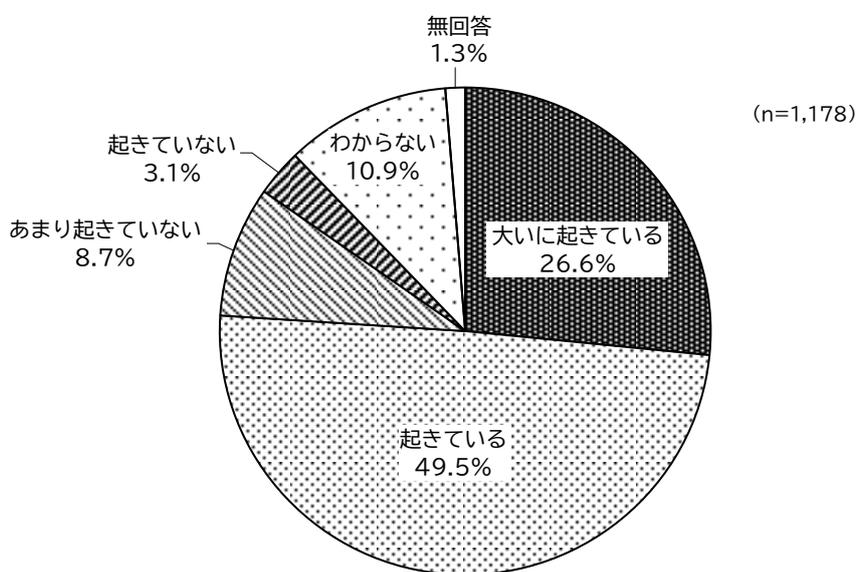
(1) 生活の中での地球温暖化の影響

問30 あなたは、身近な生活の中で地球温暖化の影響が起きていると感じますか。
(あてはまるもの1つに○)

①全体

「起きている」が49.5%で最も高く、「大いに起きている(26.6%)」を合わせた『起きている』が76.1%を占める。「あまり起きていない(8.7%)」と「起きていない(3.1%)」を合わせた『起きていない』は11.8%となっている。

図8-1-1 生活の中での地球温暖化の影響(全体)

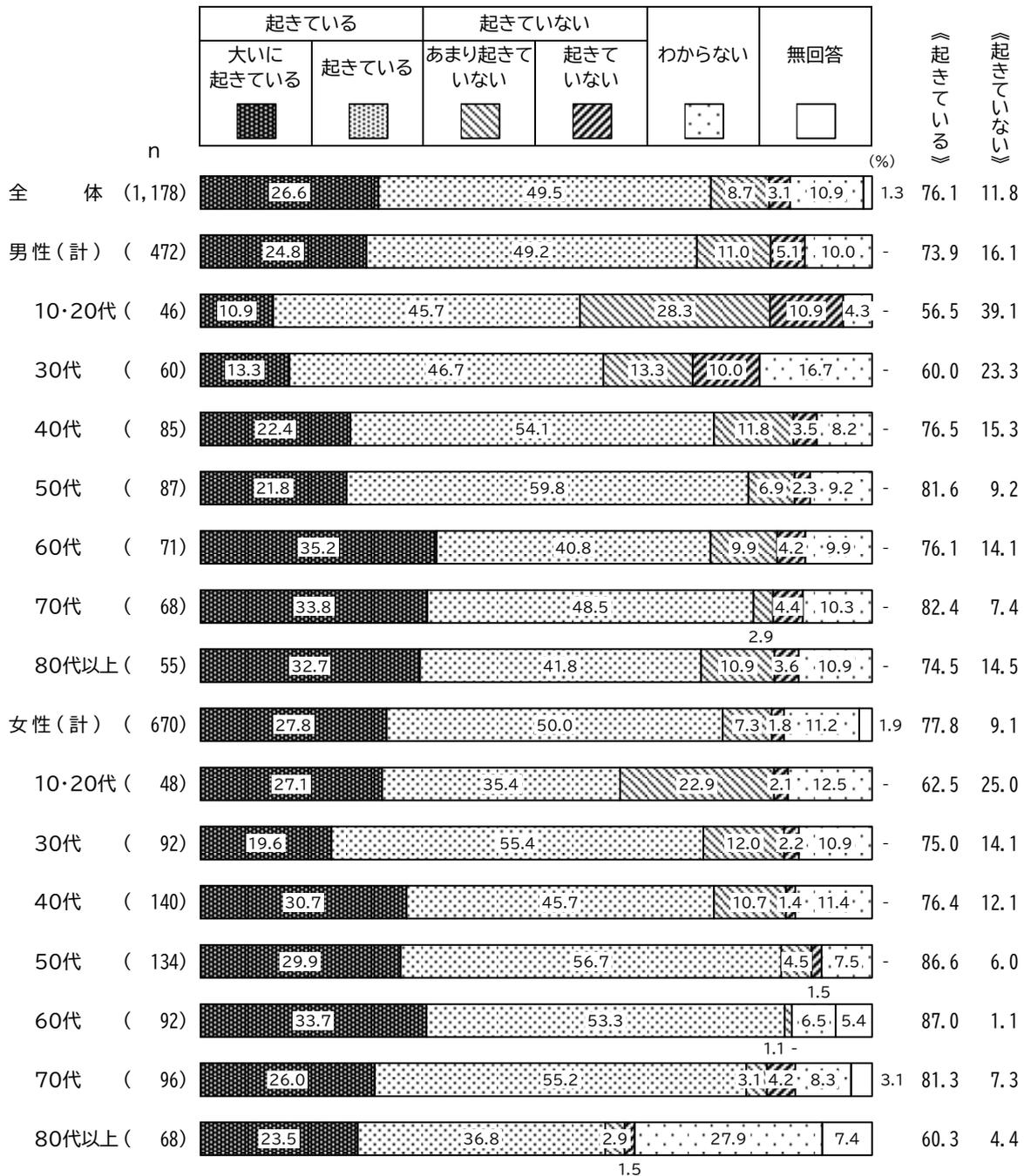


②性・年代別

「大いに起きている」は男性の60代以上と女性の40代と60代で3割を超えている。『起きている』は男性の50代と70代、女性の50～70代で8割を超えている。

一方、『起きていない』は男性の10・20代（39.1%）が最も高く、男性の30代（23.3%）と女性の10・20代（25.0%）も他の年代に比べ高くなっている。

図8-1-2 生活の中での地球温暖化の影響（性・年代別）



(2) 地球温暖化防止のために優先して行いたいこと

問31 あなたは、地球温暖化を防止するために、今後何を優先して行いたいと思いますか。
(あてはまるもの3つまでに○)

①全体

「節電・節水などの省エネルギー行動」が63.2%で最も高く、次いで、「ごみの減量、リサイクル(53.5%)」、「環境に配慮した製品(省エネ家電など)の購入(36.1%)」となっている。

地球温暖化防止のために優先して行いたいことの推移をみると、「節電・節水などの省エネルギー行動」は令和2年より増加しているものの、「ごみの減量、リサイクル」は令和2年より大幅に減少している。

図8-2-1 地球温暖化防止のために優先して行いたいこと(全体)

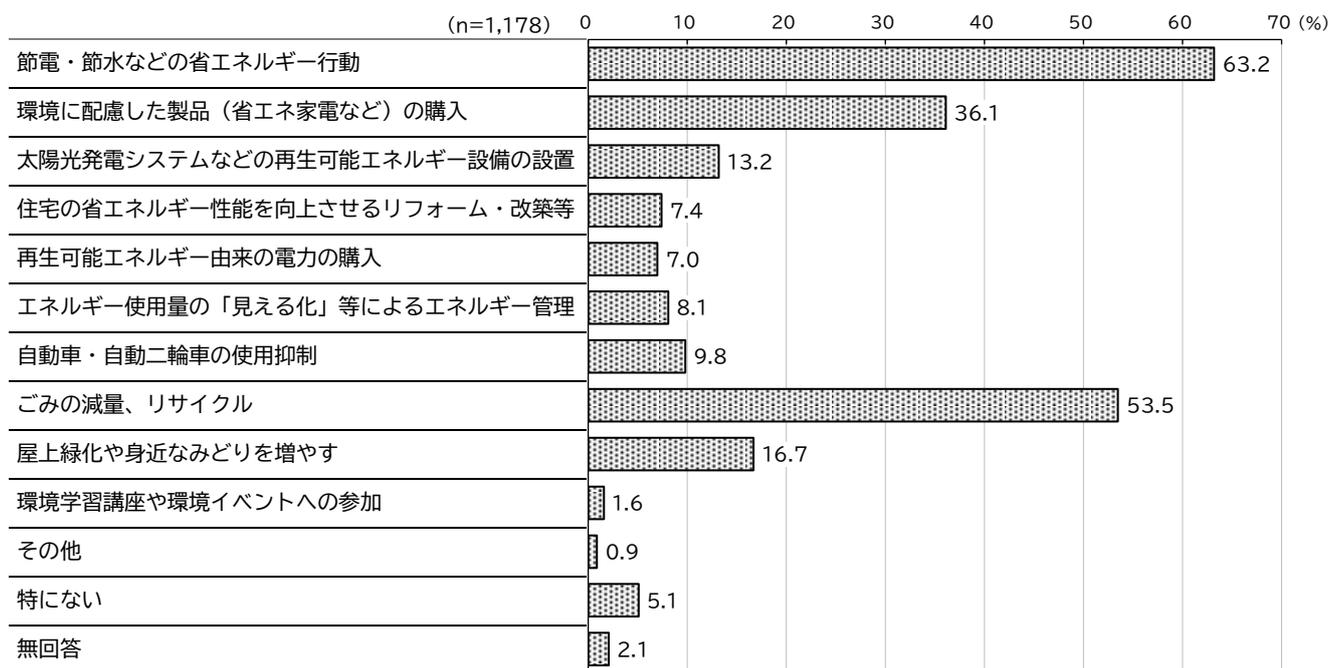


表8-2-1 地球温暖化防止のために優先して行いたいことの推移(全体)

	n	節電・節水などの省エネルギー行動	環境に配慮した製品(省エネ家電など)の購入	太陽光発電システムなどの再生可能エネルギー設備の設置	住宅の省エネルギー性能を向上させるリフォーム・改築等	再生可能エネルギー由来の電力の購入	エネルギー使用量の「見える化」等によるエネルギー管理	自動車・自動二輪車の使用抑制	ごみの減量、リサイクル	屋上緑化や身近なみどりを増やす	環境学習講座や環境イベントへの参加	その他	特にない	無回答
令和5年	1,178	63.2	36.1	13.2	7.4	7.0	8.1	9.8	53.5	16.7	1.6	0.9	5.1	2.1
令和2年	1,506	58.4	38.0	12.7	5.8	8.4	5.8	12.5	78.0	16.7	2.1	1.9	4.6	0.5
平成29年	1,195	63.4	33.2	12.5	7.0	7.9	7.2	14.1	65.9	16.8	3.4	1.4	3.2	2.9
平成26年	1,742	69.7	48.3	13.1				15.0	62.3	22.4	1.9	1.1	4.2	1.4
平成23年	1,706	76.0	41.9	15.3				17.6	66.5	24.7	1.8	1.5	1.9	2.1
平成22年	1,849	68.9	42.8	9.1				17.7	75.9	18.2	1.7	1.4	3.2	3.0

(注) 「再生可能エネルギー由来の電力の購入」、「エネルギー使用量の『見える化』等によるエネルギー管理」、「住宅の省エネルギー性能を向上させるリフォーム・改築等」は平成29年調査より新設した選択肢である。

②性・年代別

「節電・節水などの省エネルギー行動」はすべての年代で5割を超えている。「ごみの減量、リサイクル」は各年代とも女性の方が男性より高く、女性の50～70代で6割を超えている。「環境に配慮した製品の購入」は女性の30～50代と70代で4割を超えている。男性の80代以上は「太陽光発電システムなどの再生可能エネルギー設備の設置」(27.3%)と「屋上緑化や身近なみどりを増やす」(25.5%)で最も高くなっている。

表8-2-2 地球温暖化防止のために優先して行いたいこと(性・年代別)

		節電・節水などの省エネルギー行動	環境に配慮した製品(省エネ家電など)の購入	太陽光発電システムなどの再生可能エネルギー設備の設置	住宅の省エネルギー性能を向上させるリフォーム・改築等	再生可能エネルギー由来の電力の購入	エネルギー使用量の「見える化」等によるエネルギー管理	自動車・自転車・バイクの使用抑制	ごみの減量、リサイクル	屋上緑化や身近なみどりを増やす	環境学習講座や環境イベントへの参加	その他	特になし	無回答
	n													
全体	1,178	63.2	36.1	13.2	7.4	7.0	8.1	9.8	53.5	16.7	1.6	0.9	5.1	2.1
男性計	472	61.0	32.8	17.2	9.1	8.1	10.0	12.1	45.1	16.7	1.5	1.7	6.4	1.3
10・20代	46	63.0	30.4	10.9	2.2	10.9	13.0	17.4	47.8	10.9	-	2.2	6.5	-
30代	60	53.3	36.7	10.0	10.0	6.7	10.0	3.3	41.7	13.3	1.7	1.7	15.0	-
40代	85	52.9	40.0	17.6	8.2	7.1	10.6	12.9	41.2	12.9	2.4	-	7.1	1.2
50代	87	63.2	31.0	19.5	11.5	3.4	4.6	12.6	44.8	20.7	2.3	1.1	5.7	-
60代	71	63.4	32.4	14.1	11.3	11.3	11.3	8.5	42.3	14.1	-	2.8	7.0	1.4
70代	68	69.1	25.0	19.1	11.8	14.7	10.3	14.7	57.4	19.1	2.9	4.4	1.5	2.9
80代以上	55	63.6	32.7	27.3	5.5	3.6	12.7	16.4	41.8	25.5	-	-	1.8	3.6
女性計	670	64.9	38.8	10.4	6.4	6.4	6.1	8.4	60.3	16.0	1.5	0.3	4.2	2.8
10・20代	48	60.4	25.0	6.3	6.3	2.1	2.1	10.4	54.2	16.7	-	-	4.2	2.1
30代	92	55.4	41.3	13.0	13.0	5.4	5.4	9.8	51.1	12.0	1.1	-	6.5	1.1
40代	140	66.4	40.7	7.9	6.4	5.7	2.9	8.6	58.6	14.3	1.4	0.7	2.9	2.1
50代	134	66.4	44.0	16.4	3.0	7.5	8.2	8.2	70.1	18.7	-	-	3.0	1.5
60代	92	67.4	38.0	7.6	7.6	9.8	7.6	12.0	68.5	18.5	2.2	1.1	1.1	4.3
70代	96	74.0	40.6	8.3	5.2	8.3	8.3	5.2	63.5	16.7	3.1	-	5.2	2.1
80代以上	68	58.8	29.4	10.3	4.4	2.9	7.4	4.4	45.6	14.7	2.9	-	8.8	8.8

(3) 地球温暖化防止のために区に取り組んでほしいこと

問32 地球温暖化を防止するために、区に特に力を入れて取り組んでほしいと思うことは何ですか。（あてはまるもの3つまでに○）

①全体

「再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入にかかる助成」が37.3%で最も高く、次いで、「日常生活や事業活動における省エネルギーに関する情報提供（29.2%）」、「みどりの保全・創出への取組（29.0%）」、となっている。

地球温暖化防止のために区に取り組んでほしいことの推移をみると、「再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入にかかる助成」は令和2年より増加し、「日常生活や事業活動における省エネルギーに関する情報提供」や「学校での環境教育・学習の推進」は令和2年より減少している。「屋上緑化や壁面緑化等の導入にかかる助成」は平成22年以降、年々減少している。

図8-3-1 地球温暖化防止のために区に取り組んでほしいこと（全体）

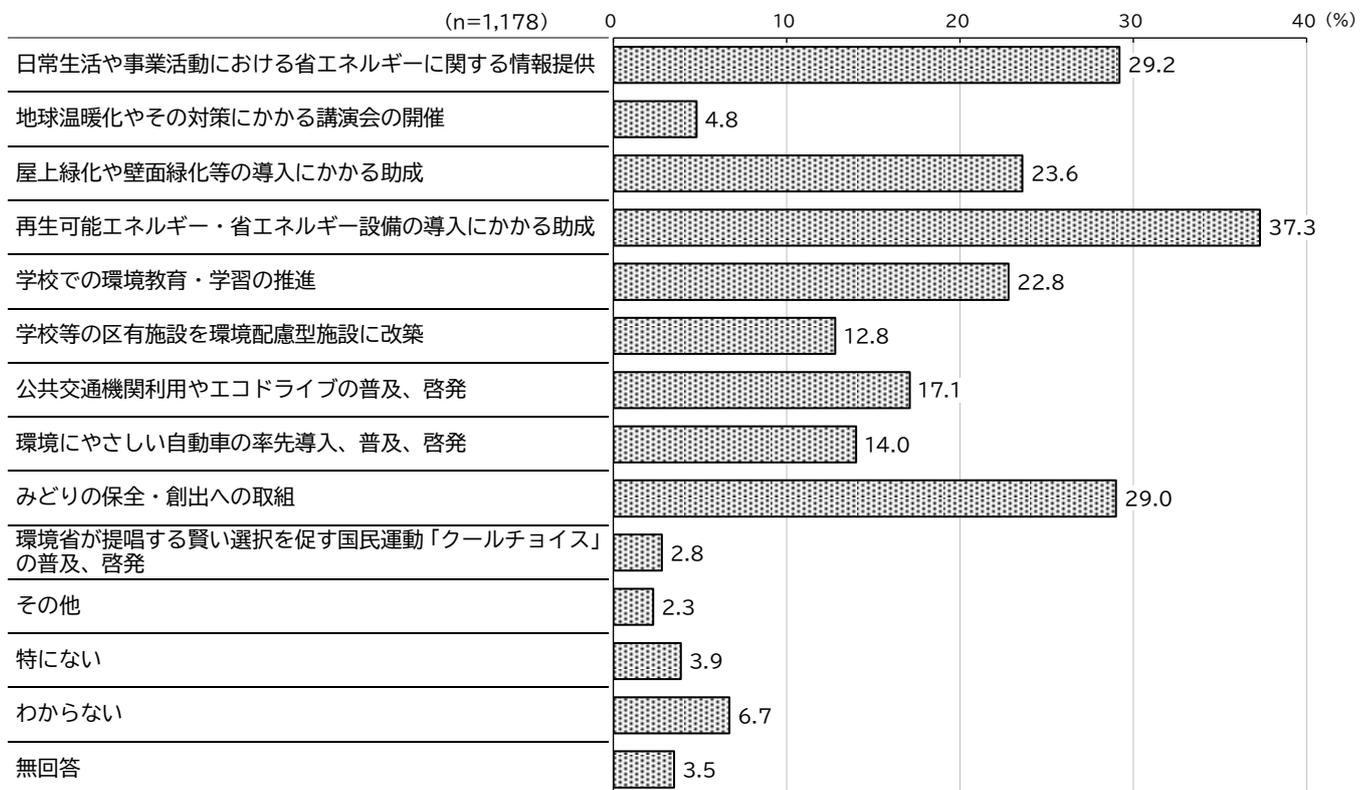


表8-3-1 地球温暖化防止のために区に取り組んでほしいことの推移（全体）

(%)

	n	日常生活や事業活動における省エネルギーに関する情報提供	地球温暖化やその対策にかかる講演会の開催	屋上緑化や壁面緑化等の導入にかかる助成	再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入にかかる助成	学校での環境教育・学習の推進	学校等の区有施設を環境配慮型施設に改築	公共交通機関利用やエコドライブの普及、啓発	環境にやさしい自動車の率先導入、普及、啓発	みどりの保全・創出への取組	環境省が提唱する賢い選択を促す国民運動「クールチョイス」の普及、啓発
令和5年	1,178	29.2	4.8	23.6	37.3	22.8	12.8	17.1	14.0	29.0	2.8
令和2年	1,506	33.2	5.2	25.9	33.8	28.4	15.5	20.0	16.5	27.8	4.1
平成29年	1,195	29.8	5.7	27.3	33.8	28.7	14.3	18.1	17.2	26.7	4.4
平成26年	1,742	32.0	4.0	32.1	36.3	27.8	6.9	16.9	14.6	39.7	
平成23年	1,706	37.8	4.6	35.6	39.0	29.8	6.7	17.0	14.1	37.7	
平成22年	1,849	35.3	5.1	38.5	36.9	29.9	6.5	19.0	13.8	36.3	

	n	その他	特になし	わからない	無回答
令和5年	1,178	2.3	3.9	6.7	3.5
令和2年	1,506	2.5	4.6	5.3	1.3
平成29年	1,195	2.3	3.3	3.8	4.3
平成26年	1,742	3.0	4.2	4.5	2.9
平成23年	1,706	2.8	3.0	3.3	2.9
平成22年	1,849	2.9	3.7	4.2	2.9

(注) 「環境省が提唱する賢い選択を促す国民運動『クールチョイス』の普及、啓発」は平成29年調査より新設した選択肢である。

②性・年代別

「再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入にかかる助成」は男女とも30代(共に46.7%)が最も高く、次いで女性の50代(46.3%)が高くなっている。「日常生活や事業活動における省エネルギーに関する情報提供」は女性の60代(51.1%)が最も高くなっている。「みどりの保全・創出への取組」は年代が高い世代の方が割合が高く、男性の60代以上と女性の50～70代で3割を超えている。「屋上緑化や壁面緑化等の導入にかかる助成」は男性の60代以下と女性の50代以下で2割を超えている。

表8-3-2 地球温暖化防止のために区に取り組んでほしいこと(性・年代別)

(%)

	n	日常生活や事業活動における省エネルギーに関する情報提供	地球温暖化やその対策にかかる講演会の開催	屋上緑化や壁面緑化等の導入にかかる助成	再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入にかかる助成	学校での環境教育・学習の推進	学校等の区有施設を環境配慮型施設に改築	公共交通機関利用やエコドライブの普及、啓発	環境にやさしい自動車の率先導入、普及、啓発	みどりの保全・創出への取組	環境省が提唱する賢い選択を促す国民運動「クールチョイス」の普及、啓発
全体	1,178	29.2	4.8	23.6	37.3	22.8	12.8	17.1	14.0	29.0	2.8
男性計	472	25.6	6.8	24.4	39.6	21.4	13.1	18.0	12.3	29.7	2.8
10・20代	46	34.8	8.7	30.4	34.8	15.2	17.4	21.7	4.3	15.2	2.2
30代	60	21.7	5.0	28.3	46.7	18.3	20.0	13.3	15.0	16.7	1.7
40代	85	25.9	8.2	22.4	40.0	28.2	16.5	14.1	8.2	27.1	3.5
50代	87	23.0	6.9	28.7	41.4	12.6	14.9	16.1	8.0	29.9	1.1
60代	71	22.5	4.2	29.6	42.3	22.5	7.0	18.3	11.3	35.2	2.8
70代	68	26.5	7.4	13.2	33.8	29.4	4.4	25.0	22.1	38.2	2.9
80代以上	55	29.1	7.3	18.2	36.4	21.8	12.7	20.0	18.2	41.8	5.5
女性計	670	32.1	3.4	23.1	35.8	24.2	13.3	16.6	15.2	28.5	3.0
10・20代	48	31.3	-	33.3	37.5	16.7	12.5	8.3	8.3	22.9	-
30代	92	22.8	3.3	29.3	46.7	27.2	20.7	19.6	15.2	25.0	3.3
40代	140	22.1	3.6	27.1	35.0	30.7	20.0	15.0	12.9	21.4	1.4
50代	134	31.3	1.5	26.9	46.3	21.6	9.7	19.4	13.4	35.1	6.7
60代	92	51.1	1.1	15.2	34.8	22.8	12.0	16.3	16.3	35.9	2.2
70代	96	38.5	6.3	16.7	24.0	24.0	9.4	20.8	25.0	31.3	1.0
80代以上	68	32.4	8.8	11.8	19.1	19.1	4.4	10.3	13.2	25.0	4.4

	n	その他	特にない	わからない	無回答
全体	1,178	2.3	3.9	6.7	3.5
男性計	472	2.8	4.4	6.6	2.3
10・20代	46	6.5	6.5	4.3	-
30代	60	6.7	6.7	5.0	-
40代	85	-	3.5	8.2	-
50代	87	2.3	5.7	5.7	1.1
60代	71	2.8	7.0	7.0	1.4
70代	68	2.9	1.5	8.8	5.9
80代以上	55	-	-	5.5	9.1
女性計	670	1.8	2.8	7.0	3.9
10・20代	48	2.1	2.1	6.3	2.1
30代	92	4.3	2.2	2.2	-
40代	140	2.9	3.6	6.4	2.1
50代	134	-	2.2	5.2	1.5
60代	92	-	3.3	5.4	3.3
70代	96	3.1	3.1	9.4	6.3
80代以上	68	-	2.9	17.6	16.2

9 生涯学習

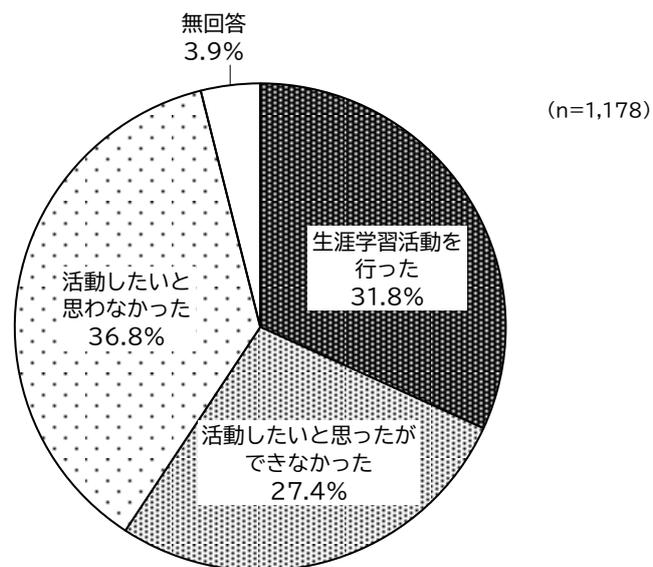
(1) 生涯学習活動への参加状況

問33 あなたは、この1年間に、生涯学習活動を行いましたか。(あてはまるもの1つに○)

①全体

「活動したいと思わなかった」が36.8%で最も高くなっている。「生涯学習活動を行った」は31.8%、「活動したいと思ったができなかった」は27.4%である。

図9-1-1 生涯学習活動への参加状況(全体)

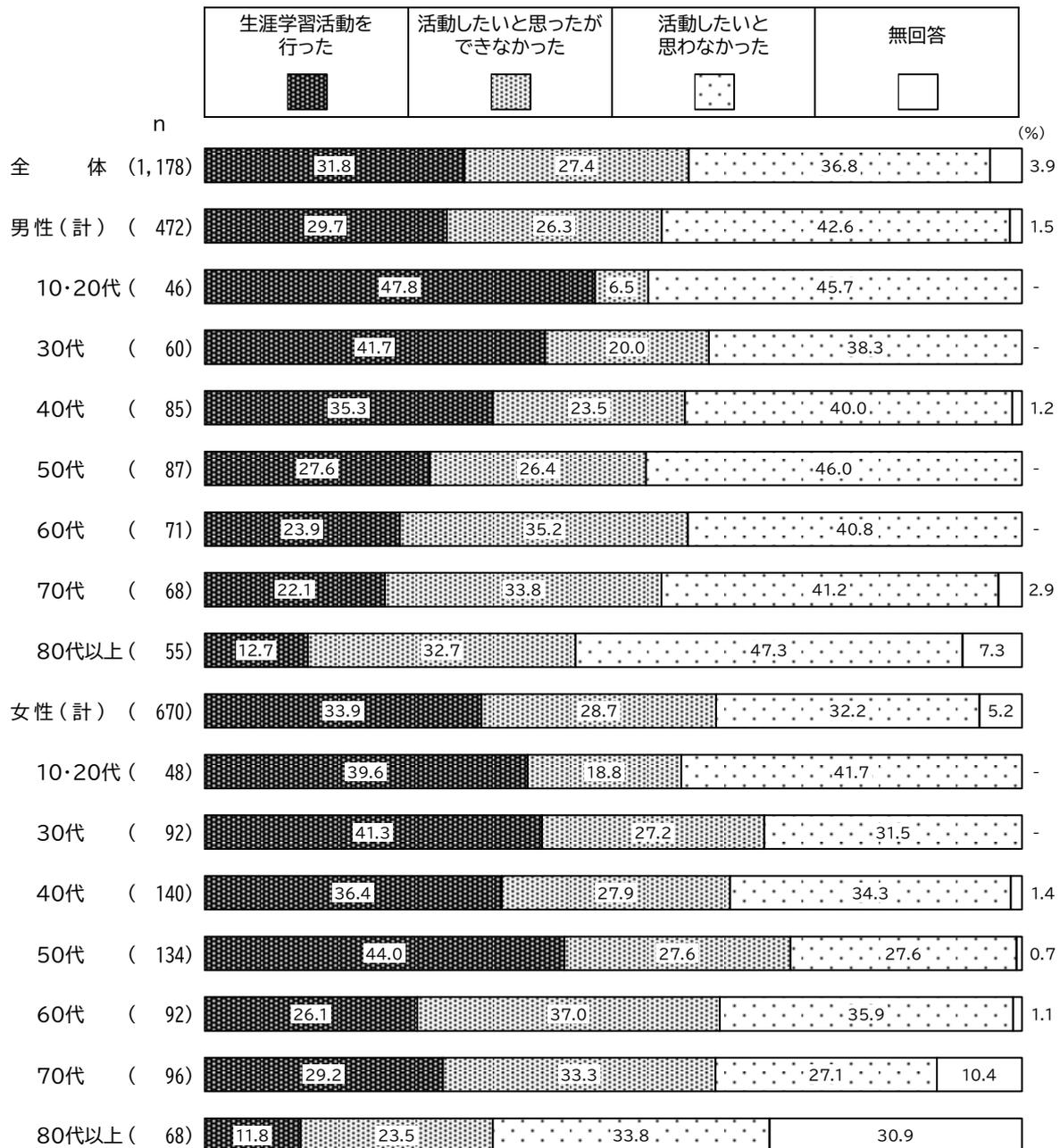


②性・年代別

「生涯学習活動を行った」は男性は年代が低いほど高くなる傾向にあり、10・20代（47.8%）が最も高くなっている。女性は50代（44.0%）が最も高く、40代以下は3～4割台、60代以上は3割未満となっている。「活動したいと思ったができなかった」は男性の60代以上と女性の60～70代で3割を超えている。「生涯学習活動を行った」と「活動したいと思ったができなかった」を合わせた『活動意向あり』は男女とも80代以上を除くすべての年代で5割を超えている。

「活動したいと思わなかった」は各年代とも男性の方が女性より高く、男性の80代以上（47.3%）が最も高く、次いで男性の50代（46.0%）と10・20代（45.7%）も高くなっている。

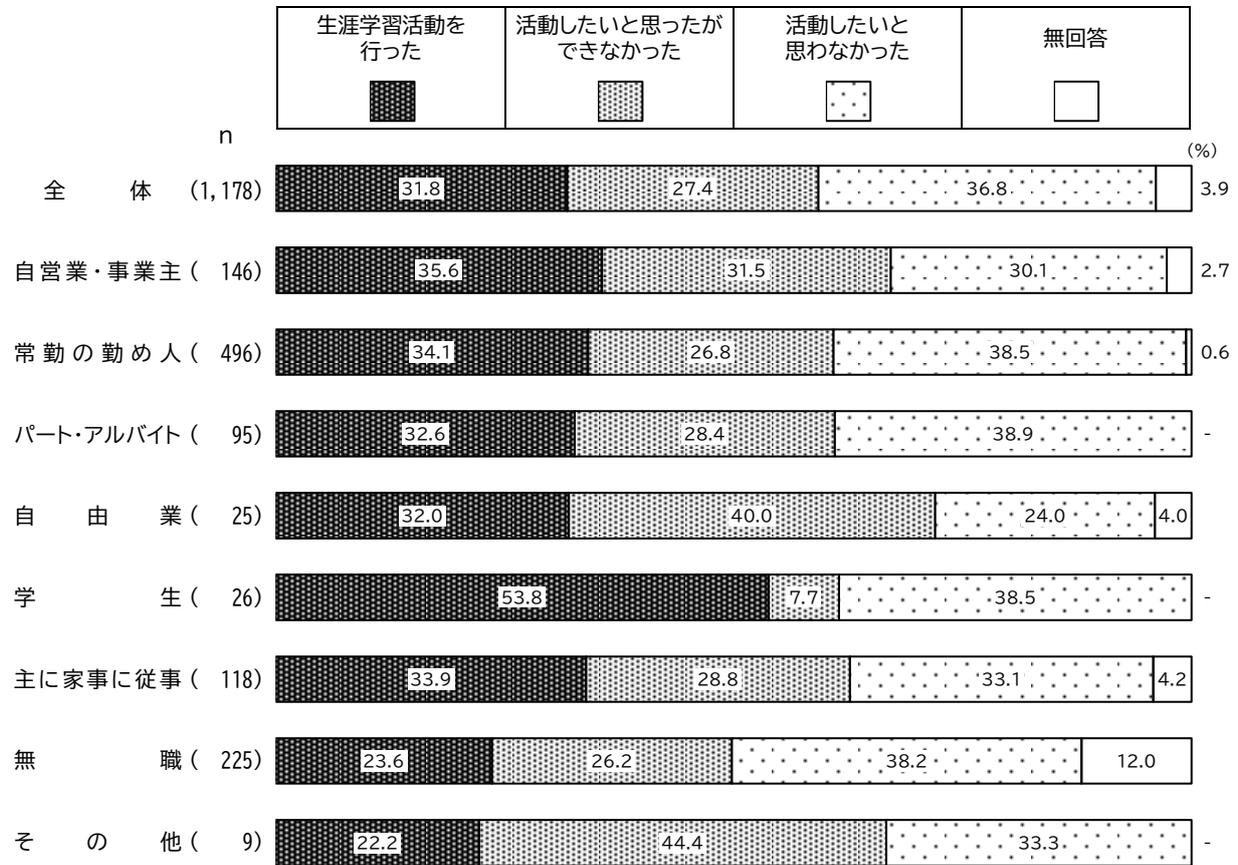
図9-1-2 生涯学習活動への参加状況（性・年代別）



③職業別

「生涯学習活動を行った」と「活動したいと思ったができなかった」を合わせた『活動意向あり』は自営業・事業主がやや高く、無職が5割未満と低くなっている。

図9-1-3 生涯学習活動への参加状況（職業別）



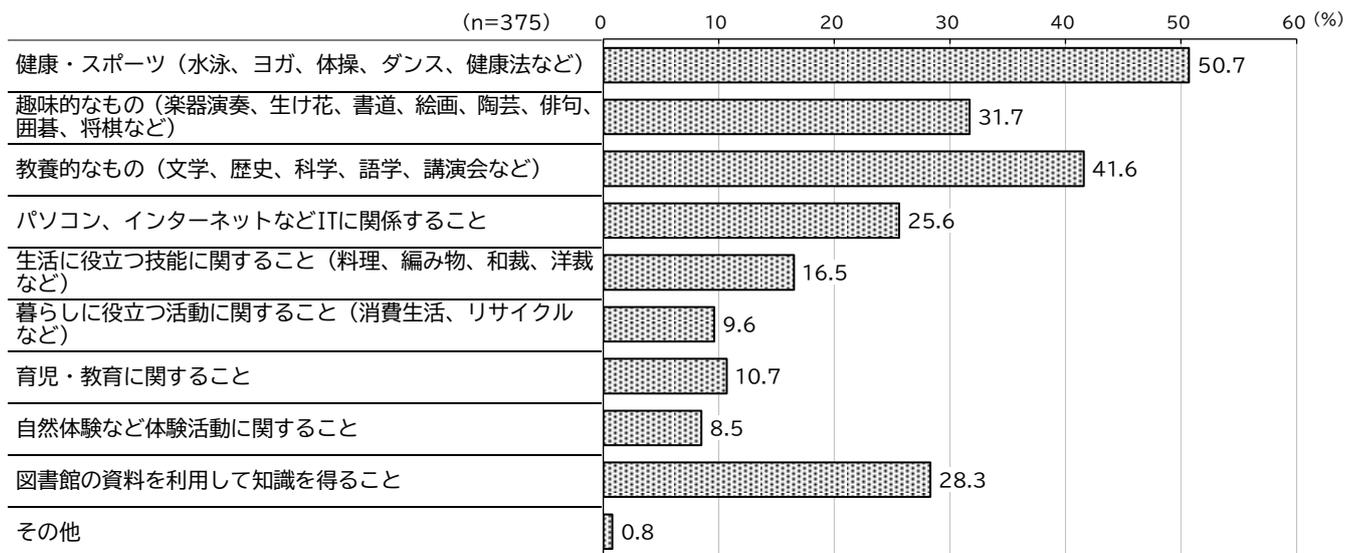
(2) 参加した生涯学習活動

(問33で「生涯学習活動を行った」と回答した方にお尋ねします。)
 問33-1 どのような生涯学習活動を行いましたか。(あてはまるものすべてに○)

①全体

「健康・スポーツ(水泳、ヨガ、体操、ダンス、健康法など)」が50.7%で最も高く、次いで、「教養的なもの(文学、歴史、科学、語学、講演会など)」(41.6%)、「趣味的なもの(楽器演奏、生け花、書道、絵画、陶芸、俳句、囲碁、将棋など)」(31.7%)となっている。

図9-2-1 参加した生涯学習活動(全体)



②性別

男女とも「健康・スポーツ」が5割を超えて最も高くなっている。「パソコン、インターネットなどITに関係すること」は男性の方が女性より高く、「趣味的なもの」、「教養的なもの」、「生活に役立つ技能に関すること」は女性の方が高くなっている。

表9-2-1 参加した生涯学習活動（性別）

(%)

	n	健康・スポーツ(水泳、ヨガ、体操、ダンス、健康法など)	趣味的なもの(楽器演奏、生け花、書道、絵画、陶芸、俳句、囲碁、将棋など)	教養的なもの(文学、歴史、科学、語学、講演会など)	パソコン、インターネットなどITに関係すること	生活に役立つ技能に関すること(料理、編み物、和裁、洋裁など)	暮らしに役立つ活動に関すること(消費生活、リサイクルなど)	育児・教育に関すること	自然体験など体験活動に関すること	図書館の資料を利用して知識を得ること	その他
全体	375	50.7	31.7	41.6	25.6	16.5	9.6	10.7	8.5	28.3	0.8
男性	140	50.7	25.7	37.9	34.3	10.7	10.0	10.7	7.1	25.7	1.4
女性	227	51.5	35.2	44.5	20.7	19.8	8.8	11.0	9.7	30.0	-

③年代別

「健康・スポーツ」は40代（38.3%）を除くすべての年代で5割を超えている。30代は「教養的なもの」（54.0%）と「パソコン、インターネットなどITに関係すること」（46.0%）が他の年代より高く、「育児・教育に関すること」は40代（22.2%）が最も高くなっている。

表9-2-2 参加した生涯学習活動（年代別）

(%)

	n	健康・スポーツ(水泳、ヨガ、体操、ダンス、健康法など)	趣味的なもの(楽器演奏、生け花、書道、絵画、陶芸、俳句、囲碁、将棋など)	教養的なもの(文学、歴史、科学、語学、講演会など)	パソコン、インターネットなどITに関係すること	生活に役立つ技能に関すること(料理、編み物、和裁、洋裁など)	暮らしに役立つ活動に関すること(消費生活、リサイクルなど)	育児・教育に関すること	自然体験など体験活動に関すること	図書館の資料を利用して知識を得ること	その他
全体	375	50.7	31.7	41.6	25.6	16.5	9.6	10.7	8.5	28.3	0.8
10・20代	41	56.1	24.4	36.6	34.1	22.0	4.9	7.3	4.9	19.5	-
30代	63	52.4	31.7	54.0	46.0	23.8	12.7	15.9	6.3	22.2	-
40代	81	38.3	27.2	42.0	17.3	14.8	1.2	22.2	14.8	28.4	-
50代	83	53.0	24.1	37.3	15.7	9.6	13.3	7.2	8.4	37.3	1.2
60代	41	53.7	46.3	39.0	22.0	12.2	12.2	2.4	7.3	29.3	-
70代	44	56.8	38.6	43.2	27.3	15.9	11.4	4.5	4.5	31.8	4.5
80代以上	16	68.8	56.3	31.3	25.0	25.0	12.5	-	12.5	12.5	-

(3) 生涯学習活動をしらない理由

(問33で「活動したいと思ったができなかった」「活動したいと思わなかった」のいずれかに回答した方にお尋ねします。)

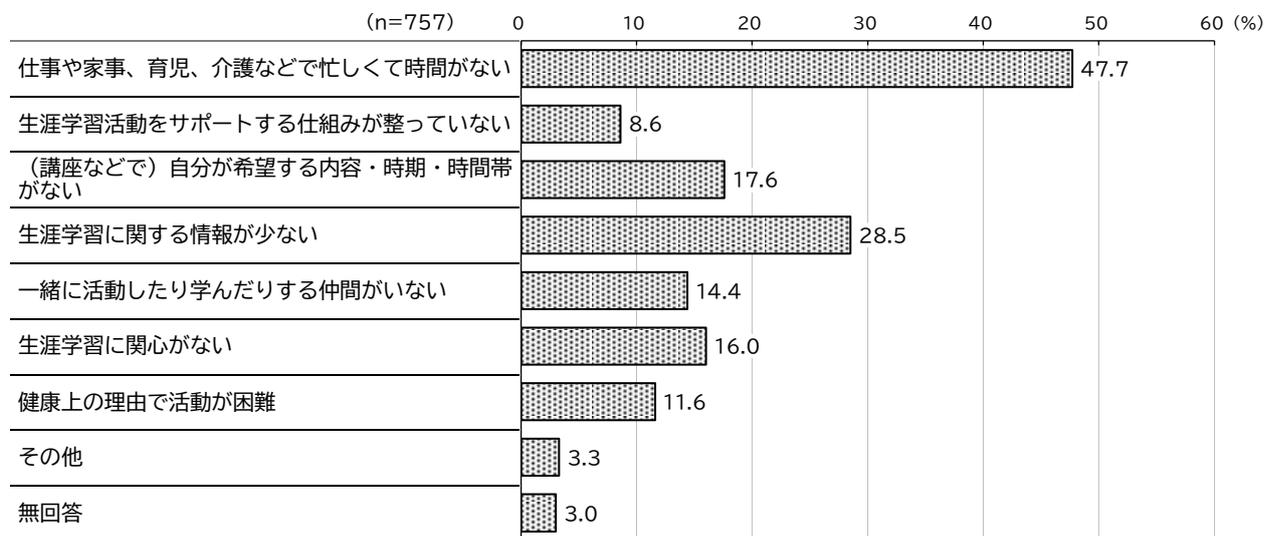
問33-2 あなたが生涯学習活動をできなかった、またはしなかった理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

①全体

「仕事や家事、育児、介護などで忙しくて時間がない」が47.7%で最も高くなっている。次いで、「生涯学習に関する情報が少ない(28.5%)」、「(講座などで)自分が希望する内容・時期・時間帯がない(17.6%)」、「生涯学習に関心がない(16.0%)」、「一緒に活動したり学んだりする仲間がない(14.4%)」となっている。

図9-3-1 生涯学習活動をしらない理由(全体)



②性・年代別

「仕事や家事、育児、介護などで忙しくて時間がない」は女性の40代以下で7割を超え、男性の30～40代と女性の50代も6割台となっている。「生涯学習に関する情報が少ない」は男女とも60代で4割を超え、女性の50代と70代も3割を超えている。「自分が希望する内容・時期・時間帯がない」は女性の50代（35.1%）が最も高く、「生涯学習に関心がない」は各年代とも男性の方が女性より高くなっている。男女とも80代以上は「健康上の理由で活動が困難」が生涯学習活動をしな理由の第一位となっている。

表9-3-1 生涯学習活動をしな理由（性・年代別）

(%)

	n	仕事や家事、育児、介護などで忙しくて時間がない	生涯学習活動をサポートする仕組みが整っていない	(講座などで)自分が希望する内容・時期・時間帯がない	生涯学習に関する情報が少ない	一緒に活動したり学んだりする仲間がない	生涯学習に関心がない	健康上の理由で活動が困難	その他	無回答
全体	757	47.7	8.6	17.6	28.5	14.4	16.0	11.6	3.3	3.0
男性計	325	43.1	11.1	13.2	27.4	16.6	22.5	12.3	4.0	1.8
10・20代	24	45.8	8.3	8.3	20.8	8.3	37.5	-	4.2	-
30代	35	60.0	14.3	11.4	28.6	8.6	20.0	2.9	-	-
40代	54	64.8	9.3	16.7	20.4	5.6	22.2	-	1.9	-
50代	63	58.7	11.1	7.9	22.2	17.5	25.4	6.3	4.8	1.6
60代	54	37.0	14.8	16.7	42.6	22.2	18.5	5.6	11.1	1.9
70代	51	25.5	9.8	13.7	27.5	19.6	17.6	27.5	2.0	5.9
80代以上	44	6.8	9.1	15.9	27.3	29.5	22.7	40.9	2.3	2.3
女性計	408	52.2	6.9	21.6	29.9	13.2	9.8	10.5	2.7	3.7
10・20代	29	75.9	10.3	10.3	24.1	17.2	6.9	-	3.4	6.9
30代	54	72.2	9.3	22.2	18.5	18.5	5.6	3.7	1.9	-
40代	87	72.4	5.7	20.7	27.6	6.9	10.3	4.6	1.1	-
50代	74	63.5	9.5	35.1	36.5	9.5	9.5	-	4.1	1.4
60代	67	43.3	3.0	22.4	41.8	6.0	11.9	13.4	3.0	3.0
70代	58	13.8	10.3	17.2	36.2	22.4	10.3	24.1	1.7	6.9
80代以上	39	12.8	-	10.3	12.8	23.1	12.8	35.9	5.1	15.4

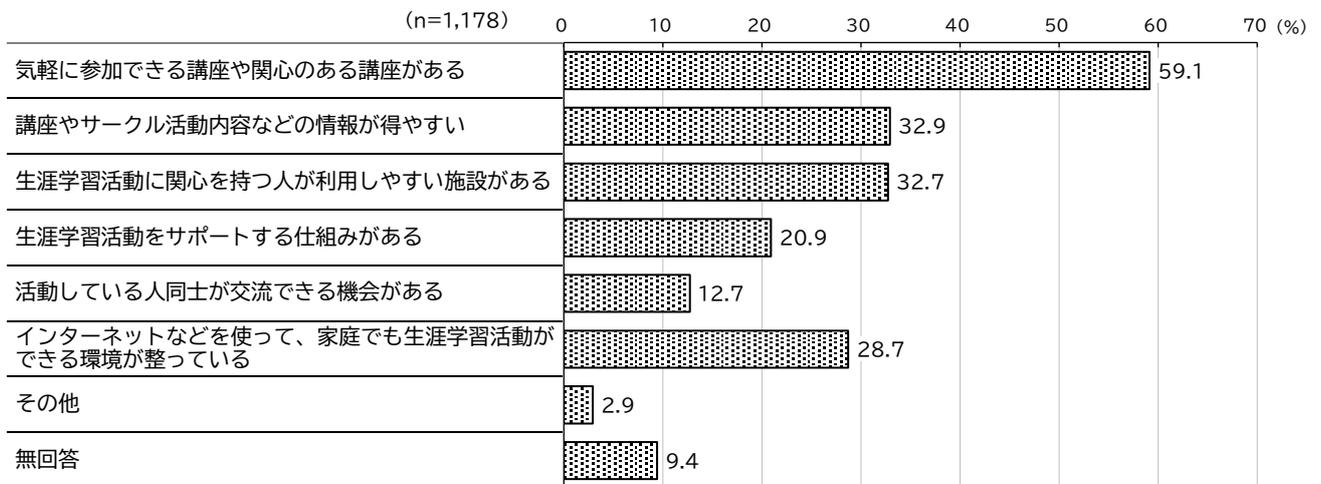
(4) 生涯学習の推進のために必要なこと

問34 あなたが生涯学習を行うために、どんなことが必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つまでに○)

①全体

「気軽に参加できる講座や関心のある講座がある」が59.1%で最も高くなっている。次いで、「講座やサークル活動内容などの情報が得やすい(32.9%)」、「生涯学習活動に関心を持つ人が利用しやすい施設がある(32.7%)」、「インターネットなどを使って、家庭でも生涯学習活動ができる環境が整っている(28.7%)」となっている。

図9-4-1 生涯学習の推進のために必要なこと (全体)



②性・年代別

「気軽に参加できる講座や関心のある講座がある」は女性の50～60代で7割を超えている。「講座やサークル活動内容などの情報が得やすい」は女性の60代（48.9%）が最も高く、次いで女性の10・20代と50代（共に39.6%）が高くなっている。「生涯学習活動に関心を持つ人が利用しやすい施設がある」は男性の40代（45.9%）が最も高く、次いで男性の70代（44.1%）が高くなっている。「インターネットなどを使って、家庭でも生涯学習活動ができる環境が整っている」は女性の10・20代（50.0%）が最も高く、次いで女性の40代（40.0%）や男性の50代（39.1%）が高くなっている。

表9-4-1 生涯学習の推進のために必要なこと（性・年代別）

(%)

	n	気軽に参加できる講座や関心のある講座がある	講座やサークル活動内容などの情報が得やすい	生涯学習活動に関心を持つ人が利用しやすい施設がある	生涯学習活動をサポートする仕組みがある	活動している人同士が交流できる機会がある	インターネットなどを使って、家庭でも生涯学習活動ができる環境が整っている	その他	無回答
全体	1,178	59.1	32.9	32.7	20.9	12.7	28.7	2.9	9.4
男性計	472	55.1	29.7	34.5	23.3	14.2	29.9	3.0	6.6
10・20代	46	60.9	21.7	30.4	17.4	15.2	28.3	2.2	-
30代	60	55.0	36.7	25.0	26.7	18.3	36.7	5.0	-
40代	85	52.9	23.5	45.9	24.7	14.1	29.4	3.5	2.4
50代	87	51.7	34.5	23.0	25.3	9.2	39.1	2.3	3.4
60代	71	64.8	35.2	38.0	25.4	16.9	32.4	-	9.9
70代	68	61.8	29.4	44.1	19.1	14.7	22.1	4.4	10.3
80代以上	55	38.2	23.6	32.7	21.8	12.7	16.4	3.6	21.8
女性計	670	63.1	35.5	32.1	19.6	11.8	28.4	2.7	10.1
10・20代	48	64.6	39.6	18.8	16.7	12.5	50.0	-	2.1
30代	92	60.9	32.6	33.7	20.7	19.6	35.9	1.1	2.2
40代	140	60.7	33.6	35.7	17.9	12.1	40.0	2.9	2.9
50代	134	74.6	39.6	35.8	21.6	8.2	35.1	2.2	3.7
60代	92	76.1	48.9	33.7	19.6	5.4	21.7	2.2	5.4
70代	96	61.5	33.3	34.4	22.9	11.5	9.4	4.2	20.8
80代以上	68	32.4	17.6	19.1	14.7	16.2	1.5	5.9	45.6

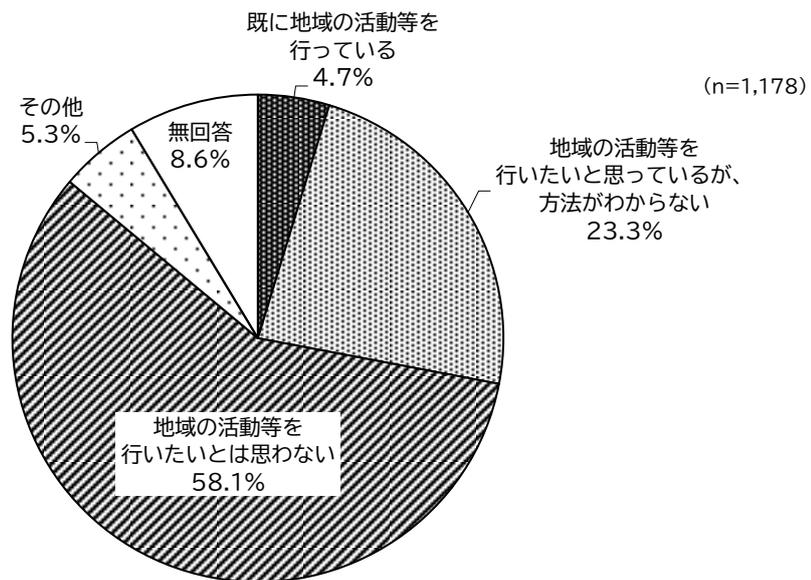
(5) 知識・経験の地域還元

問35 あなたはこの1年間に、「これまで学校や社会で得た知識や経験」を生かした地域の活動等（例：地域のイベントで楽器演奏や作品展示を行う、児童館で工作や昔遊びを教える等）を行っていましたか。（あてはまるもの1つに○）

①全体

「地域の活動等を行いたいとは思わない」が58.1%で最も高くなっている。「既に地域の活動等を行っている」は4.7%、「地域の活動等を行いたいと思っているが、方法がわからない」は23.3%である。

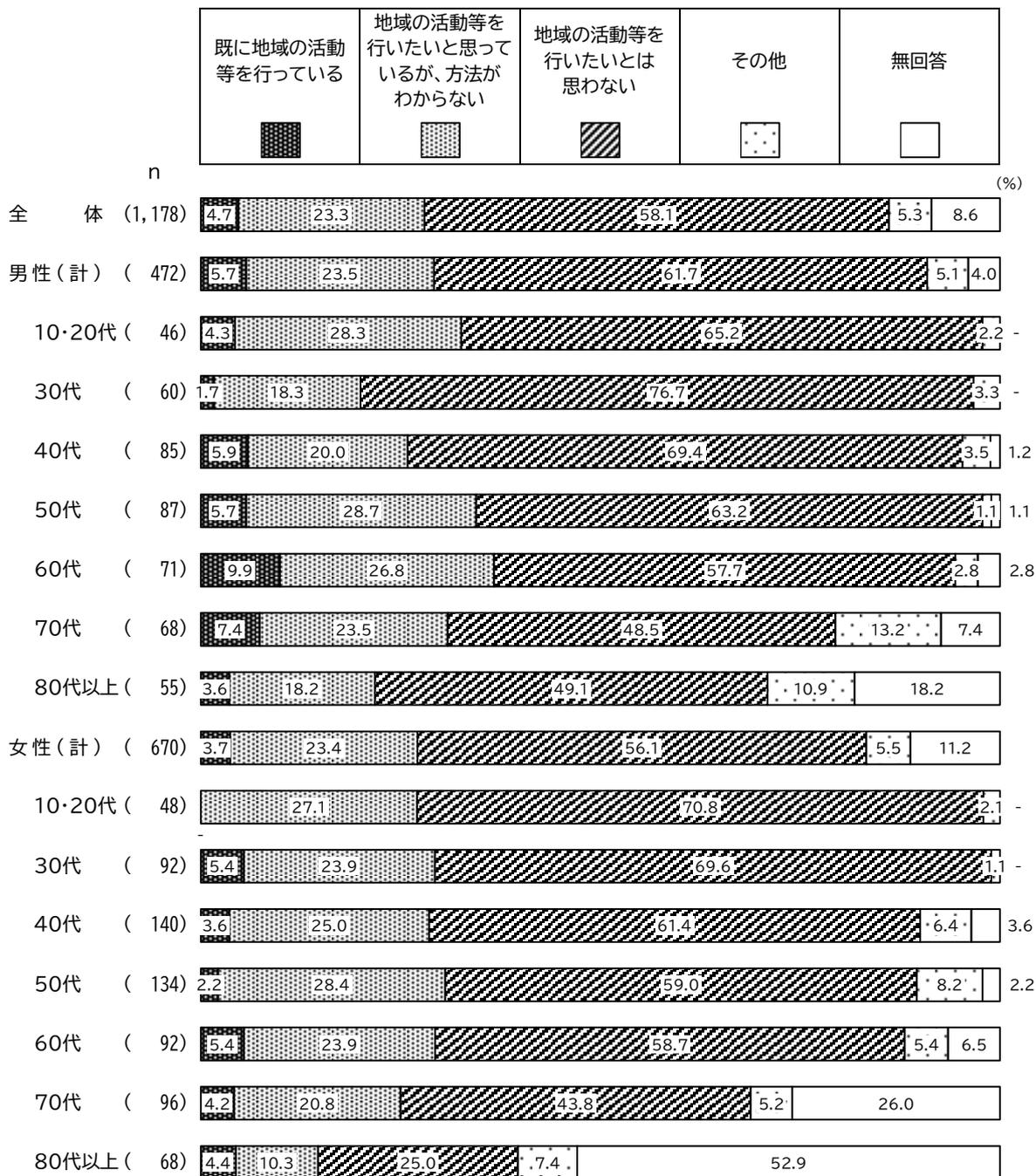
図9-5-1 知識・経験の地域還元（全体）



②性・年代別

「既に地域の活動等を行っている」は男性の60代（9.9%）が最も高くなっている。「地域の活動等を行いたいと思っているが、方法がわからない」は男性の10・20代と50～60代、女性の10・20代と40～50代で2割台後半となっている。「地域の活動等を行いたいとは思わない」は低い年代の方が割合が高く、男性の50代以下、女性の40代以下で6割を超えている。

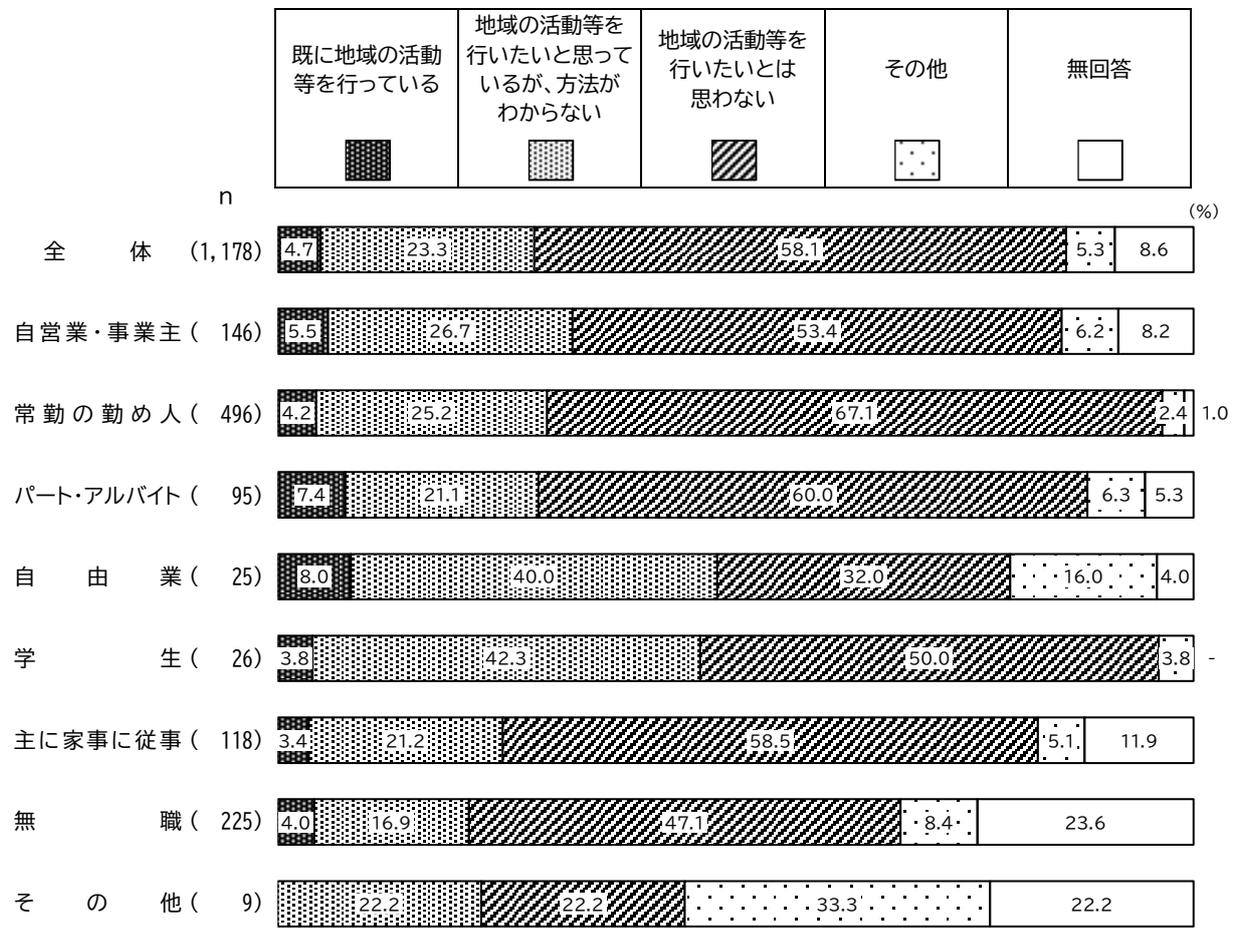
図9-5-2 知識・経験の地域還元（性・年代別）



③職業別

「地域の活動等を行いたいとは思わない」は常勤の勤め人（67.1%）が最も高く、次いでパート・アルバイト（60.0%）が高くなっている。

図9-5-3 知識・経験の地域還元（職業別）



(6) 図書館の利用状況

問36 あなたは、この1年間に、目黒区立の図書館を利用したことがありますか。
(あてはまるもの1つに○)

①全体

「利用したことがない」が58.1%、「利用したことがある」が39.8%となっている。

図書館の利用状況の推移をみると、令和2年より「利用したことがある」がやや増加し、「利用したことがない」がやや減少している。

図9-6-1 図書館の利用状況（全体）

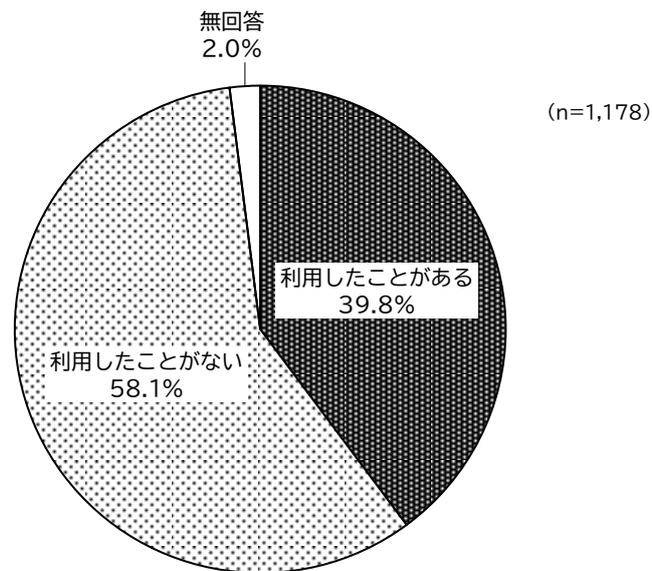
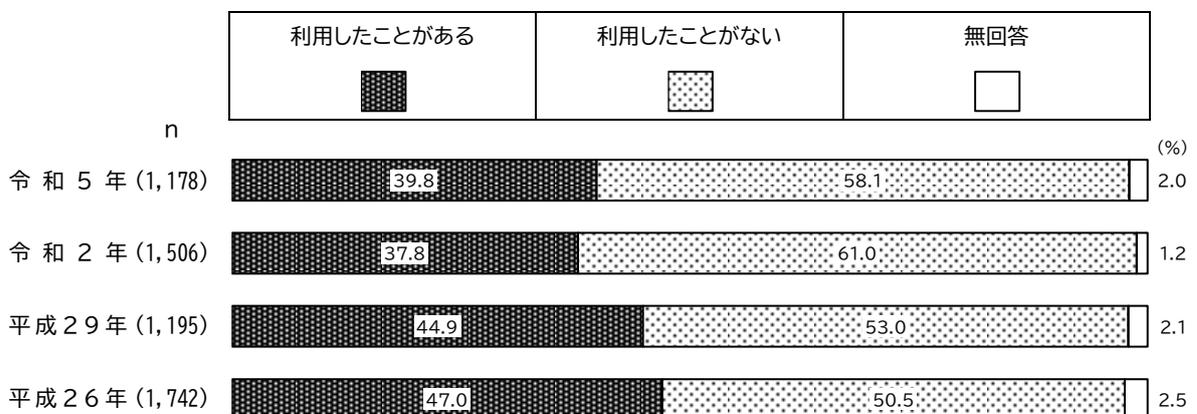


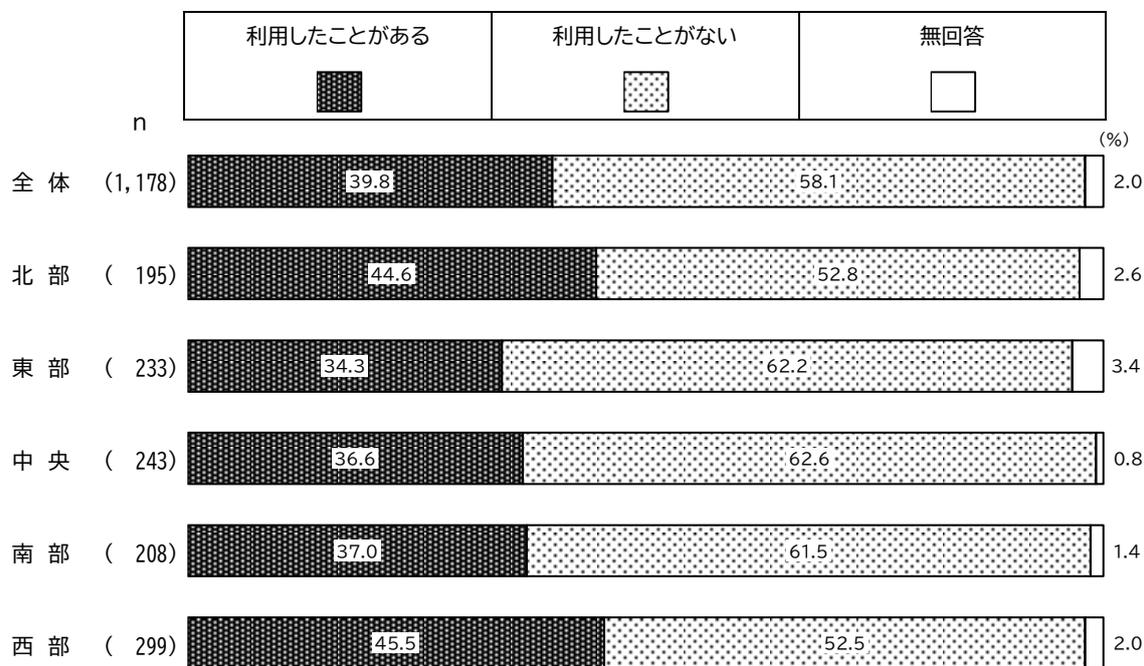
図9-6-2 図書館の利用状況の推移（全体）



②地区別

「利用したことがある」は西部地区（45.5%）と北部地区（44.6%）が高くなっている。「利用したことがない」は中央地区（62.6%）、東部地区（62.2%）、南部地区（61.5%）で6割を超えている。

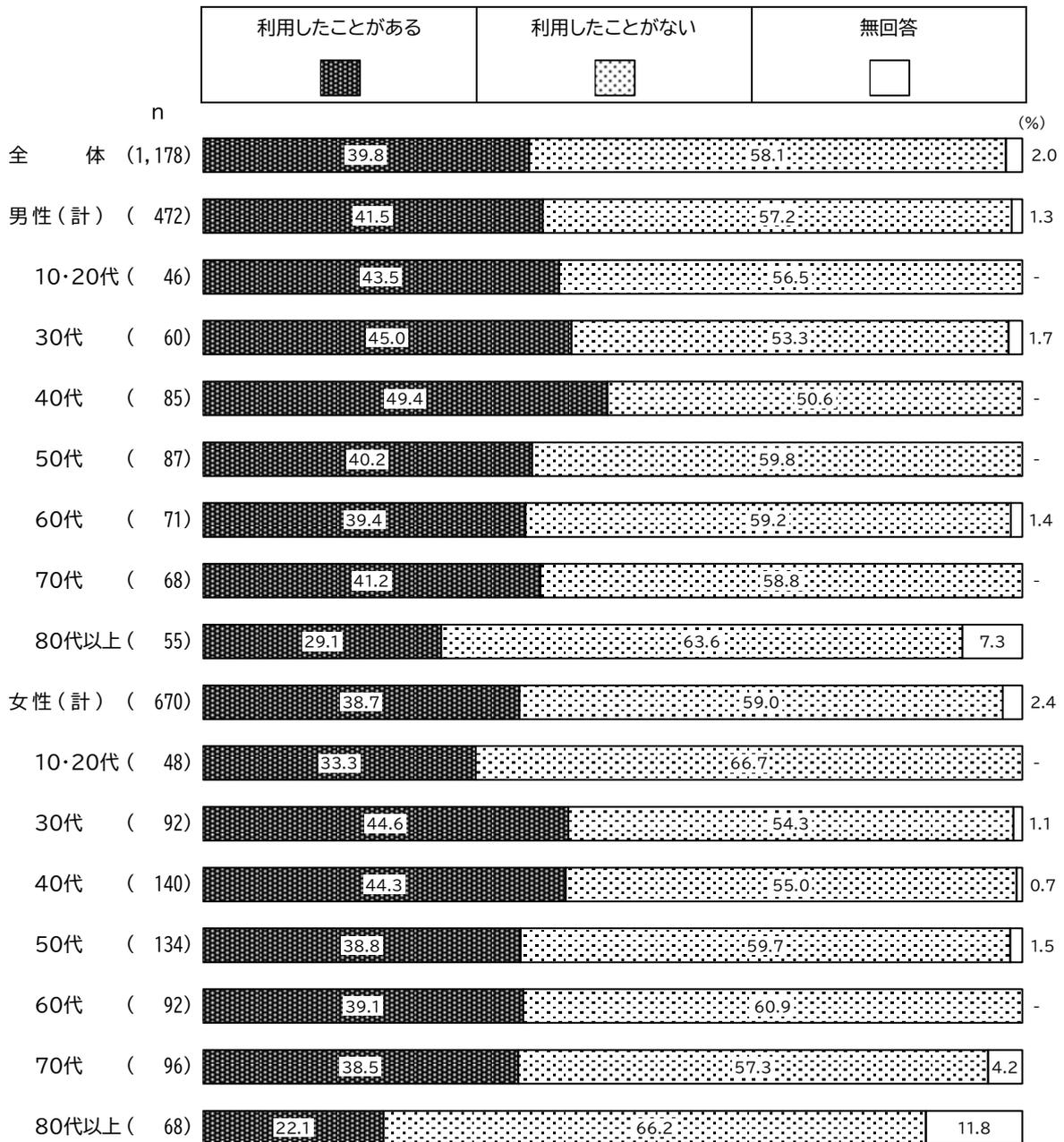
図9-6-3 図書館の利用状況（地区別）



③性・年代別

「利用したことがある」は男性の40代（49.4%）が最も高く、次いで男性の30代（45.0%）、女性の30代（44.6%）と40代（44.3%）が高くなっている。「利用したことがない」は女性の10・20代（66.7%）が最も高く、次いで女性の80代以上（66.2%）、男性の80代以上（63.6%）が高くなっている。

図9-6-4 図書館の利用状況（性・年代別）



(7) 利用図書館

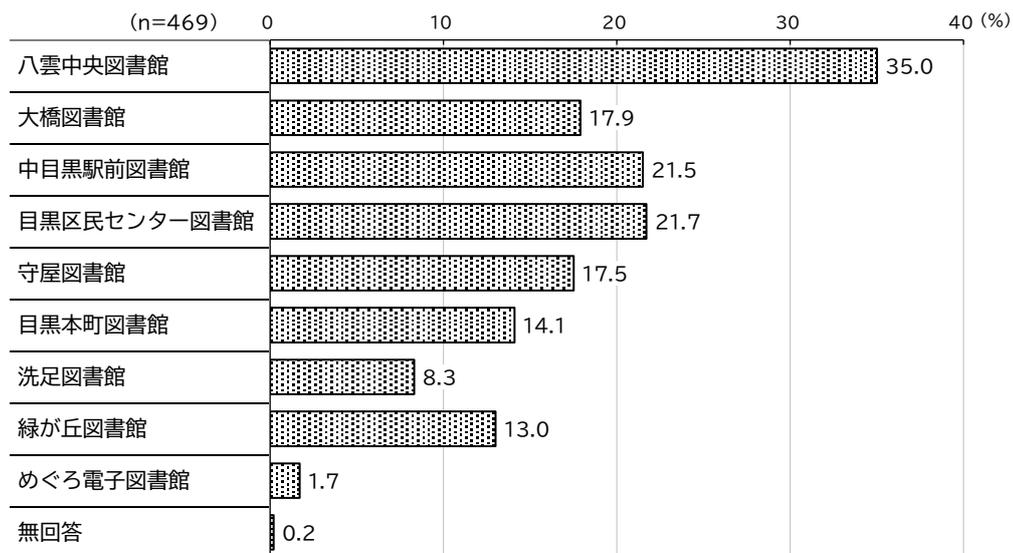
(問36で「利用したことがある」と回答した方にお尋ねします。)

問36-1 利用した図書館はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

①全体

「八雲中央図書館」が35.0%で最も高くなっている。次いで、「目黒区民センター図書館(21.7%)」、「中目黒駅前図書館(21.5%)」、「大橋図書館(17.9%)」、「守屋図書館(17.5%)」となっている。

図9-7-1 利用図書館(全体)



②地区別

北部地区は「大橋図書館」(78.2%)と「中目黒駅前図書館」(40.2%)が高くなっている。

東部地区は「目黒区民センター図書館」(81.3%)が高くなっている。

中央地区は「守屋図書館」(65.2%)が高くなっている。

南部地区は「目黒本町図書館」(55.8%)、「洗足図書館」(41.6%)、「八雲中央図書館」(40.3%)が高くなっている。

西部地区は「八雲中央図書館」(73.5%)、「緑が丘図書館」(40.4%)が高くなっている。

表9-7-1 利用図書館(地区別)

	n	八雲中央図書館	大橋図書館	中目黒駅前図書館	目黒区民センター図書館	守屋図書館	目黒本町図書館	洗足図書館	緑が丘図書館	めぐる電子図書館	無回答
全体	469	35.0	17.9	21.5	21.7	17.5	14.1	8.3	13.0	1.7	0.2
北部	87	6.9	78.2	40.2	5.7	6.9	-	-	2.3	-	-
東部	80	8.8	2.5	28.8	81.3	10.0	10.0	1.3	1.3	-	-
中央	89	22.5	9.0	31.5	22.5	65.2	16.9	1.1	-	1.1	1.1
南部	77	40.3	2.6	9.1	7.8	5.2	55.8	41.6	3.9	3.9	-
西部	136	73.5	2.9	5.9	4.4	4.4	-	3.7	40.4	2.9	-

③年代別

「八雲中央図書館」はすべての年代で第一位となっている。「中目黒駅前図書館」は年代が低いほど割合が高い傾向にあり、10・20代(30.6%)で3割を超えている。「大橋図書館」も低い年代の方が高く、40代以下が2割を超えている。「目黒区民センター図書館」は10・20代(33.3%)が最も高く、「守屋図書館」は80代以上(25.8%)が最も高くなっている。

表9-7-2 利用図書館(年代別)

	n	八雲中央 図書館	大橋図書 館	中目黒駅 前図書館	目黒区民 センター 図書館	守屋図書 館	目黒本町 図書館	洗足図書 館	緑が丘図 書館	めぐろ電 子図書館	無回答
全 体	469	35.0	17.9	21.5	21.7	17.5	14.1	8.3	13.0	1.7	0.2
10・20代	36	41.7	25.0	30.6	33.3	16.7	13.9	13.9	13.9	8.3	-
30代	68	35.3	22.1	25.0	14.7	19.1	5.9	10.3	10.3	1.5	-
40代	104	31.7	24.0	24.0	21.2	15.4	13.5	6.7	12.5	1.0	-
50代	87	33.3	17.2	23.0	19.5	18.4	17.2	9.2	14.9	3.4	-
60代	64	37.5	17.2	18.8	25.0	10.9	12.5	10.9	14.1	-	1.6
70代	66	30.3	7.6	16.7	25.8	19.7	18.2	4.5	12.1	-	-
80代以上	31	41.9	6.5	9.7	16.1	25.8	19.4	3.2	9.7	-	-

(8) 図書館の利用頻度

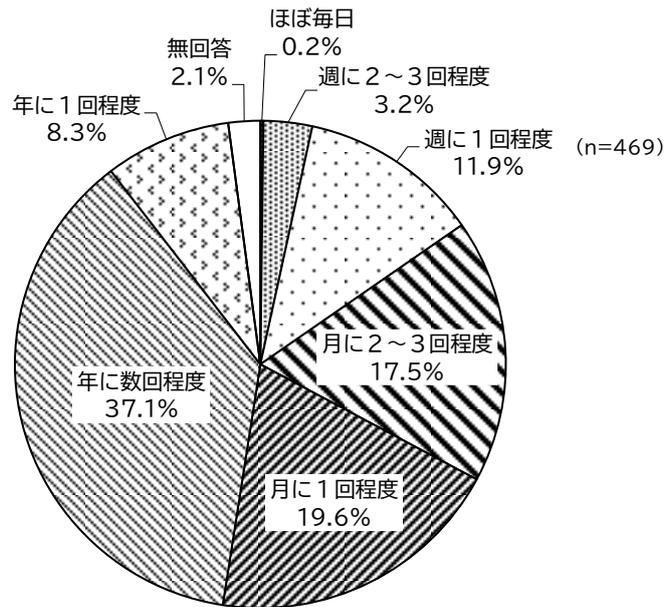
(問36で「利用したことがある」と回答した方にお尋ねします。)

問36-2 この1年間でどのぐらいの頻度で利用しましたか。(あてはまるもの1つに○)

①全体

「年に数回程度」が37.1%で最も高く、次いで、「月に1回程度(19.6%)」、「月に2~3回程度(17.5%)」となっている。

図9-8-1 図書館の利用頻度(全体)

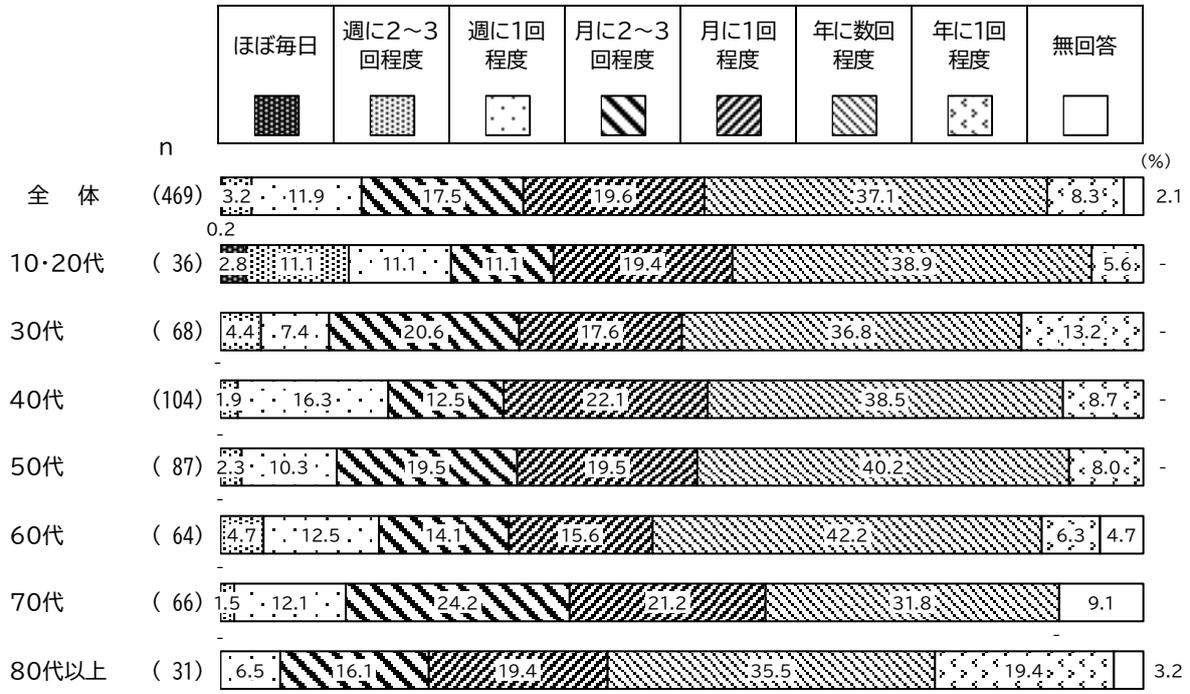


②年代別

「週に2～3回程度」は10・20代（11.1%）が最も高く、「週に1回程度」は40代（16.3%）が最も高く、「月に2～3回程度」は70代（24.2%）が最も高くなっている。「年に数回程度」は50～60代が4割を超えている。

『週に1回以上』は10・20代が最も高く、『月に1回以上』は70代が最も高くなっている。

図9-8-2 図書館の利用頻度（年代別）



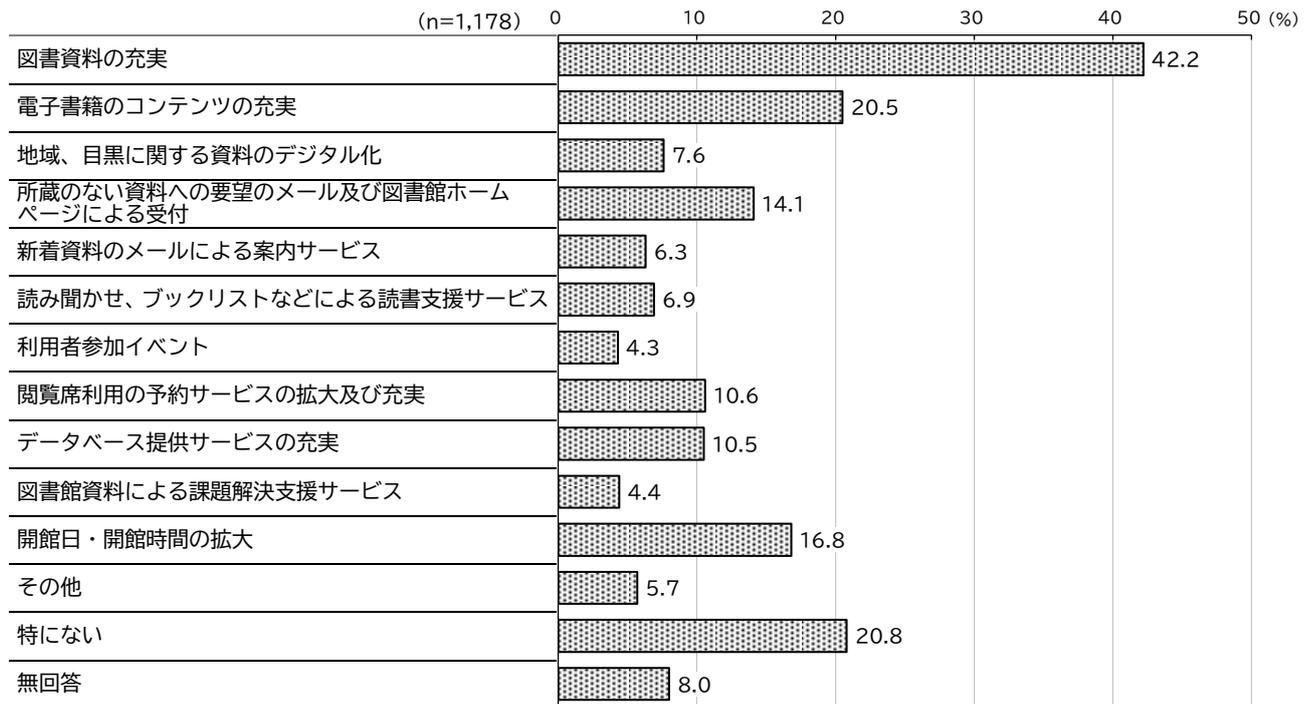
(9) 今後に期待する図書館サービス

問37 今後の区立図書館に期待するサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

①全体

「図書資料の充実」が42.2%で最も高くなっている。「特にない(20.8%)」を除くと、次いで、「電子書籍のコンテンツの充実(20.5%)」、「開館日・開館時間の拡大(16.8%)」となっている。

図9-9-1 今後に期待する図書館サービス(全体)



②性・年代別

「図書資料の充実」は女性の30代（56.5%）が最も高く、次いで男性の30代（51.7%）、女性の50代（50.7%）が高くなっている。「電子書籍のコンテンツの充実」、「地域、目黒に関する資料のデジタル化」、「データベース提供サービスの充実」は男性の方が女性より高く、「所蔵のない資料への要望のメール及び図書館ホームページによる受付」は女性の方が高くなっている。

表9-9-1 今後に期待する図書館サービス（性・年代別）

(%)

	n	図書資料の充実	電子書籍のコンテンツの充実	地域、目黒に関する資料のデジタル化	所蔵のない資料への要望のメール及び図書館ホームページによる受付	新着資料のメールによる案内サービス	読み聞かせ、ブックリストなどによる読書支援サービス	利用者参加イベント	閲覧席利用の予約サービスの拡大及び充実	データベース提供サービスの充実	図書館資料による課題解決支援サービス	開館日・開館時間の拡大
全体	1,178	42.2	20.5	7.6	14.1	6.3	6.9	4.3	10.6	10.5	4.4	16.8
男性計	472	43.9	23.7	12.5	11.4	6.6	5.1	4.0	8.9	14.0	5.1	18.2
10・20代	46	39.1	30.4	21.7	6.5	-	2.2	2.2	15.2	21.7	8.7	21.7
30代	60	51.7	35.0	8.3	11.7	1.7	10.0	1.7	3.3	20.0	5.0	25.0
40代	85	47.1	29.4	10.6	12.9	1.2	5.9	3.5	17.6	8.2	3.5	28.2
50代	87	43.7	26.4	14.9	16.1	6.9	-	3.4	6.9	17.2	5.7	20.7
60代	71	47.9	22.5	15.5	15.5	14.1	5.6	8.5	7.0	14.1	2.8	15.5
70代	68	39.7	14.7	11.8	8.8	11.8	10.3	4.4	5.9	14.7	5.9	5.9
80代以上	55	34.5	5.5	5.5	3.6	9.1	1.8	3.6	5.5	3.6	5.5	7.3
女性計	670	41.6	18.7	4.3	16.3	6.1	8.1	4.6	12.4	8.4	4.0	16.1
10・20代	48	41.7	22.9	6.3	14.6	2.1	6.3	2.1	25.0	4.2	2.1	25.0
30代	92	56.5	32.6	6.5	19.6	5.4	14.1	6.5	15.2	17.4	3.3	18.5
40代	140	44.3	25.0	5.0	16.4	5.7	7.1	6.4	14.3	12.1	3.6	15.7
50代	134	50.7	24.6	4.5	23.1	6.7	6.7	6.7	14.9	9.7	5.2	23.9
60代	92	39.1	10.9	2.2	16.3	12.0	8.7	4.3	12.0	6.5	4.3	17.4
70代	96	33.3	5.2	4.2	10.4	6.3	6.3	1.0	6.3	2.1	6.3	8.3
80代以上	68	13.2	1.5	1.5	7.4	1.5	7.4	1.5	-	-	1.5	1.5

	n	その他	特にない	無回答
全体	1,178	5.7	20.8	8.0
男性計	472	6.6	20.3	4.2
10・20代	46	6.5	13.0	-
30代	60	6.7	20.0	-
40代	85	7.1	17.6	-
50代	87	6.9	19.5	-
60代	71	8.5	18.3	2.8
70代	68	7.4	25.0	5.9
80代以上	55	1.8	29.1	25.5
女性計	670	5.2	21.2	10.0
10・20代	48	6.3	27.1	2.1
30代	92	4.3	9.8	-
40代	140	6.4	20.0	0.7
50代	134	7.5	14.9	3.7
60代	92	3.3	27.2	7.6
70代	96	5.2	31.3	19.8
80代以上	68	1.5	25.0	50.0

(10) 充実を期待する図書資料

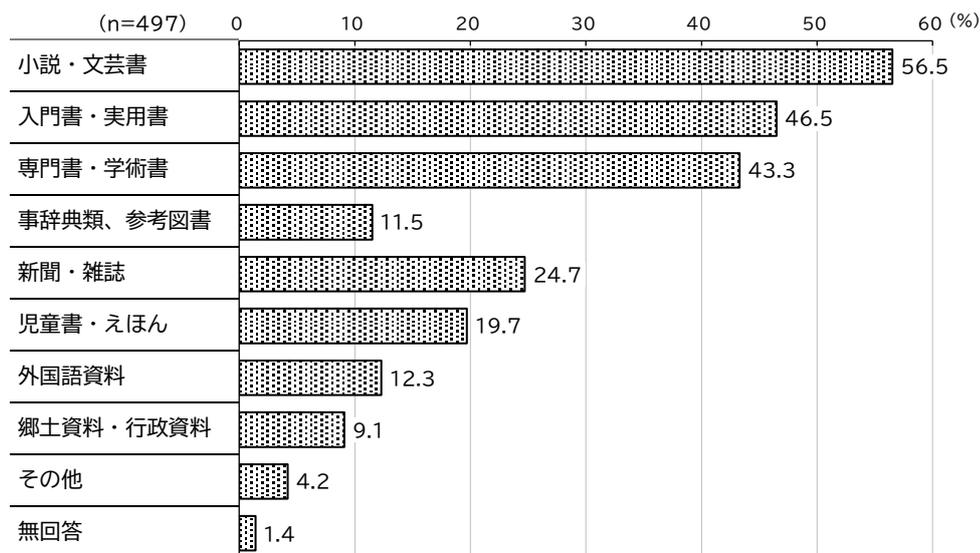
(問37で「図書資料の充実」と回答した方にお尋ねします。)

問37-1 充実を期待する図書資料は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

①全体

「小説・文芸書」が56.5%で最も高く、次いで、「入門書・実用書(46.5%)」、「専門書・学術書(43.3%)」となっている。

図9-10-1 充実を期待する図書資料(全体)



②年代別

「入門書・実用書」は50代(58.5%)が最も高くなっている。「専門書・学術書」は若年層の方が高く、10・20代(55.3%)と30代(49.4%)が高くなっている。「児童書・えほん」は30代(34.9%)と40代(39.2%)が顕著に高くなっている。

表9-10-1 充実を期待する図書資料(年代別)

	n	小説・文芸書	入門書・実用書	専門書・学術書	事辞典類、参考図書	新聞・雑誌	児童書・えほん	外国語資料	郷土資料・行政資料	その他	無回答
全体	497	56.5	46.5	43.3	11.5	24.7	19.7	12.3	9.1	4.2	1.4
10・20代	38	55.3	36.8	55.3	5.3	18.4	13.2	18.4	-	2.6	-
30代	83	54.2	44.6	49.4	14.5	24.1	34.9	12.0	6.0	4.8	1.2
40代	102	54.9	46.1	40.2	11.8	16.7	39.2	10.8	5.9	4.9	1.0
50代	106	56.6	58.5	43.4	5.7	30.2	10.4	15.1	11.3	3.8	1.9
60代	70	52.9	44.3	44.3	12.9	27.1	8.6	14.3	11.4	4.3	2.9
70代	59	66.1	44.1	32.2	11.9	27.1	10.2	10.2	10.2	5.1	1.7
80代以上	28	57.1	39.3	32.1	28.6	32.1	3.6	3.6	25.0	-	-

10 情報推進

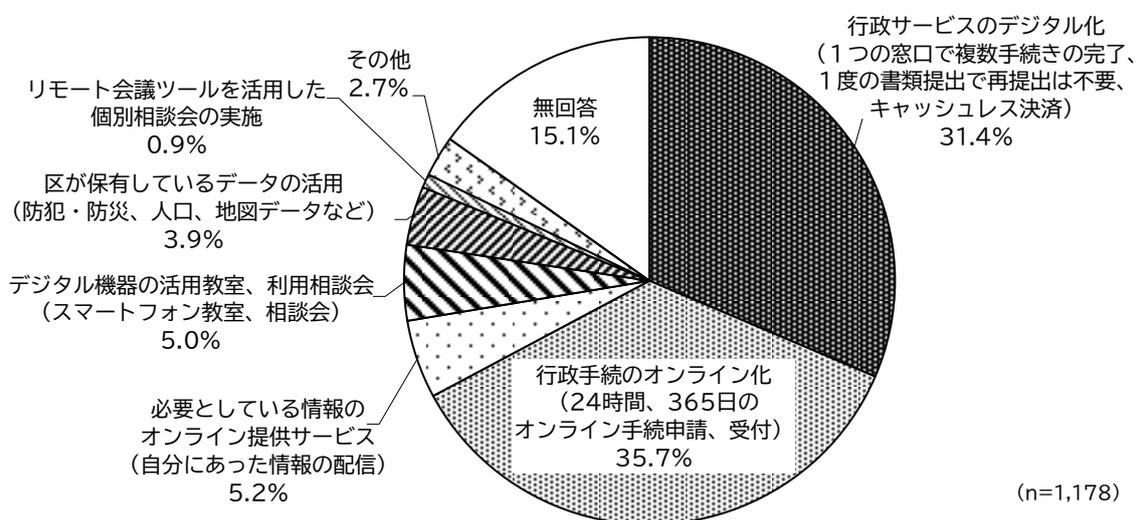
(1) 区のDXの取組で最初に実現してもらいたいサービス

問38 区のDXの取組の中で、一番最初に実現してもらいたいサービスを1つ選んでください。
(あてはまるもの1つに○)

①全体

「行政手続のオンライン化（24時間、365日のオンライン手続申請、受付）」が35.7%で最も高く、次いで、「行政サービスのデジタル化（1つの窓口で複数手続きの完了、1度の書類提出で再提出は不要、キャッシュレス決済）（31.4%）」となっている。

図10-1-1 区のDXの取組で最初に実現してもらいたいサービス（全体）



②性・年代別

「行政手続のオンライン化」は男性の30代（61.7%）が最も高く、男性の10・20代、女性の40代以下も5割を超えている一方、男女とも70代以上は2割未満となっている。「行政サービスのデジタル化」は男性の40代（40.0%）が最も高く、男性の10・20代と70代、女性の30～40代も3割台半ばとなっている。「デジタル機器の活用教室、利用相談会」は男女とも70代が1割を超え、他の年代より高くなっている。

表10-1-1 区のDXの取組で最初に実現してもらいたいサービス（性・年代別）

(%)

	n	行政サービスのデジタル化(1つの窓口で複数手続きの完了、1度の書類提出で再提出は不要、キャッシュレス決済)	行政手続のオンライン化(24時間、365日のオンライン申請、受付)	必要としている情報のオンライン提供サービス(自分にあった情報の配信)	デジタル機器の活用教室、利用相談会(スマートフォン教室、相談会)	区が保有しているデータの活用(防犯・防災、人口、地図データなど)	リモート会議ツールを活用した個別相談会の実施	その他	無回答
全体	1,178	31.4	35.7	5.2	5.0	3.9	0.9	2.7	15.1
男性計	472	33.9	37.5	3.6	4.2	4.9	0.8	3.2	11.9
10・20代	46	34.8	54.3	-	2.2	4.3	2.2	-	2.2
30代	60	31.7	61.7	1.7	-	3.3	-	-	1.7
40代	85	40.0	45.9	-	2.4	3.5	1.2	2.4	4.7
50代	87	29.9	44.8	5.7	2.3	3.4	2.3	3.4	8.0
60代	71	33.8	38.0	7.0	2.8	4.2	-	1.4	12.7
70代	68	35.3	10.3	5.9	14.7	11.8	-	8.8	13.2
80代以上	55	30.9	5.5	3.6	5.5	3.6	-	5.5	45.5
女性計	670	29.7	35.4	6.6	5.7	3.0	1.0	2.2	16.4
10・20代	48	22.9	56.3	6.3	2.1	-	6.3	-	6.3
30代	92	35.9	56.5	2.2	-	1.1	-	1.1	3.3
40代	140	35.0	52.9	3.6	-	1.4	1.4	1.4	4.3
50代	134	31.3	41.0	7.5	6.0	6.0	0.7	1.5	6.0
60代	92	33.7	22.8	13.0	8.7	4.3	1.1	3.3	13.0
70代	96	24.0	8.3	10.4	16.7	4.2	-	2.1	34.4
80代以上	68	14.7	-	2.9	7.4	1.5	-	7.4	66.2

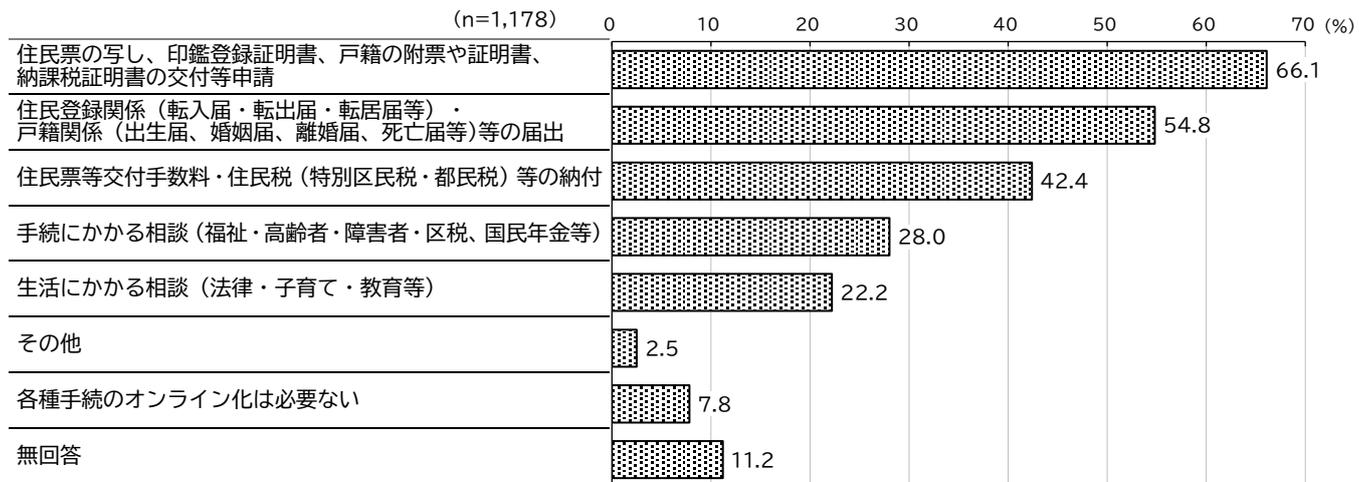
(2) オンライン化を希望する行政手続

問39 行政手続のオンライン化について、各種行政手続や相談などで、オンライン化した方がよいと思うものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

①全体

「住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票や証明書、納課税証明書の交付等申請」が66.1%で最も高く、次いで、「住民登録関係（転入届・転出届・転居届等）・戸籍関係（出生届、婚姻届、離婚届、死亡届等）等の届出（54.8%）」、「住民票等交付手数料・住民税（特別区民税・都民税）等の納付（42.4%）」となっている。

図10-2-1 オンライン化を希望する行政手続（全体）



②性・年代別

いずれの手續も、男女とも30代を中心に、男性は60代以下、女性は50代以下で高くなっている。「住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票や証明書、納課税証明書の交付等申請」は男女とも40代以下で8割弱～8割台、「住民登録関係・戸籍関係等の届出」は男性の30代以下で8割台となっている。

表10-2-1 オンライン化を希望する行政手續（性・年代別）

(%)

	n	住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票や証明書、納課税証明書の交付等申請	住民登録関係(転入届・転出届・転居届等)・戸籍関係(出生届、婚姻届、離婚届、死亡届等)等の届出	住民票等交付手数料・住民税(特別区・都民税)等の納付	手續にかかる相談(福祉・高齢者・障害者・区民税、国民年金等)	生活にかかる相談(法律・子育て・教育等)	その他	各種手續のオンライン化は必要ない	無回答
全体	1,178	66.1	54.8	42.4	28.0	22.2	2.5	7.8	11.2
男性計	472	70.8	59.5	45.8	31.1	23.3	2.8	7.8	6.8
10・20代	46	87.0	80.4	63.0	37.0	28.3	4.3	2.2	-
30代	60	80.0	85.0	68.3	48.3	48.3	8.3	-	-
40代	85	81.2	67.1	60.0	36.5	29.4	2.4	2.4	1.2
50代	87	73.6	52.9	44.8	31.0	18.4	1.1	11.5	-
60代	71	71.8	62.0	49.3	25.4	19.7	-	7.0	7.0
70代	68	58.8	41.2	19.1	25.0	11.8	2.9	11.8	16.2
80代以上	55	40.0	32.7	14.5	14.5	9.1	1.8	20.0	27.3
女性計	670	64.0	52.4	40.4	26.7	22.4	2.2	7.9	13.1
10・20代	48	79.2	60.4	45.8	37.5	37.5	4.2	-	2.1
30代	92	81.5	76.1	60.9	41.3	43.5	2.2	2.2	-
40代	140	84.3	67.1	52.1	32.9	30.0	0.7	2.9	1.4
50代	134	73.9	64.2	53.0	27.6	23.1	3.7	8.2	3.7
60代	92	54.3	41.3	33.7	20.7	9.8	1.1	16.3	8.7
70代	96	40.6	29.2	13.5	16.7	7.3	2.1	14.6	30.2
80代以上	68	14.7	8.8	7.4	7.4	4.4	2.9	10.3	63.2

11 消費生活

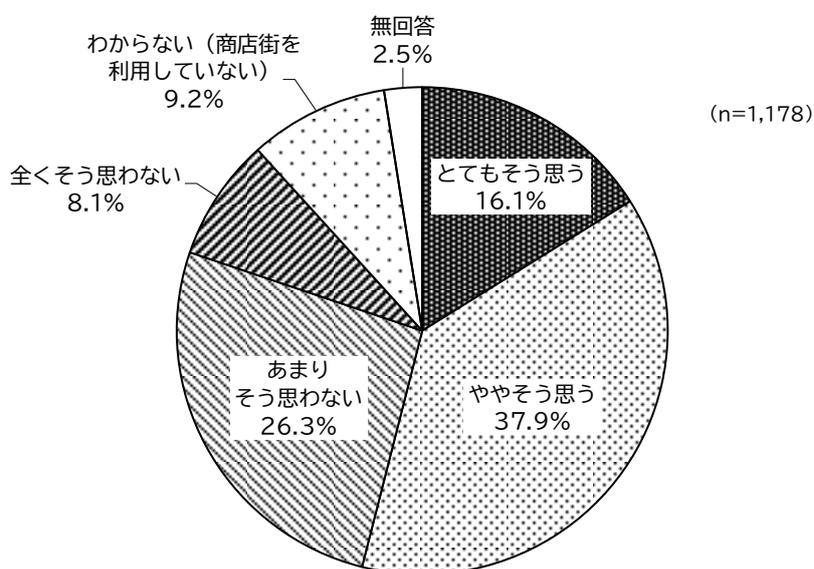
(1) 区の商店街のにぎわい

問40 あなたが利用している区内の商店街はにぎわいがあると思いますか。
(あてはまるもの1つに○)

①全体

「ややそう思う」が37.9%で最も高く、「とてもそう思う(16.1%)」を合わせた『そう思う』が54.0%となっている。「あまりそう思わない(26.3%)」と「全くそう思わない(8.1%)」を合わせた『そう思わない』は34.4%である。

図11-1-1 区の商店街のにぎわい(全体)



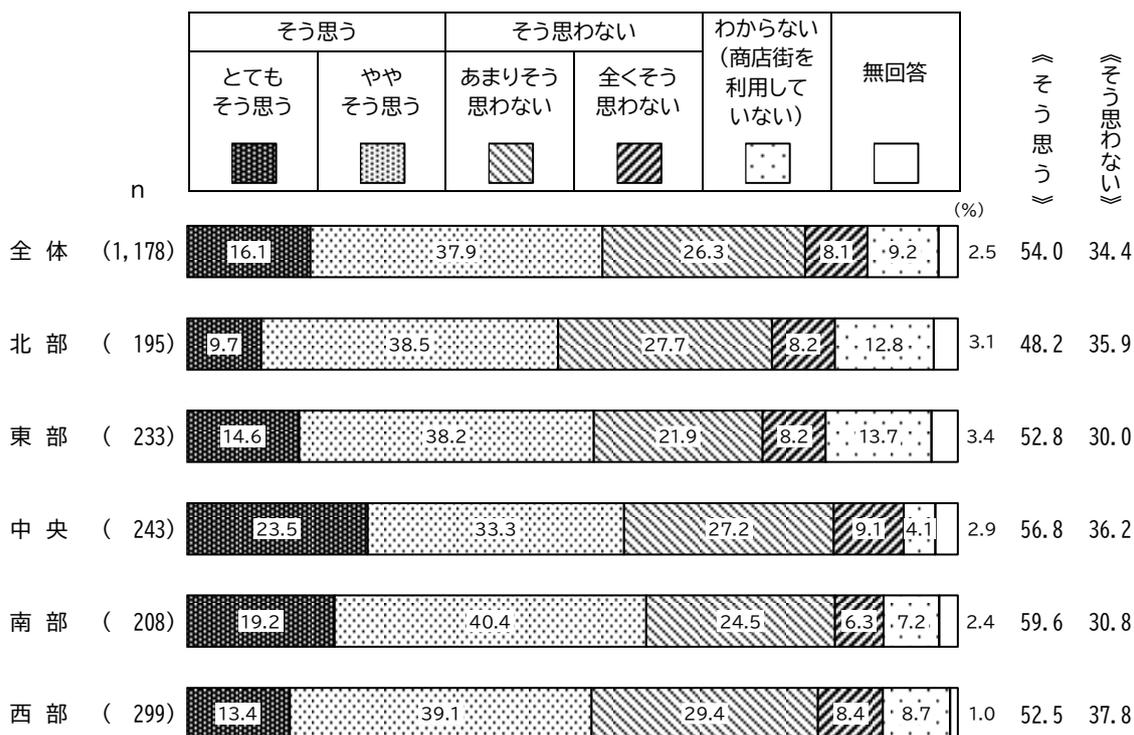
②地区別

「とてもそう思う」は中央地区(23.5%)で最も高くなっている。『そう思う』は南部地区(59.6%)が最も高く、次いで中央地区(56.8%)が高くなっている。

『そう思わない』は西部地区(37.8%)、中央地区(36.2%)、北部地区(35.9%)が高くなっている。

「わからない(商店街を利用していない)」は北部地区(12.8%)と東部地区(13.7%)が1割台とやや高い。

図11-1-2 区の商店街のにぎわい(地区別)



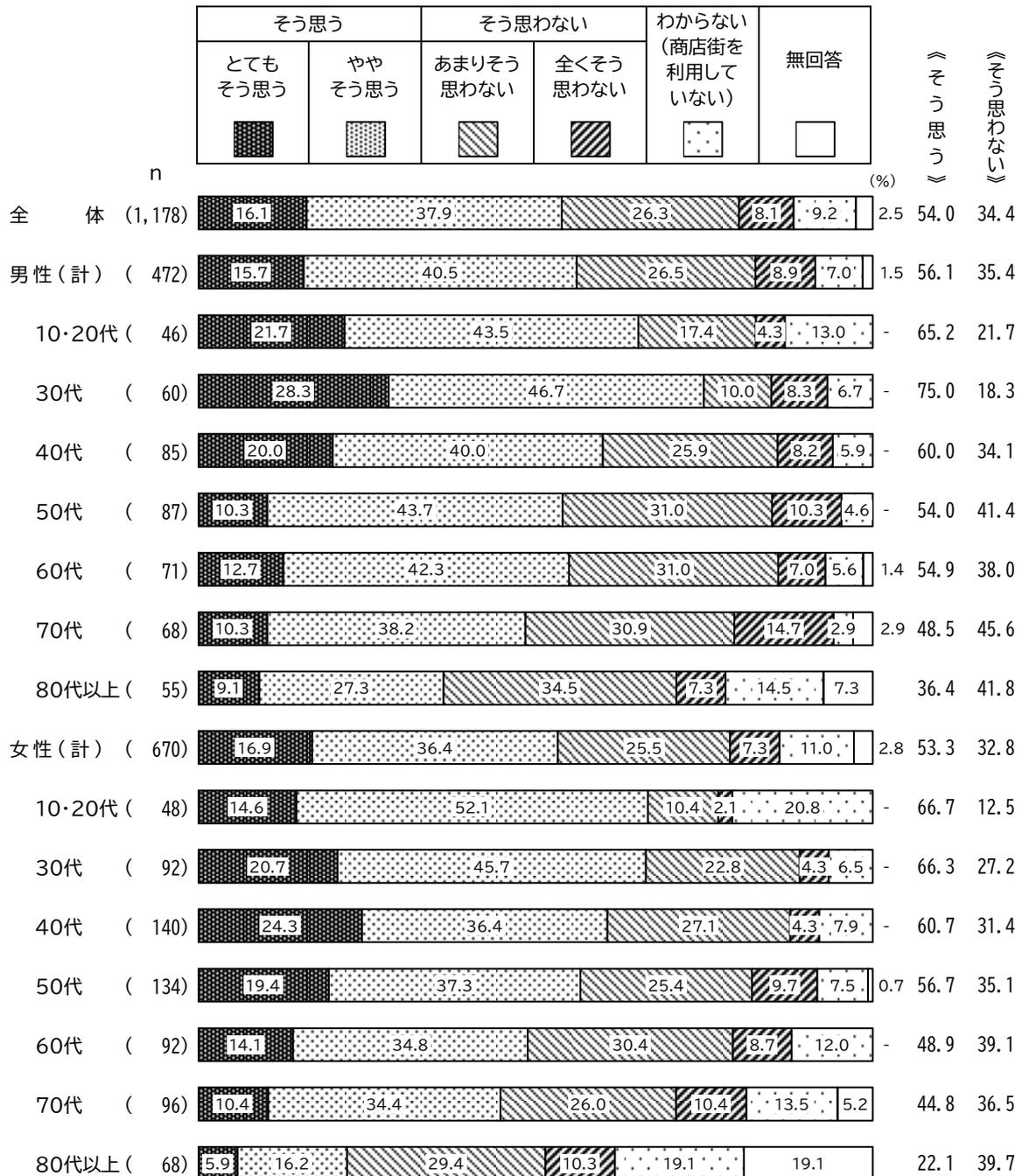
③性・年代別

「とてもそう思う」は男性の40代以下、女性の30～50代で2割弱～2割台と高くなっている。『そう思う』は男性の30代（75.0%）が最も高く、次いで男性の10・20代、女性の30代以下も6割台後半と高くなっている。

『そう思わない』は男女とも40代以上で3割を超え、男性の70代（45.6%）が最も高くなっている。

「わからない（商店街を利用していない）」は女性の10・20代と80代以上で2割前後と高くなっている。

図11-1-3 区の商店街のにぎわい（性・年代別）



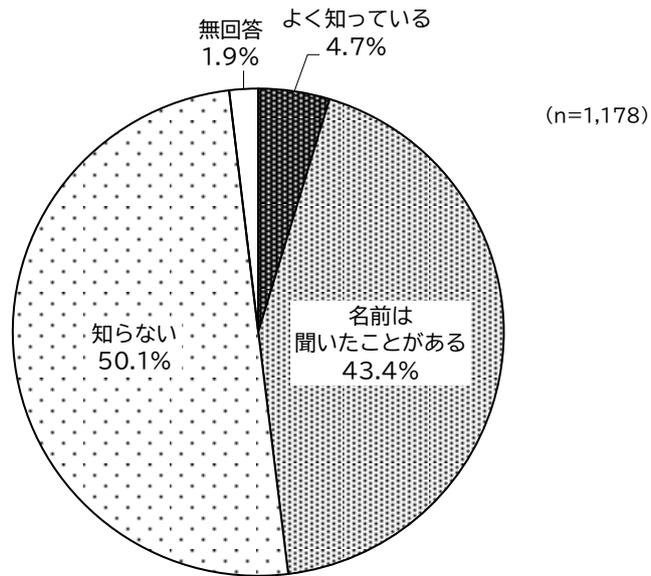
(2) 区の消費生活センターの認知度

問41 目黒区の消費生活センターをご存じですか。(あてはまるもの1つに○)

①全体

「知らない」が50.1%で最も高く、次いで、「名前は聞いたことがある(43.4%)」となっている。「よく知っている」は4.7%である。

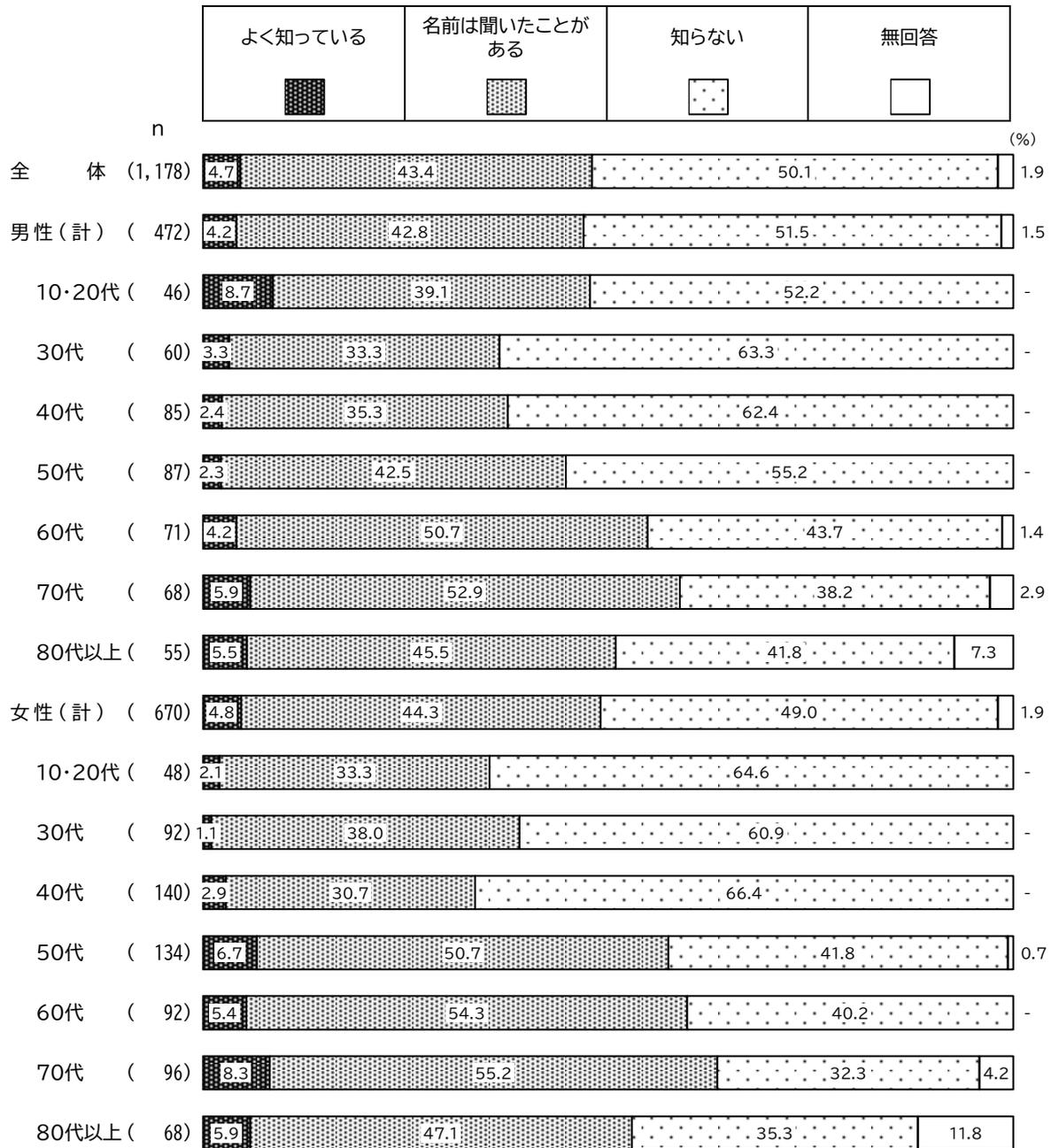
図11-2-1 区の消費生活センターの認知度(全体)



②性・年代別

「よく知っている」はすべての性・年代で1割未満となっている。「名前は聞いたことがある」は男性の60～70代と女性の50～70代で5割を超えている一方、男女とも40代以下は3割台にとどまっている。「知らない」は男性の30～40代と女性の40代以下が6割を超えている。「知らない」は男性の30～40代と女性の40代以下が6割を超えている。

図11-2-2 区の消費生活センターの認知度（性・年代別）



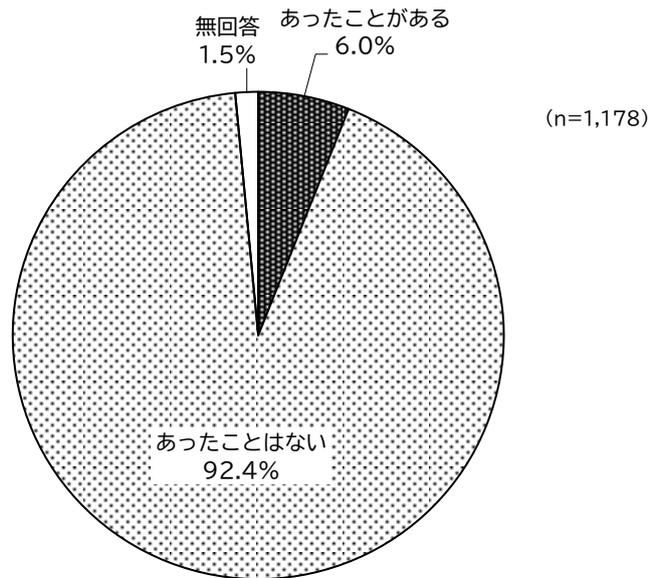
(3) 消費者トラブルの経験有無

問42 この1年間に消費者トラブルにありましたか（1回だけのつもりが定期購入コースだった、トイレ修理を頼んだら高額な費用を請求されたなど）。（あてはまるもの1つに○）

①全体

「あったことはない」が92.4%、「あったことがある」が6.0%となっている。

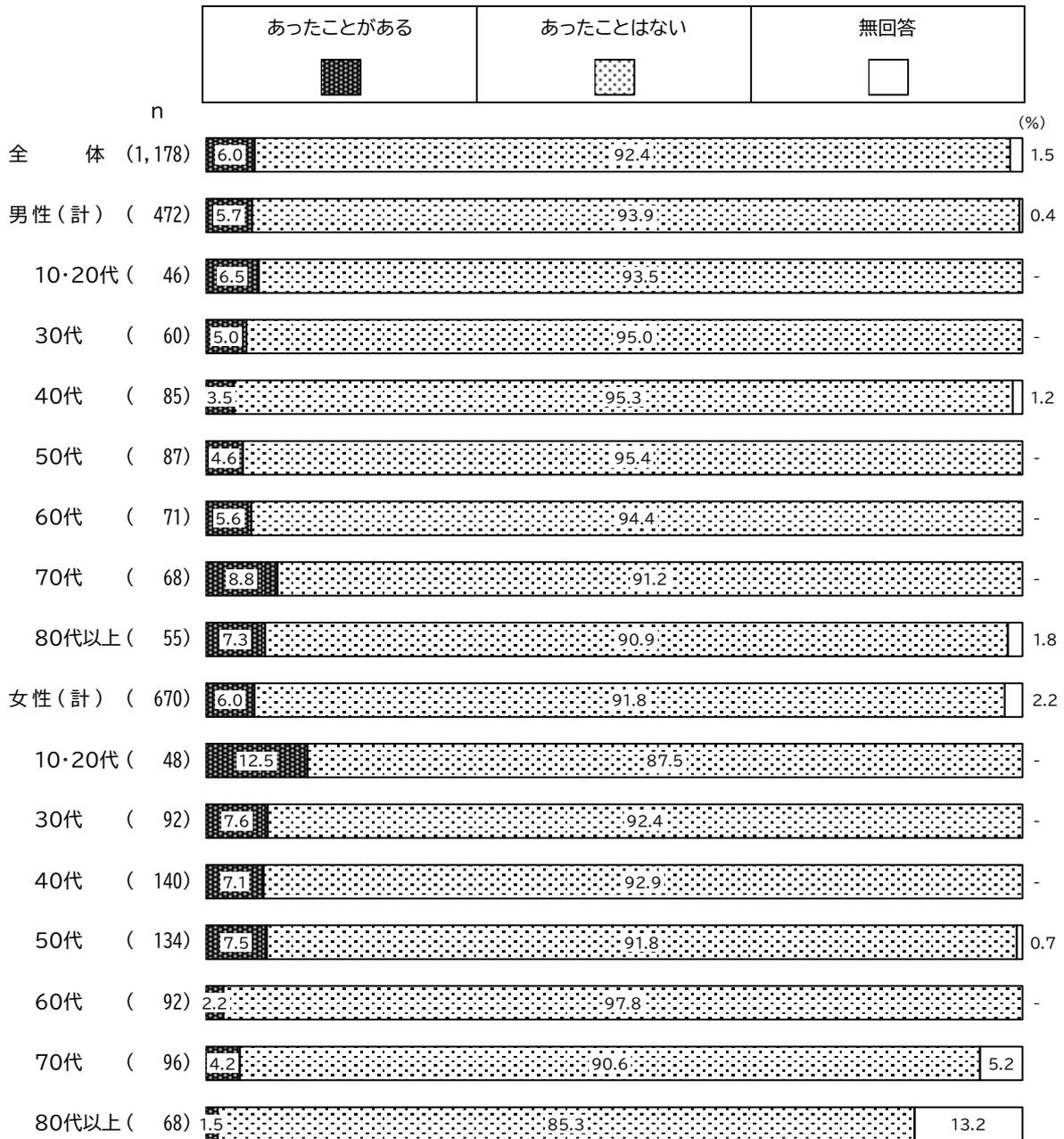
図11-3-1 消費者トラブルの経験有無（全体）



②性・年代別

「あったことがある」は女性の10・20代（12.5%）が最も高く、次いで男性の70代（8.8%）が高くなっている。

図11-3-2 消費者トラブルの経験有無（性・年代別）



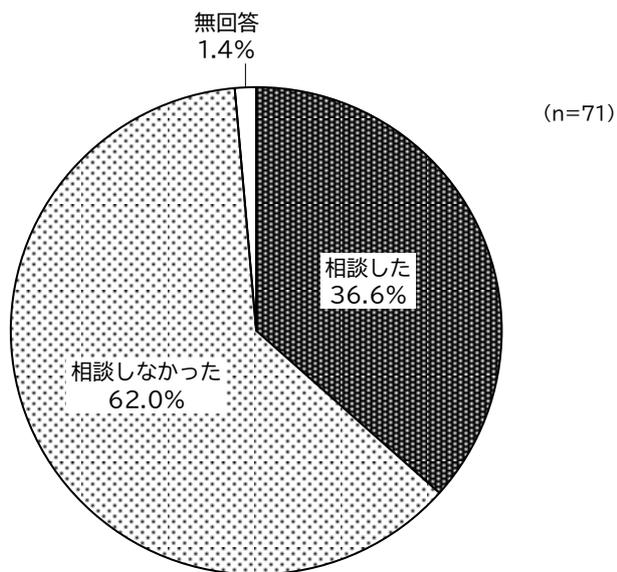
(4) 消費者トラブルの相談有無

(問42で「あったことがある」と回答した方にお尋ねします。)
問42-1 その際にどこかに相談しましたか。(あてはまるもの1つに○)

①全体

「相談しなかった」が62.0%、「相談した」が36.6%となっている。

図11-4-1 消費者トラブルの相談有無(全体)



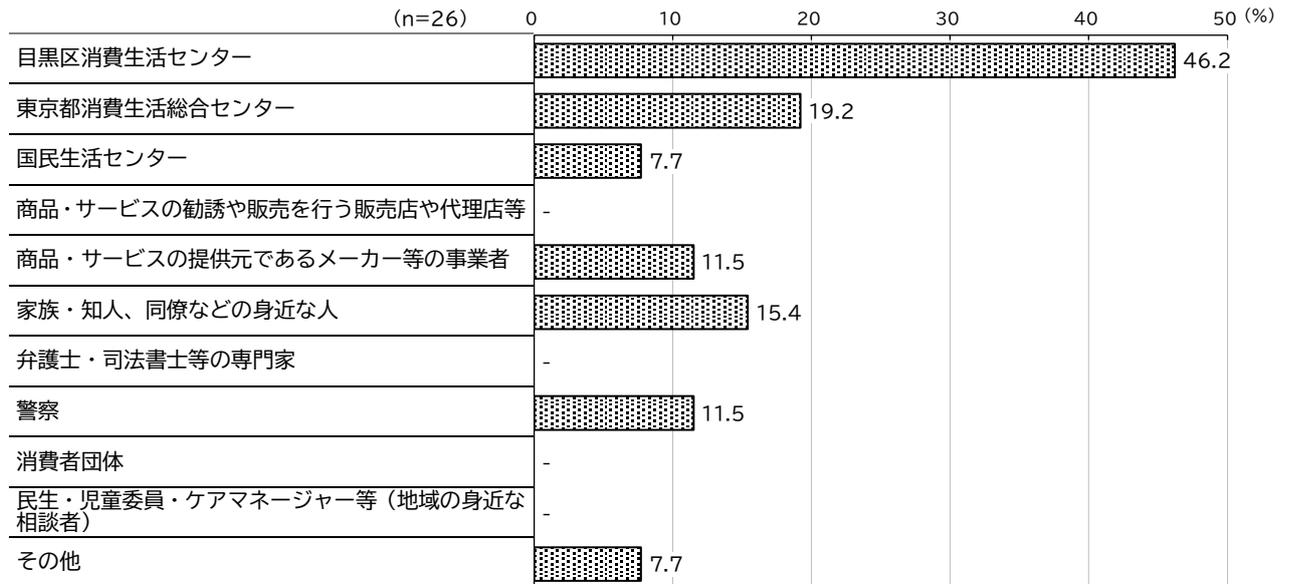
(5) 消費者トラブルの相談先

(問42-1で「相談した」と回答した方にお尋ねします。)
 問42-2 相談は、どちらにしましたか。(あてはまるものすべてに○)

①全体

「目黒区消費生活センター」が46.2%で最も高くなっている。次いで、「東京都消費生活総合センター(19.2%)」、「家族・知人、同僚などの身近な人(15.4%)」となっている。

図11-5-1 消費者トラブルの相談先(全体)



12 広報・ホームページ

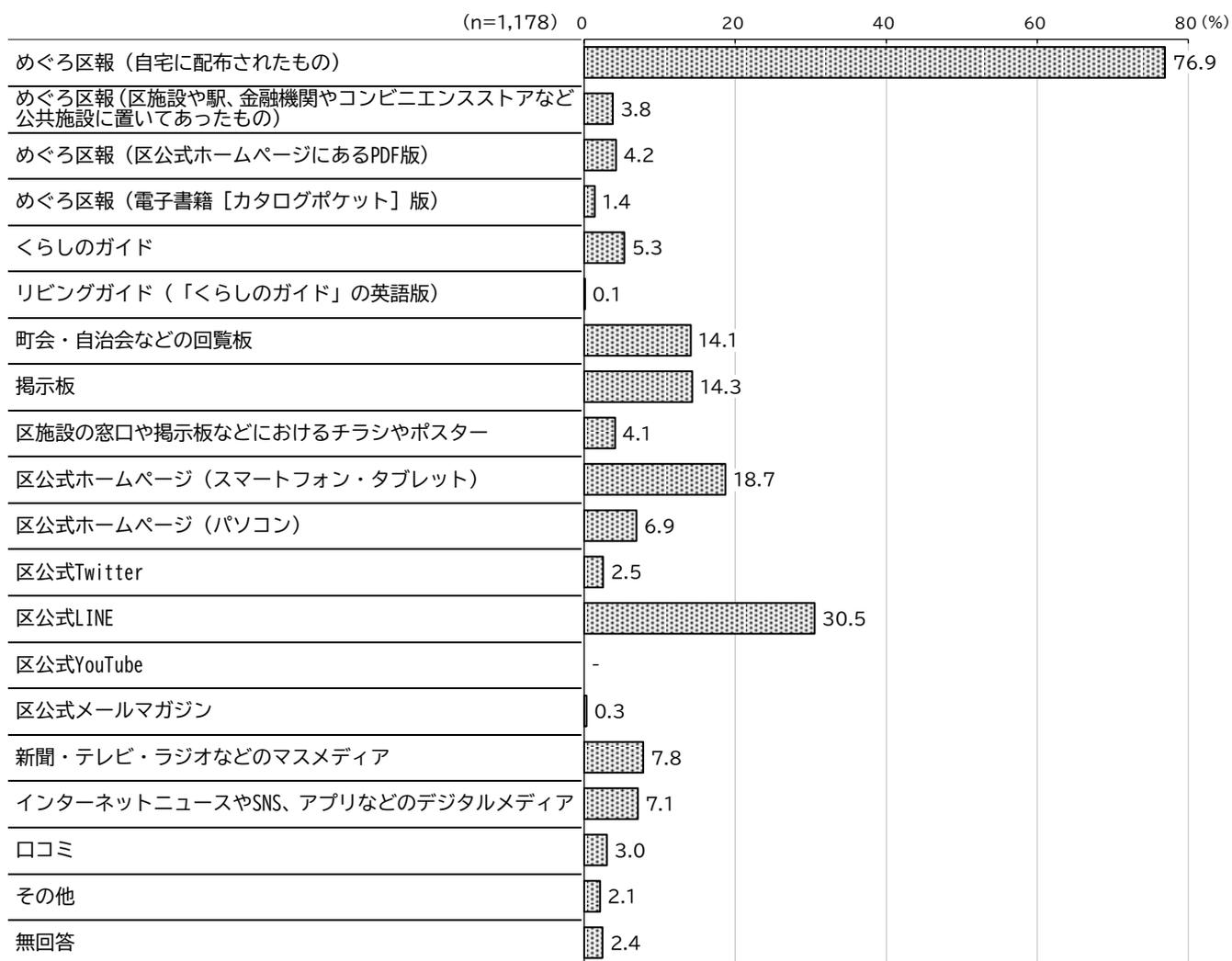
(1) 区政情報の入手先

問43 あなたは、日ごろ、区政情報をどのように入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

①全体

「めぐろ区報（自宅に配布されたもの）」が76.9%で最も高くなっている。次いで、「区公式LINE（30.5%）」、「区公式ホームページ（スマートフォン・タブレット）（18.7%）」、「掲示板（14.3%）」、「町会・自治会などの回覧板（14.1%）」となっている。

図12-1-1 区政情報の入手先（全体）



②性・年代別

「めぐろ区報（自宅に配布されたもの）」はすべての性・年代で5割以上で、特に男性の50代以上、女性の30代以上で7割を超えている。「区公式LINE」は女性の50代（49.3%）が最も高く、次いで女性の30～40代も4割前後と高くなっている。「区公式ホームページ（スマートフォン・タブレット）」は女性の60代（29.3%）が最も高く、次いで女性の50代（27.6%）が高くなっている。

表12-1-1 区政情報の入手先（性・年代別）

(%)

	n	めぐろ区報(自宅に配布されたもの)	めぐろ区報(区施設や駅、金融機関やコンビニエンスストアなど公共施設に置いてあったもの)	めぐろ区報(区公式ホームページにあるPDF版)	めぐろ区報(電子書籍[カタログポケット]版)	くらしのガイド	リビングガイド(「くらしのガイド」の英語版)	町会・自治会などの回覧板	掲示板	区施設の窓口や掲示板などにおけるチラシやポスター	区公式ホームページ(スマートフォン・タブレット)
全体	1,178	76.9	3.8	4.2	1.4	5.3	0.1	14.1	14.3	4.1	18.7
男性計	472	73.7	4.7	4.7	1.7	6.1	-	15.0	15.3	3.6	19.7
10・20代	46	50.0	4.3	2.2	2.2	4.3	-	2.2	6.5	2.2	19.6
30代	60	50.0	1.7	5.0	1.7	-	-	8.3	11.7	1.7	8.3
40代	85	61.2	4.7	1.2	1.2	2.4	-	4.7	17.6	4.7	24.7
50代	87	77.0	8.0	5.7	2.3	4.6	-	16.1	11.5	1.1	18.4
60代	71	90.1	2.8	5.6	2.8	5.6	-	14.1	11.3	4.2	25.4
70代	68	91.2	2.9	7.4	1.5	14.7	-	26.5	29.4	8.8	25.0
80代以上	55	90.9	7.3	5.5	-	12.7	-	34.5	16.4	1.8	12.7
女性計	670	79.4	3.3	4.0	1.2	4.8	0.1	13.3	13.9	4.0	17.8
10・20代	48	54.2	2.1	2.1	-	-	-	2.1	8.3	-	6.3
30代	92	77.2	4.3	1.1	3.3	1.1	-	6.5	13.0	4.3	16.3
40代	140	77.9	0.7	4.3	2.1	2.9	-	7.1	10.0	1.4	14.3
50代	134	79.9	2.2	6.0	0.7	3.7	-	13.4	12.7	2.2	27.6
60代	92	88.0	5.4	4.3	-	5.4	1.1	15.2	18.5	7.6	29.3
70代	96	84.4	4.2	6.3	1.0	12.5	-	20.8	17.7	8.3	16.7
80代以上	68	83.8	5.9	1.5	-	7.4	-	29.4	17.6	4.4	1.5

	n	区公式ホームページ(パソコン)	区公式Twitter	区公式LINE	区公式YouTube	区公式メールマガジン	新聞・テレビ・ラジオなどのマスメディア	インターネットニュースやSNS、アプリなどのデジタルメディア	口コミ	その他	無回答
全体	1,178	6.9	2.5	30.5	-	0.3	7.8	7.1	3.0	2.1	2.4
男性計	472	8.3	2.1	27.8	-	0.6	8.5	7.6	2.1	3.2	1.3
10・20代	46	8.7	6.5	21.7	-	-	13.0	15.2	2.2	2.2	2.2
30代	60	1.7	5.0	30.0	-	-	8.3	18.3	5.0	11.7	-
40代	85	8.2	2.4	31.8	-	-	7.1	10.6	1.2	3.5	1.2
50代	87	10.3	1.1	33.3	-	1.1	2.3	4.6	3.4	2.3	-
60代	71	12.7	1.4	28.2	-	-	7.0	2.8	1.4	1.4	-
70代	68	8.8	-	25.0	-	1.5	11.8	1.5	1.5	1.5	1.5
80代以上	55	5.5	-	18.2	-	1.8	14.5	3.6	-	-	5.5
女性計	670	6.0	2.8	32.1	-	0.1	7.3	7.0	3.6	1.3	2.7
10・20代	48	2.1	2.1	27.1	-	-	8.3	8.3	4.2	6.3	4.2
30代	92	3.3	10.9	40.2	-	-	4.3	8.7	1.1	2.2	-
40代	140	6.4	5.0	39.3	-	-	2.9	10.7	-	1.4	0.7
50代	134	11.2	-	49.3	-	0.7	5.2	7.5	2.2	-	2.2
60代	92	9.8	1.1	29.3	-	-	3.3	5.4	2.2	-	-
70代	96	3.1	-	10.4	-	-	16.7	4.2	10.4	1.0	5.2
80代以上	68	-	-	10.3	-	-	16.2	1.5	8.8	1.5	10.3

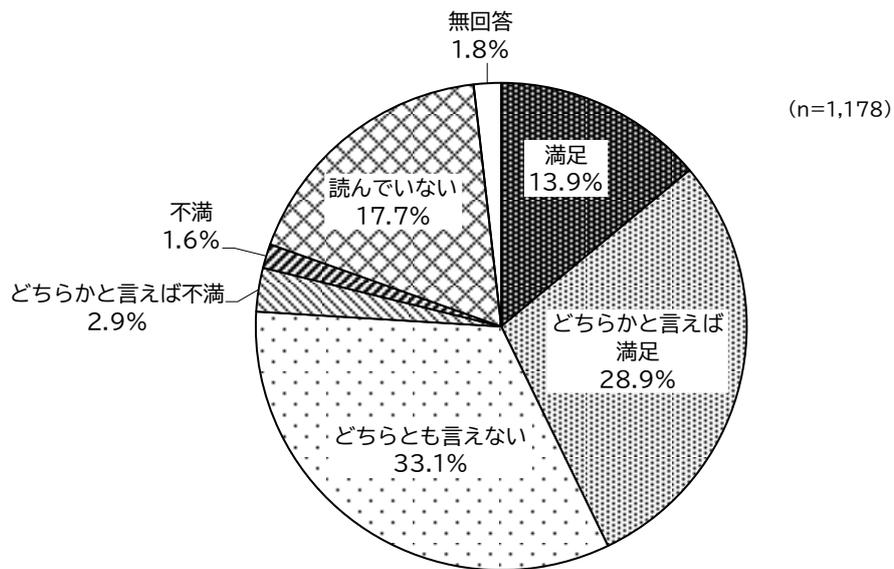
(2) 「めぐろ区報」紙面の満足度

問44 あなたは、現在の「めぐろ区報」の紙面に満足していますか。
(あてはまるもの1つに○)

①全体

「どちらとも言えない」が33.1%で最も高くなっている。「満足(13.9%)」と「どちらかと言えば満足(28.9%)」を合わせた『満足』は42.9%となっている。「読んでいない」は17.7%である。

図12-2-1 「めぐろ区報」紙面の満足度(全体)

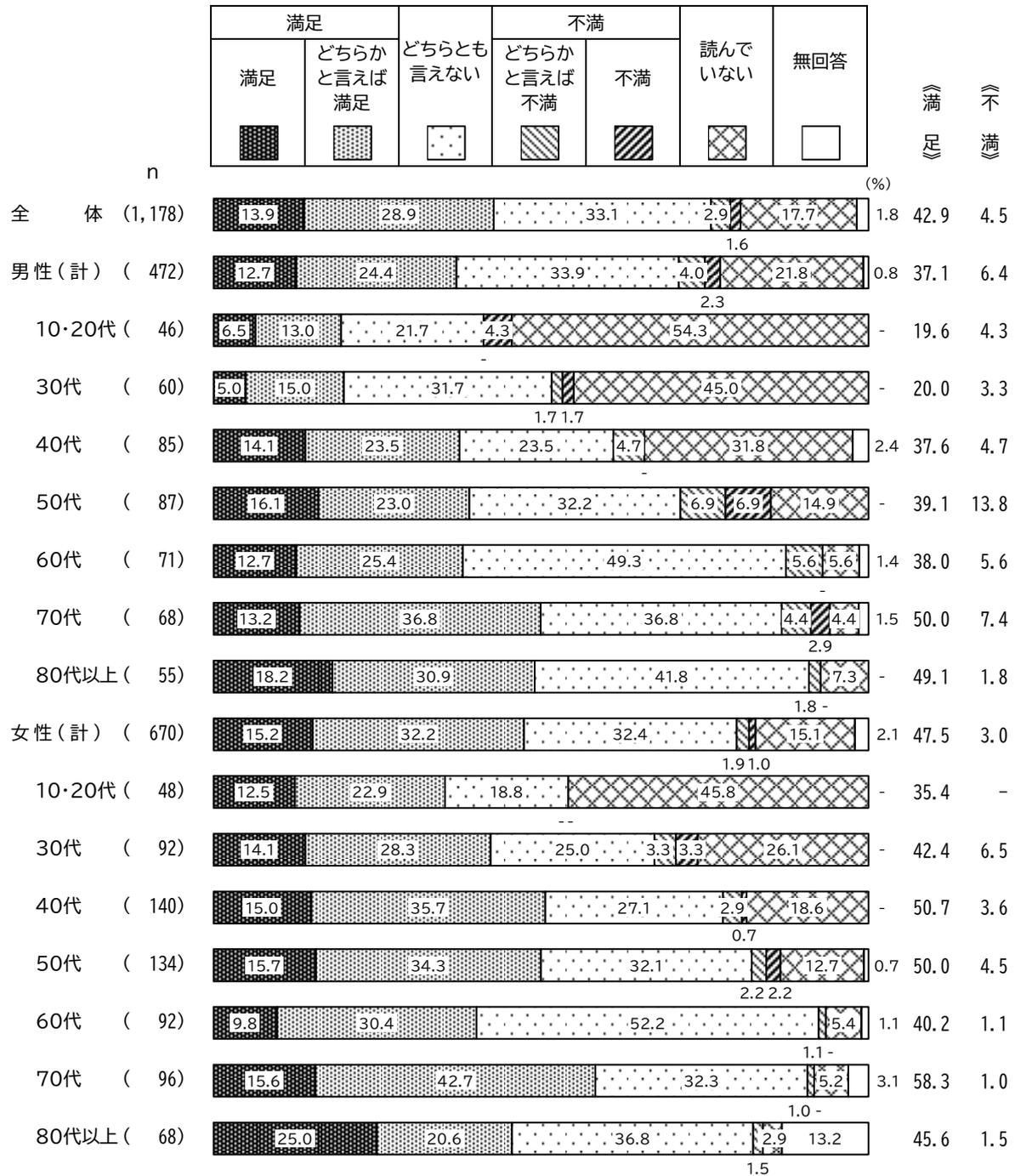


②性・年代別

『満足』は女性の方が男性より高く、女性の70代（58.3%）が最も高くなっている。男性は年代が高いほど割合が高くなる傾向にあり、70代以上で5割前後となっている。

『不満』は男性の50代（13.8%）が最も高くなっている。

図12-2-2 「めぐろ区報」紙面の満足度（性・年代別）



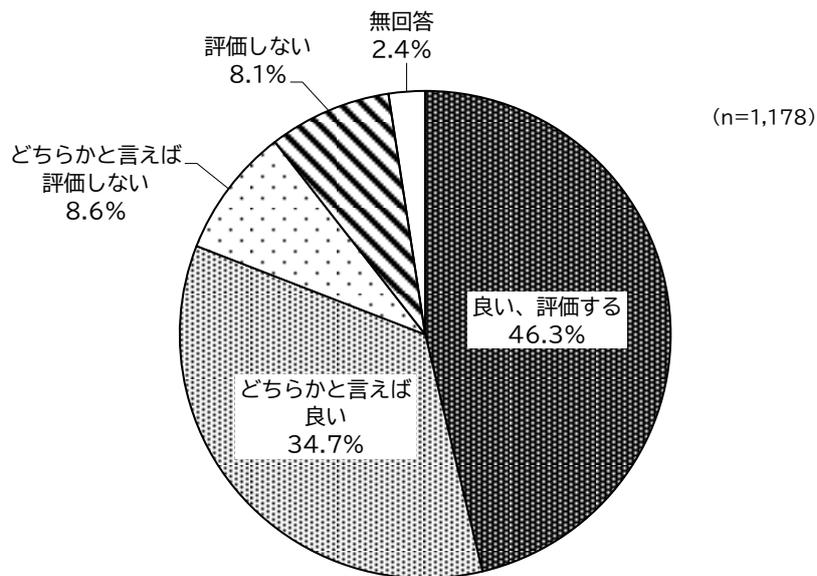
(3) 「めぐろ区報」全戸配布の評価

問45 区は令和4年度から、区内すべての世帯に「めぐろ区報」をお届けするようになりました。このことについて、どのようにお考えですか。（あてはまるもの1つに○）

①全体

「良い、評価する」が46.3%で最も高く、「どちらかと言えば良い（34.7%）」を合わせた『良い』が81.0%となっている。「どちらかと言えば評価しない（8.6%）」と「評価しない（8.1%）」を合わせた『評価しない』は16.6%である。

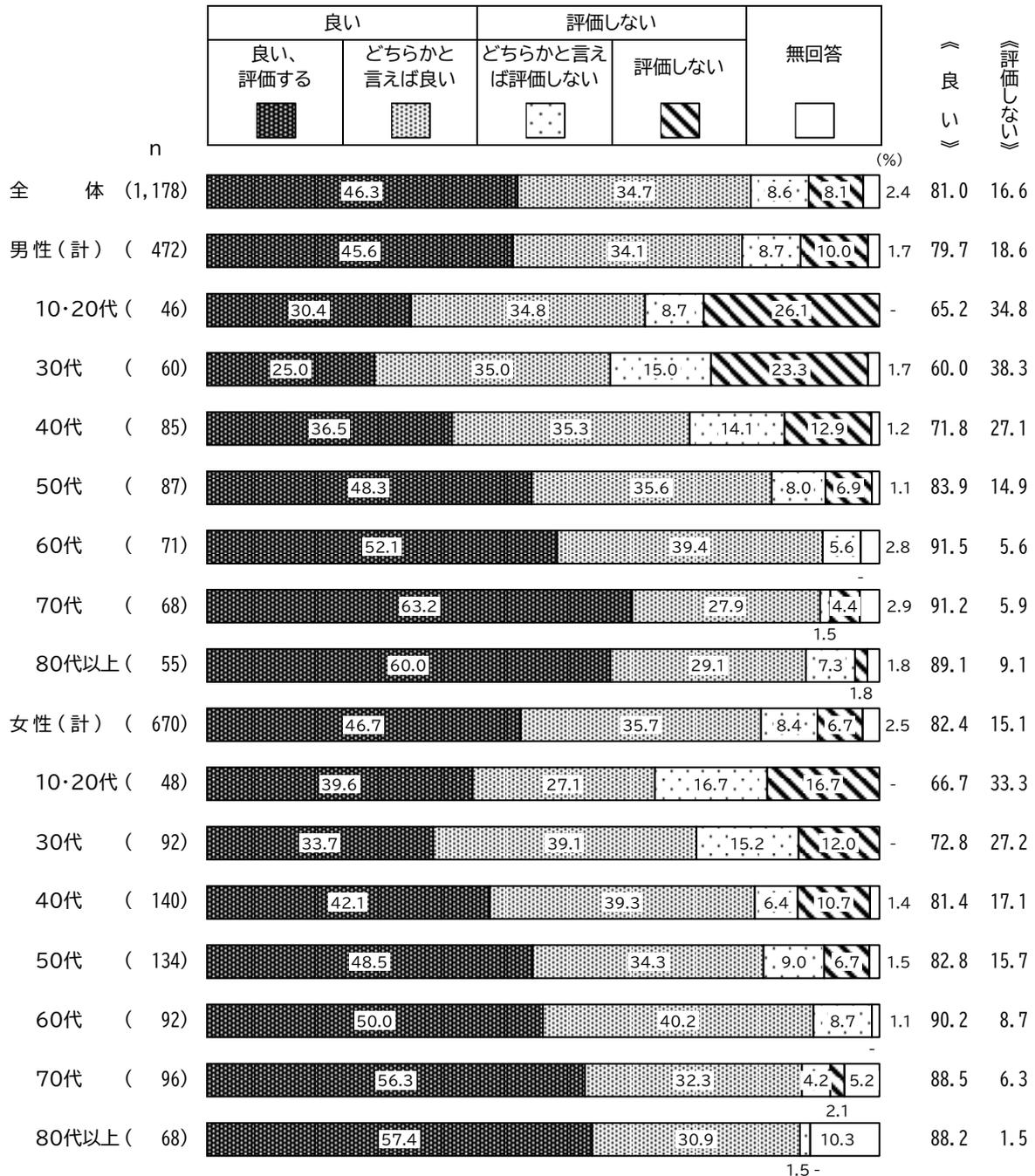
図12-3-1 「めぐろ区報」全戸配布の評価（全体）



②性・年代別

「良い、評価する」は男女とも30代が最も低く、年代が高いほど割合が高くなる傾向にあり、男女とも60代以上で5割以上となっている。『良い』はすべての性・年代で6割以上であり、男女とも60代以上で9割前後となっている。『評価しない』は年代が低いほど割合が高くなる傾向にあり、男性の30代以下と女性の10・20代で3割を超えている。

図12-3-2 「めぐろ区報」全戸配布の評価（性・年代別）



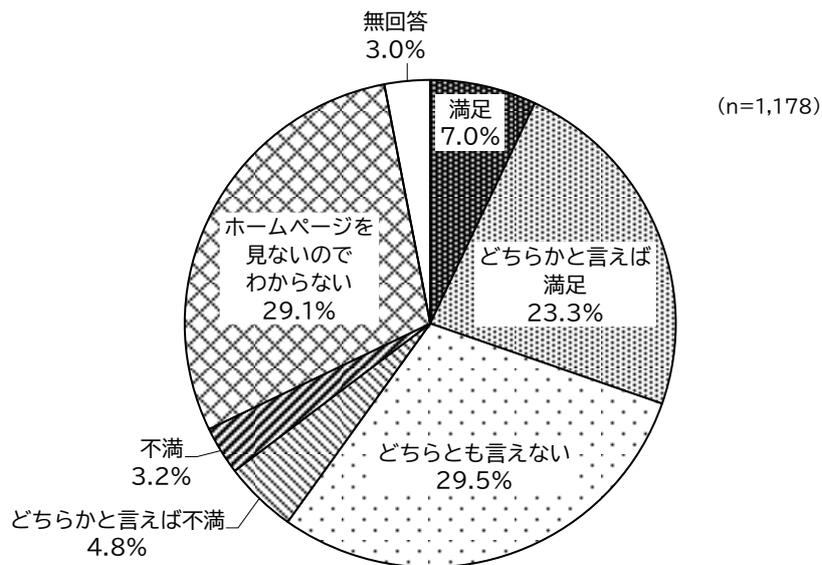
(4) 目黒区公式ホームページの満足度

問46 目黒区公式ホームページの満足度について教えてください。(あてはまるもの1つに○)

①全体

「どちらとも言えない」が29.5%、「ホームページを見ないのでわからない」が29.1%となっている。「満足(7.0%)」と「どちらかと言えば満足(23.3%)」を合わせた『満足』は30.3%である。

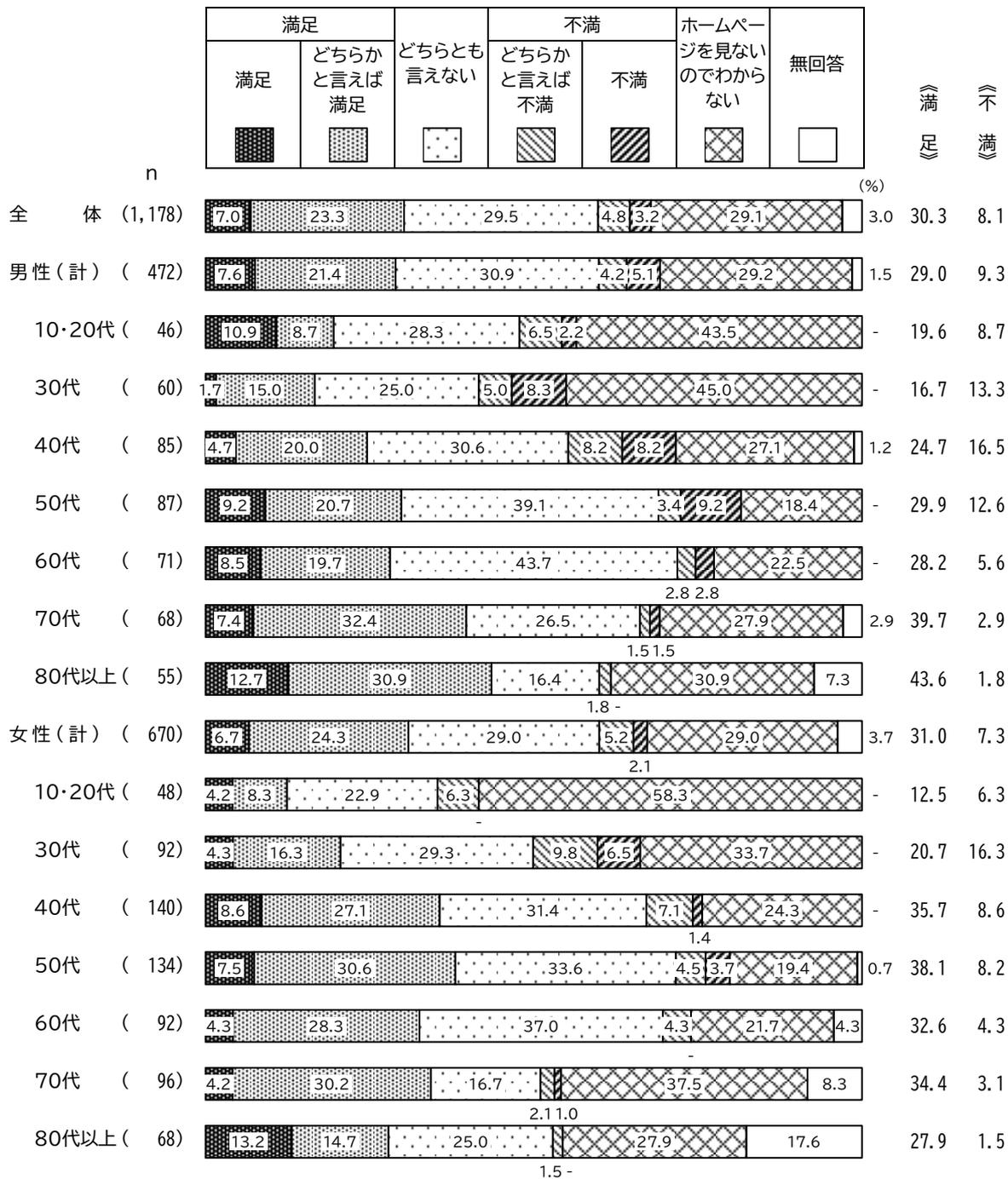
図12-4-1 目黒区公式ホームページの満足度(全体)



②性・年代別

『満足』は男性の80代以上(43.6%)が最も高く、次いで男性の70代(39.7%)、女性の50代(38.1%)が高くなっている。『不満』は男性の40代(16.5%)と女性の30代(16.3%)が高くなっている。

図12-4-2 目黒区公式ホームページの満足度(性・年代別)



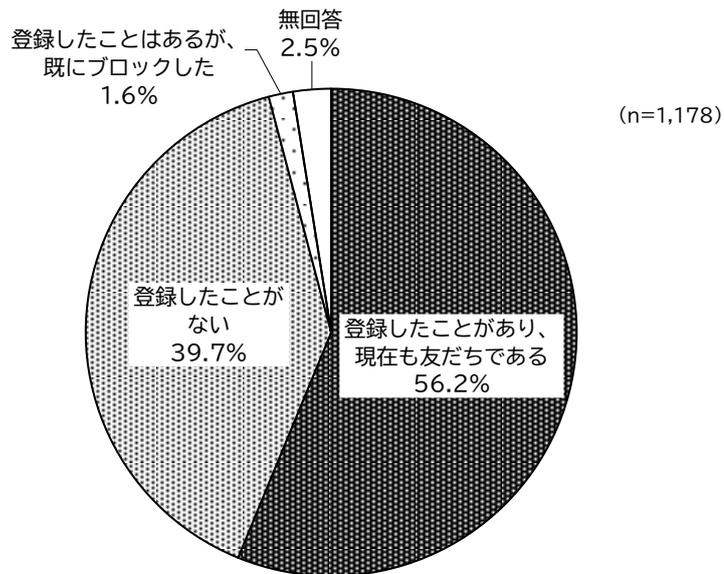
(5) 目黒区公式LINEの登録状況

問47 目黒区公式LINEについてお伺いします。あなたは、目黒区公式LINEの友だち登録をしたことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

①全体

「登録したことがあり、現在も友だちである」が56.2%と最も高くなっている。「登録したことがない」が39.7%、「登録したことはあるが、既にブロックした」が1.6%となっている。

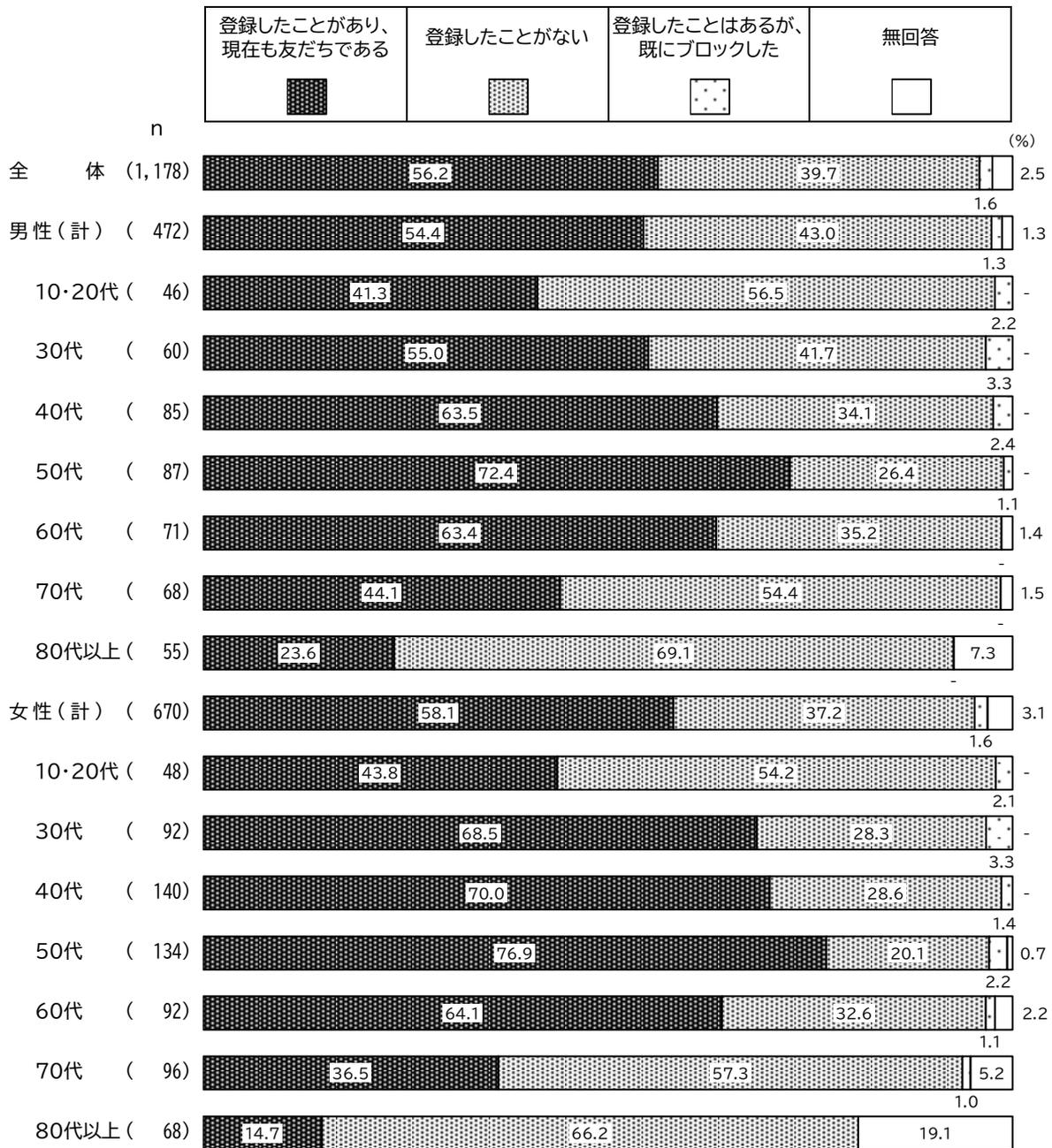
図12-5-1 目黒区公式LINEの登録状況(全体)



②性・年代別

「登録したことがあり、現在も友だちである」は男性の40～60代、女性の30～60代で6割を超えている。「登録したことがない」は男女とも10・20代と70代が5割台、80代以上が6割台となっている。

図12-5-2 目黒区公式LINEの登録状況（性・年代別）



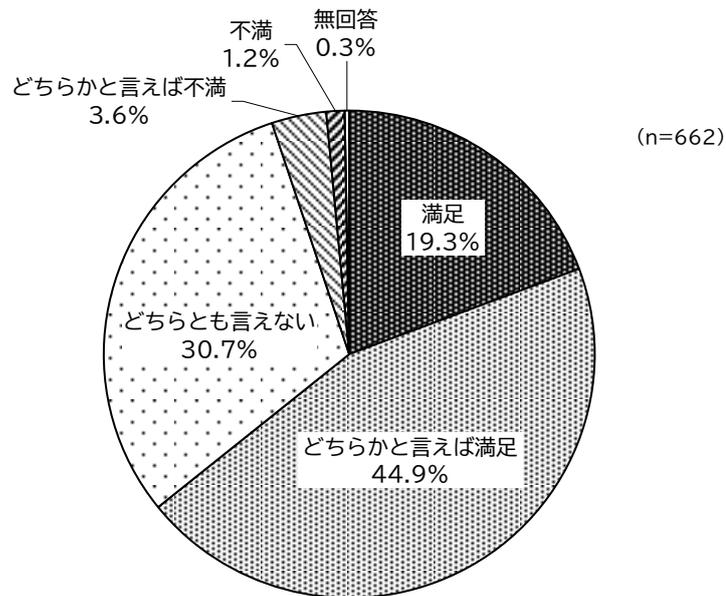
(6) 目黒区公式LINEの満足度

(問47で「登録したことがあり、現在も友だちである」と回答した方にお尋ねします。)
問47-1 あなたは、現在の目黒区公式LINEに満足していますか。(あてはまるもの1つに○)

①全体

「どちらかと言えば満足」が44.9%で最も高く、「満足(19.3%)」を合わせた『満足』は64.2%となっている。「どちらかと言えば不満(3.6%)」と「不満(1.2%)」を合わせた『不満』は4.8%、「どちらとも言えない」は30.7%となっている。

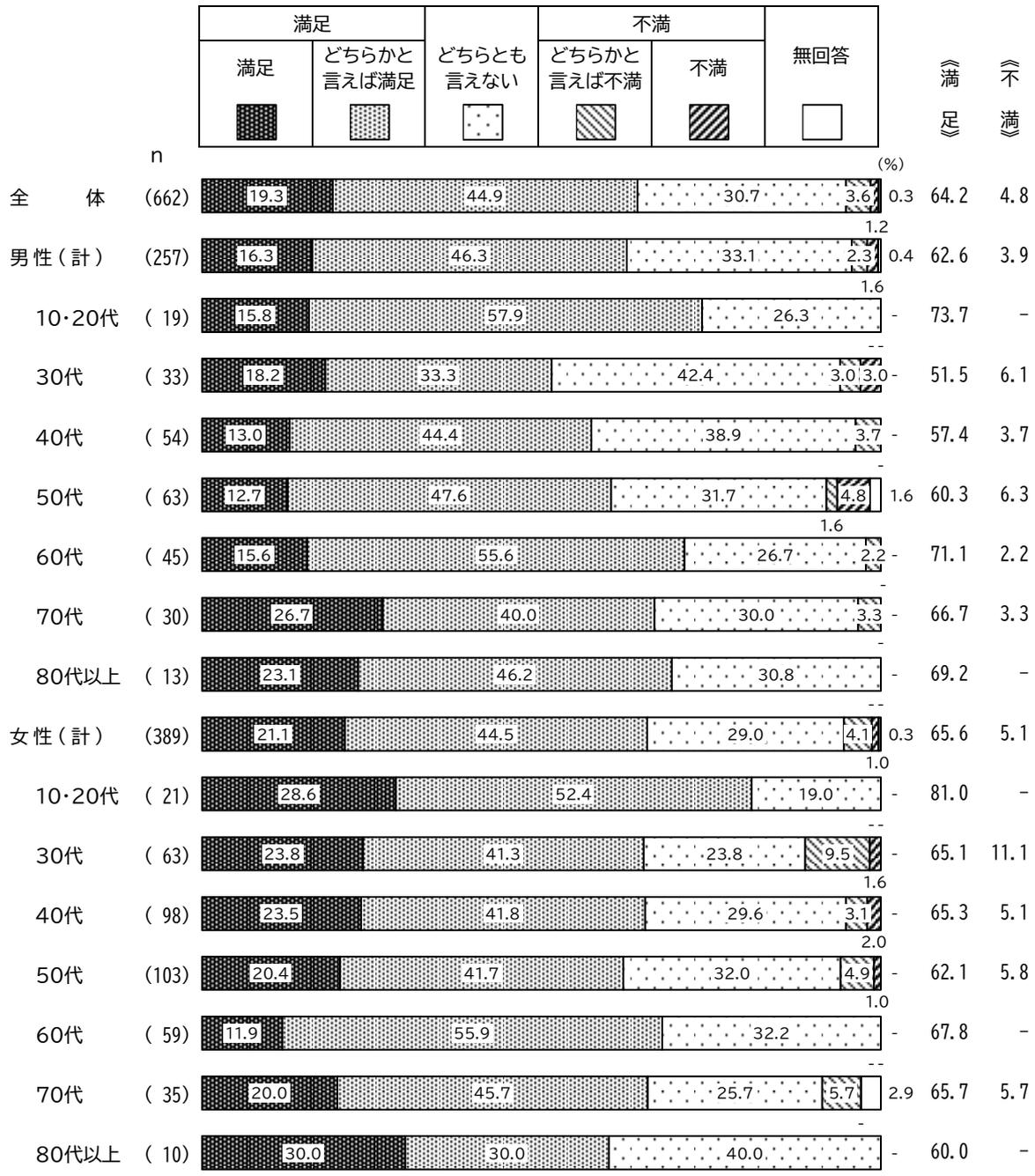
図12-6-1 目黒区公式LINEの満足度(全体)



②性・年代別

『満足』はすべての性・年代で5割を超えている。『不満』は女性の30代（11.1%）で1割を超えている。

図12-6-2 目黒区公式LINEの満足度（性・年代別）



(7) 目黒区公式LINEを登録しない理由

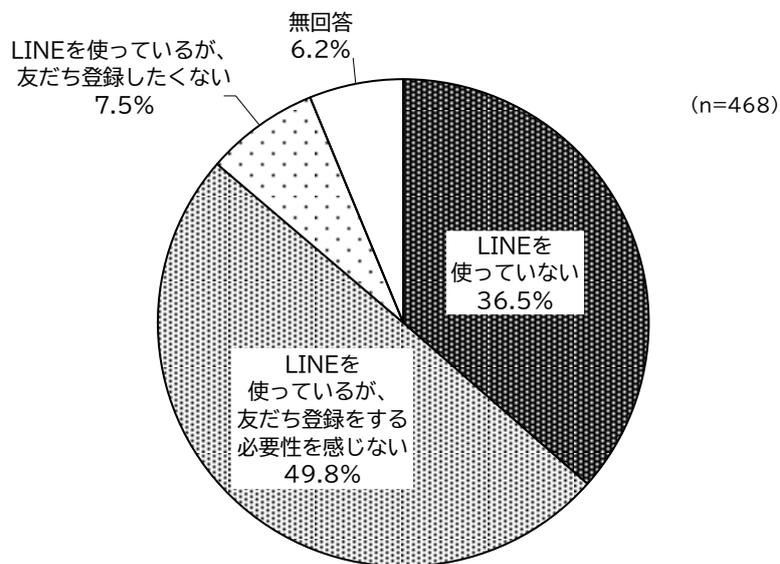
(問47で「登録したことがない」と回答した方にお尋ねします。)

問47-2 あなたが、目黒区公式LINEを友だち登録したことがない理由を教えてください。
(あてはまるもの1つに○)

①全体

「LINEを使っているが、友だち登録をする必要性を感じない」が49.8%で最も高くなっている。「LINEを使っていない」は36.5%、「LINEを使っているが、友だち登録したくない」は7.5%である。

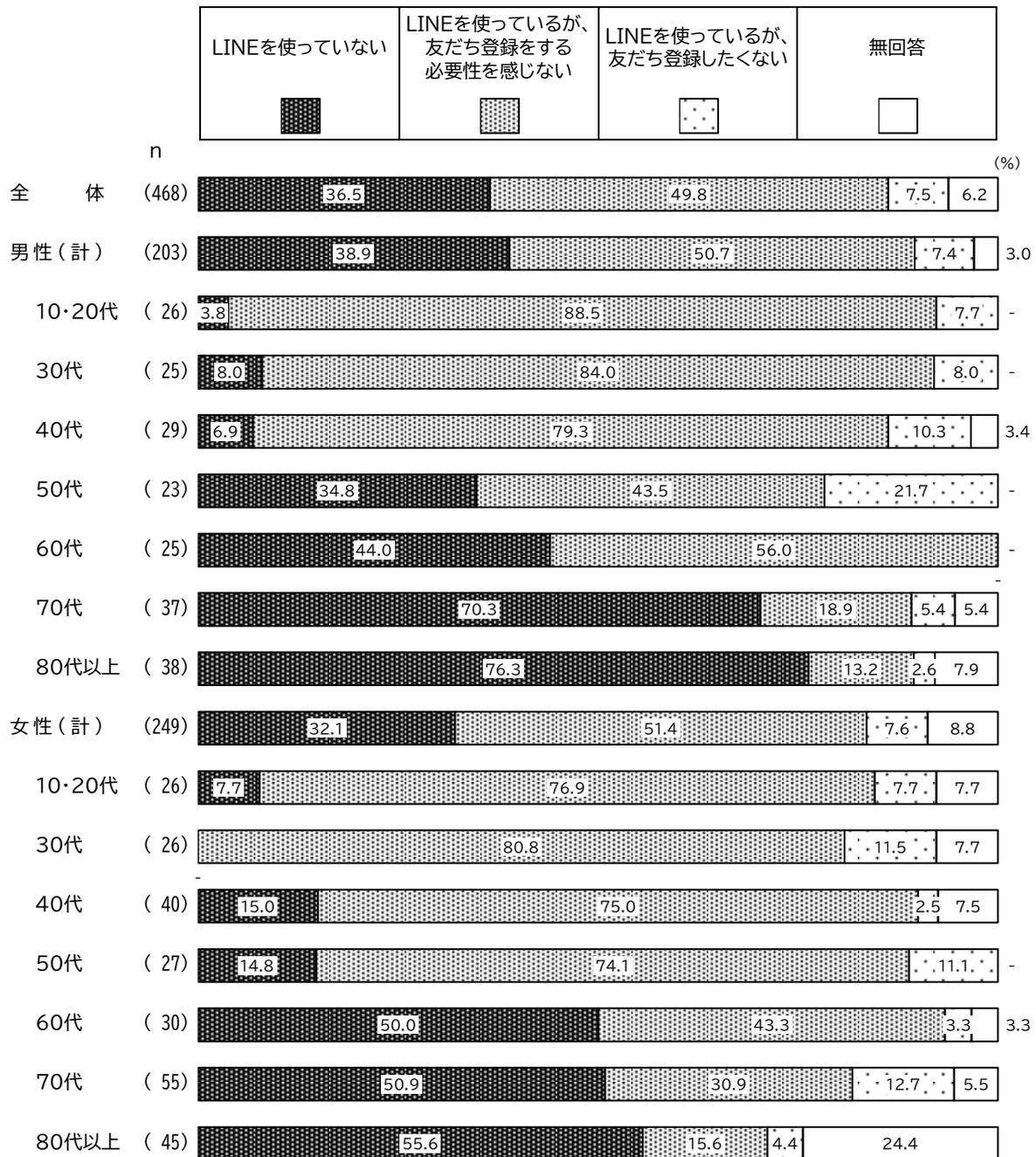
図12-7-1 目黒区公式LINEを登録しない理由(全体)



②性・年代別

男性の70代以上と女性の60代以上は「LINEを使っていない」が5割以上となっている。

図12-7-2 目黒区公式LINEを登録しない理由（性・年代別）



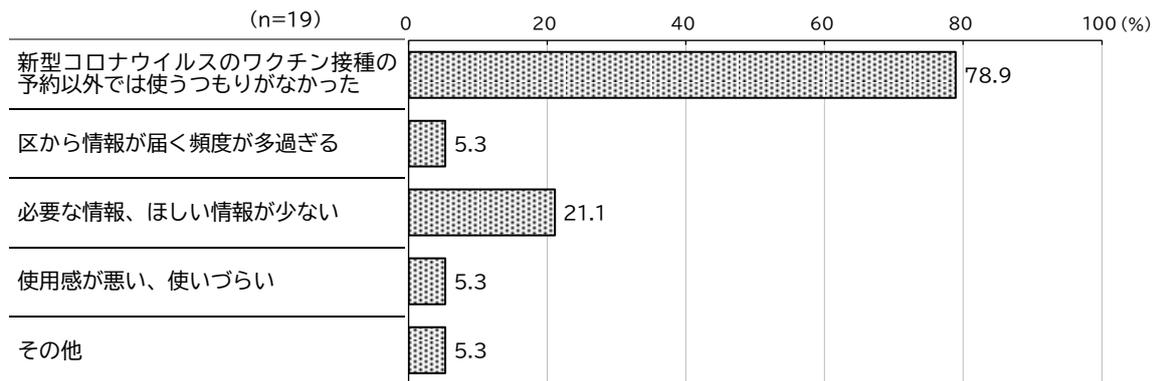
(8) 目黒区公式LINEをブロックした理由

(問47で「登録したことはあるが、既にブロックした」と回答した方にお尋ねします。)
問47-3 あなたが、目黒区公式LINEをブロックした理由を教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

①全体

「新型コロナウイルスのワクチン接種の予約以外では使うつもりがなかった」が78.9%で最も高くなっている。次いで、「必要な情報、ほしい情報が少ない(21.1%)」となっている。

図12-8-1 目黒区公式LINEをブロックした理由(全体)



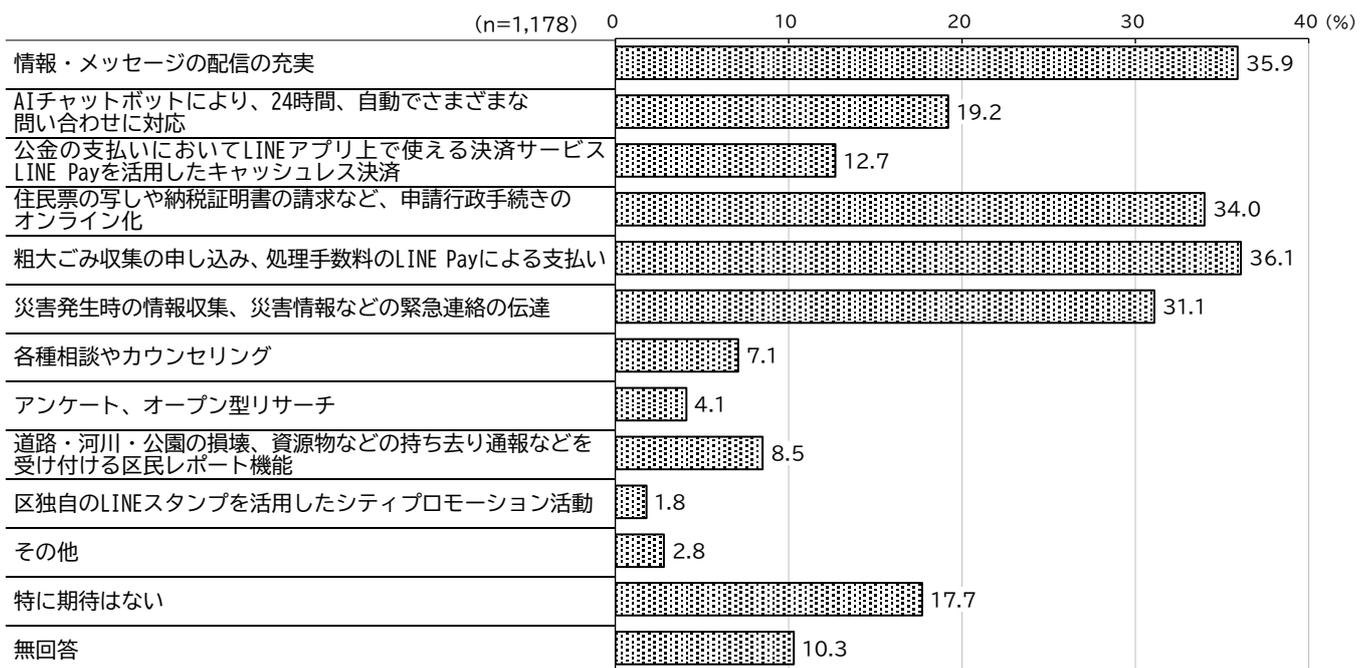
(9) 目黒区公式LINEに期待すること

問48 今後、目黒区公式LINEに期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

①全体

「粗大ごみ収集の申し込み、処理手数料のLINE Payによる支払い」が36.1%、「情報・メッセージの配信の充実」が35.9%で高くなっている。次いで、「住民票の写しや納税証明書の請求など、申請行政手続きのオンライン化(34.0%)」、「災害発生時の情報収集、災害情報などの緊急連絡の伝達(31.1%)」となっている。

図12-9-1 目黒区公式LINEに期待すること(全体)



②性・年代別

LINE Payによるキャッシュレス決済や支払い、手続きのオンライン化やAIによる問い合わせ対応の項目は男女とも30代を中心に高くなっている。「情報・メッセージの配信の充実」は男女とも40～60代が4割弱～5割台と高く、「災害発生時の情報収集、災害情報などの緊急連絡の伝達」は女性の30～60代が4割弱～4割台と高くなっている。

表12-9-1 目黒区公式LINEに期待すること（性・年代別）

(%)

	n	情報・メッセージの配信の充実	AIチャットボットにより、24時間、自動でさまざまな問い合わせに対応	公金の支払いにおいてLINEアプリ上で使える決済サービスLINE Payを活用したキャッシュレス決済	住民票の写しや納税証明書等の請求など、申請行政手続きのオンライン化	粗大ごみ収集の申し込み、処理事手数料のLINE Payによる支払い	災害発生時の情報収集、災害情報などの緊急連絡の伝達	各種相談やカウンセリング	アンケート、オープン型リサーチ	道路・河川・公園の損壊、資源物などの持ち去り通報などを受け付ける区民レポート機能	区独自のLINEスタンプを活用したシティブロモーション活動
全体	1,178	35.9	19.2	12.7	34.0	36.1	31.1	7.1	4.1	8.5	1.8
男性計	472	39.0	20.3	16.1	35.2	35.0	25.6	7.4	4.4	8.7	1.9
10・20代	46	19.6	21.7	26.1	45.7	34.8	17.4	6.5	6.5	8.7	6.5
30代	60	31.7	33.3	40.0	66.7	51.7	21.7	5.0	3.3	11.7	1.7
40代	85	48.2	29.4	21.2	44.7	47.1	29.4	10.6	4.7	11.8	4.7
50代	87	40.2	20.7	11.5	36.8	41.4	36.8	5.7	6.9	13.8	-
60代	71	56.3	25.4	12.7	31.0	31.0	31.0	11.3	5.6	5.6	1.4
70代	68	35.3	4.4	1.5	13.2	20.6	20.6	7.4	2.9	5.9	-
80代以上	55	29.1	3.6	3.6	7.3	10.9	12.7	3.6	-	-	-
女性計	670	34.3	18.8	10.7	34.5	38.1	36.1	7.2	3.9	8.5	1.8
10・20代	48	16.7	18.8	10.4	33.3	52.1	29.2	4.2	6.3	6.3	2.1
30代	92	32.6	33.7	23.9	59.8	59.8	44.6	9.8	7.6	13.0	4.3
40代	140	39.3	24.3	17.1	49.3	57.1	39.3	5.7	4.3	10.7	1.4
50代	134	41.8	21.6	8.2	41.0	41.0	49.3	11.9	6.0	11.9	3.0
60代	92	45.7	18.5	5.4	20.7	20.7	40.2	8.7	-	6.5	-
70代	96	31.3	4.2	5.2	15.6	17.7	22.9	2.1	1.0	3.1	-
80代以上	68	13.2	2.9	-	2.9	5.9	10.3	4.4	1.5	2.9	1.5

	n	その他	特に期待はない	無回答
全体	1,178	2.8	17.7	10.3
男性計	472	2.5	22.0	6.1
10・20代	46	-	26.1	-
30代	60	1.7	11.7	-
40代	85	1.2	21.2	1.2
50代	87	3.4	20.7	-
60代	71	5.6	12.7	7.0
70代	68	1.5	32.4	13.2
80代以上	55	3.6	32.7	25.5
女性計	670	2.8	13.7	12.2
10・20代	48	-	20.8	2.1
30代	92	2.2	5.4	-
40代	140	3.6	9.3	0.7
50代	134	3.7	11.2	3.0
60代	92	3.3	14.1	12.0
70代	96	1.0	22.9	29.2
80代以上	68	4.4	20.6	54.4

13 自転車の安全利用

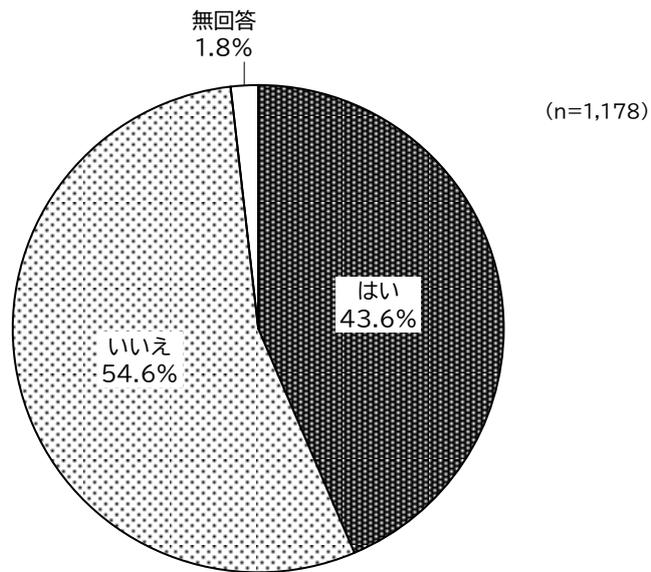
(1) 自転車の利用状況

問49 あなたは日常生活の中で、自転車を利用していますか。(あてはまるもの1つに○)

①全体

「いいえ」が54.6%、「はい」が43.6%となっている。

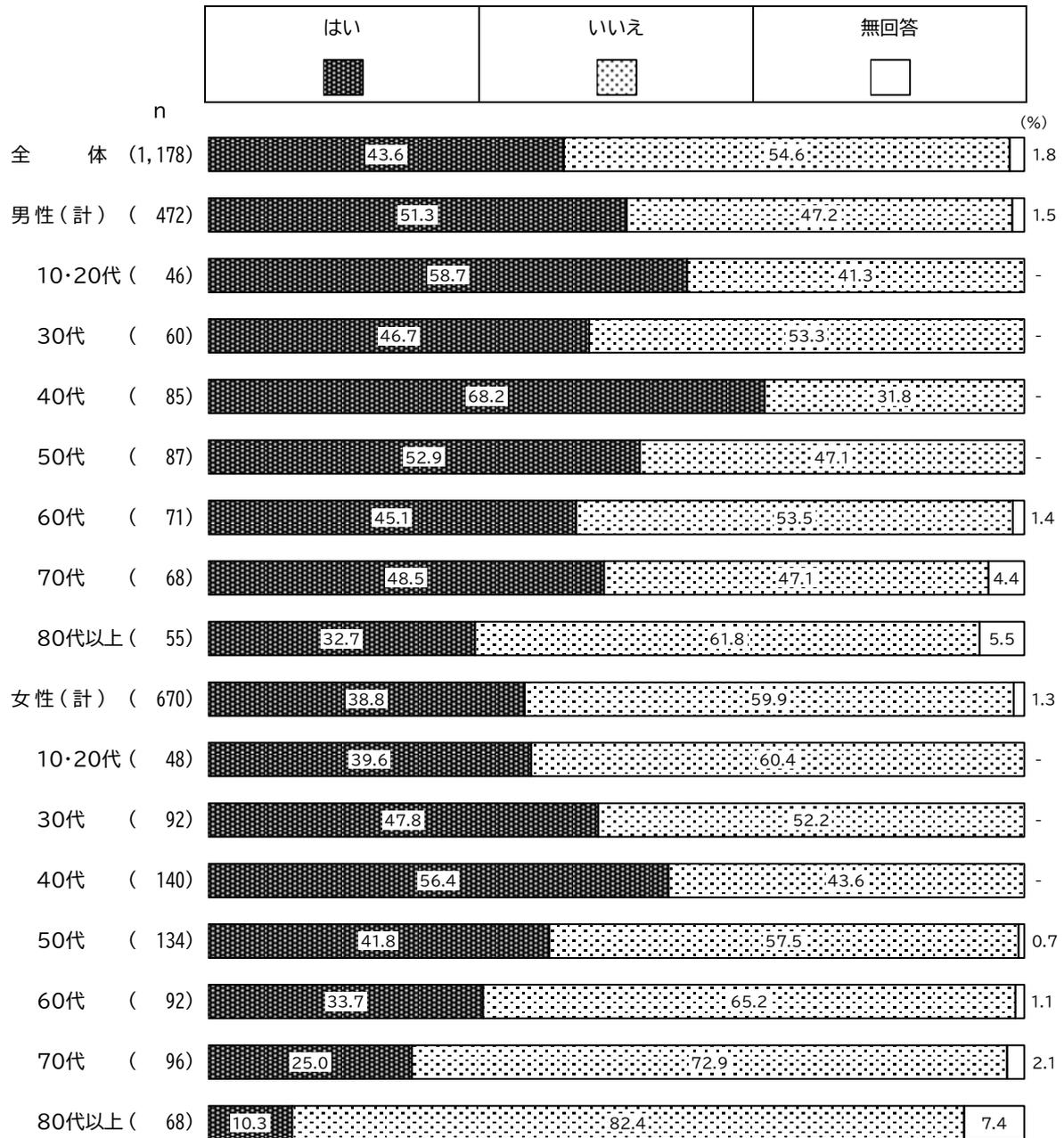
図13-1-1 自転車の利用状況(全体)



②性・年代別

「はい」は男性の方が女性より高く、男性の10・20代と40～50代で5割を超え、特に40代（68.2%）は6割台後半となっている。女性は40代（56.4%）が5割台で最も高く、次いで30代と50代が4割台となっている。

図13-1-2 自転車の利用状況（性・年代別）



(2) 自転車の安全利用への意識

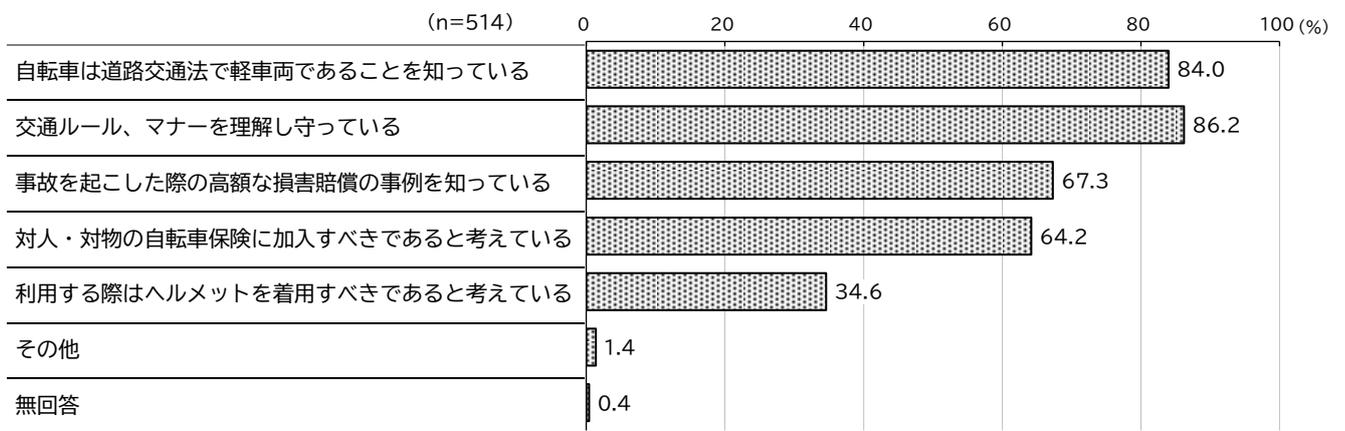
(問49で「はい」と回答した方にお尋ねします。)

問49-1 あなたは、自転車を安全に利用するために、どのような意識を持っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

①全体

「交通ルール、マナーを理解し守っている」が86.2%、「自転車は道路交通法で軽車両であることを知っている」が84.0%と高くなっている。次いで、「事故を起こした際の高額な損害賠償の事例を知っている(67.3%)」、「対人・対物の自転車保険に加入すべきであると考えている(64.2%)」となっている。

図13-2-1 自転車の安全利用への意識 (全体)



②性・年代別

「自転車は道路交通法で軽車両であることを知っている」は男性(88.4%)の方が女性(79.6%)より高く、「交通ルール、マナーを理解し守っている」は女性(89.2%)の方が男性(82.6%)より高くなっている。「利用する際はヘルメットを着用すべきであると考えている」は男性の70代(54.5%)で5割を超えているものの、男性の40代(17.2%)で2割未満、女性の30~60代も3割台と、全般的に低い。

表13-2-1 自転車の安全利用への意識(性・年代別)

(%)

	n	自転車は道路交通法で軽車両であることを知っている	交通ルール、マナーを理解し守っている	事故を起こした際の高額な損害賠償の事例を知っている	対人・対物の自転車保険に加入すべきであると考えている	利用する際はヘルメットを着用すべきであると考えている	その他	無回答
全体	514	84.0	86.2	67.3	64.2	34.6	1.4	0.4
男性計	242	88.4	82.6	66.5	63.6	35.5	1.2	0.4
10・20代	27	81.5	85.2	77.8	63.0	25.9	-	-
30代	28	89.3	82.1	64.3	64.3	35.7	-	-
40代	58	84.5	70.7	53.4	51.7	17.2	-	-
50代	46	89.1	82.6	67.4	60.9	34.8	-	-
60代	32	93.8	100.0	68.8	65.6	40.6	6.3	-
70代	33	93.9	78.8	75.8	75.8	54.5	3.0	3.0
80代以上	18	88.9	94.4	72.2	83.3	66.7	-	-
女性計	260	79.6	89.2	67.3	65.0	33.5	1.5	-
10・20代	19	94.7	84.2	78.9	73.7	21.1	-	-
30代	44	81.8	84.1	65.9	68.2	34.1	-	-
40代	79	78.5	91.1	64.6	65.8	34.2	1.3	-
50代	56	87.5	91.1	75.0	66.1	33.9	-	-
60代	31	67.7	93.5	64.5	61.3	35.5	-	-
70代	24	75.0	87.5	58.3	54.2	37.5	4.2	-
80代以上	7	42.9	85.7	57.1	57.1	28.6	28.6	-

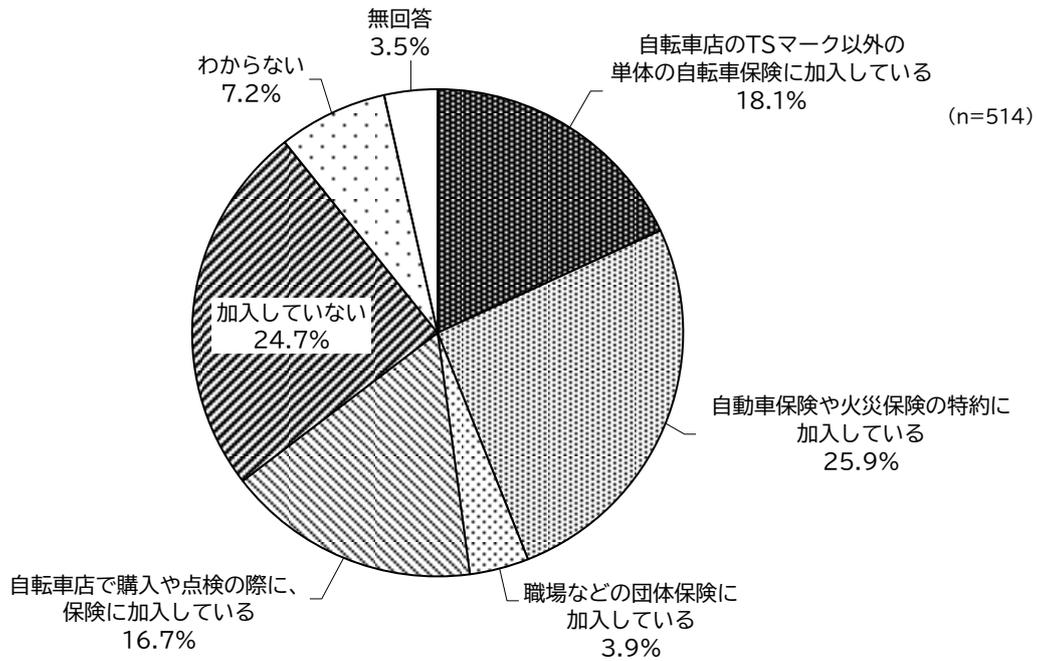
(3) 自転車保険の加入状況

問50 あなたは自転車保険に加入していますか。(あてはまるもの1つに○)

①全体

「自動車保険や火災保険の特約に加入している」が25.9%で最も高くなっている。「加入していない」は24.7%となっている。

図13-3-1 自転車保険の加入状況(全体)



(注) 問49で「はい」と回答した方で集計

②性・年代別

『加入している』は女性（66.5%）の方が男性（61.6%）より高く、女性の40～60代で7割前後となっている。

表13-3-1 自転車保険の加入状況（性・年代別）

		(%)							
	n	自転車店のTSマーク以外の単体の自転車保険に加入している	自動車保険や火災保険の特約に加入している	職場などの団体保険に加入している	自転車店で購入や点検の際に、保険に加入している	加入していない	わからない	無回答	《加入している》
全体	514	18.1	25.9	3.9	16.7	24.7	7.2	3.5	64.6
男性計	242	19.0	23.1	3.7	15.7	25.2	8.7	4.5	61.6
10・20代	27	3.7	22.2	7.4	25.9	22.2	18.5	-	59.3
30代	28	28.6	10.7	7.1	10.7	28.6	10.7	3.6	57.1
40代	58	12.1	22.4	3.4	22.4	29.3	5.2	5.2	60.3
50代	46	23.9	23.9	2.2	6.5	26.1	13.0	4.3	56.5
60代	32	40.6	18.8	3.1	6.3	18.8	3.1	9.4	68.8
70代	33	15.2	36.4	3.0	12.1	24.2	6.1	3.0	66.7
80代以上	18	5.6	27.8	-	33.3	22.2	5.6	5.6	66.7
女性計	260	17.7	27.3	3.8	17.7	24.6	6.2	2.7	66.5
10・20代	19	-	15.8	10.5	26.3	31.6	15.8	-	52.6
30代	44	22.7	18.2	2.3	18.2	34.1	4.5	-	61.4
40代	79	15.2	34.2	2.5	17.7	22.8	7.6	-	69.6
50代	56	25.0	25.0	1.8	19.6	23.2	3.6	1.8	71.4
60代	31	25.8	32.3	9.7	3.2	16.1	3.2	9.7	71.0
70代	24	4.2	33.3	4.2	25.0	20.8	4.2	8.3	66.7
80代以上	7	14.3	14.3	-	14.3	28.6	14.3	14.3	42.9

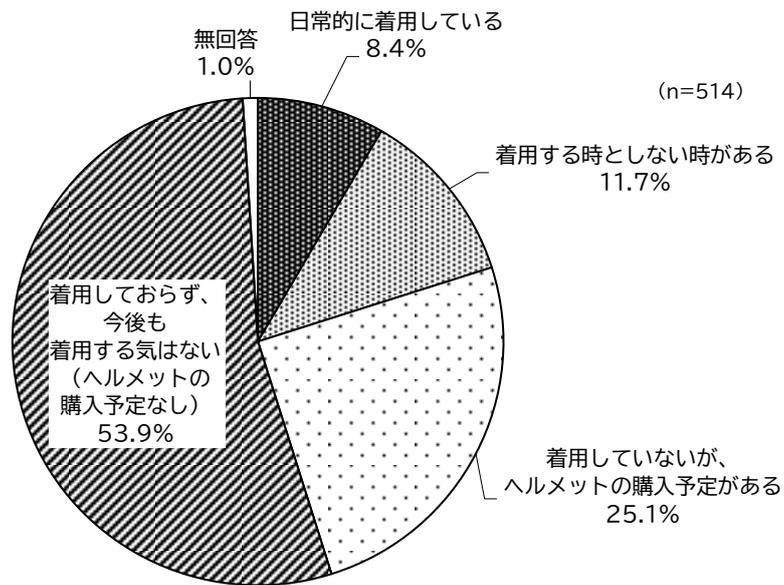
(4) 自転車利用時のヘルメット着用状況

問51 あなたは自転車を利用する際にヘルメットを着用していますか。
(あてはまるもの1つに○)

①全体

「着用しておらず、今後も着用する気はない(ヘルメットの購入予定なし)」が53.9%で最も高くなっている。次いで、「着用していないが、ヘルメットの購入予定がある(25.1%)」、「着用する時としない時がある(11.7%)」となっている。

図13-4-1 自転車利用時のヘルメット着用状況(全体)

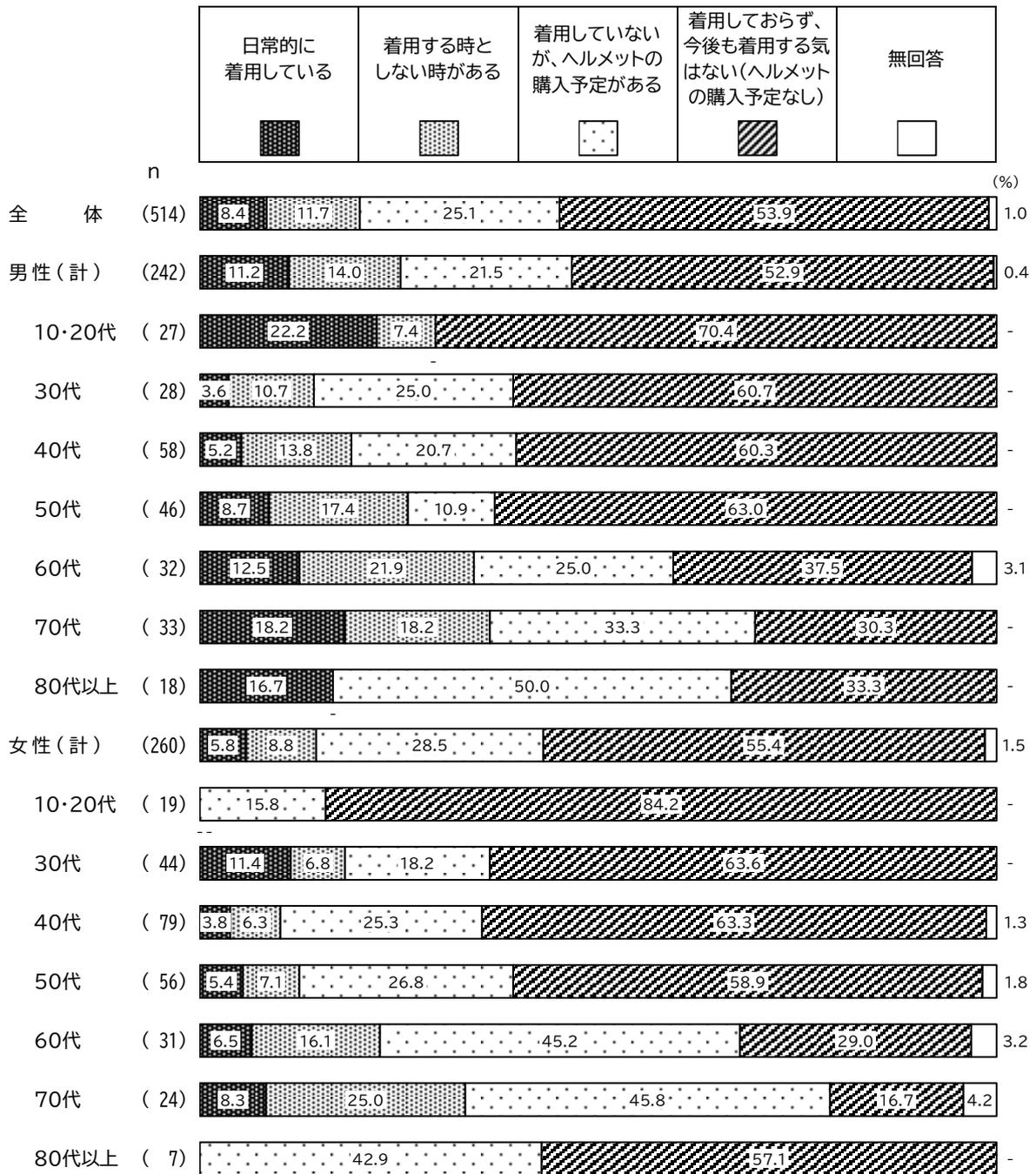


(注) 問49で「はい」と回答した方で集計

②性・年代別

「日常的に着用している」、「着用する時としない時がある」はどちらも男性の方が女性より高く、2つを合わせた『着用する』は男性の60～70代が3割を超えている。「着用していないが、ヘルメットの購入予定がある」は女性の方が高く、60代で4割を超えている。「着用しておらず、今後も着用する気はない(ヘルメットの購入予定なし)」は男女とも50代以下が高い傾向がみられ、男性の40～50代、女性の30～40代で6割を超えている。

図13-4-2 自転車利用時のヘルメット着用状況(性・年代別)



14 区の政策など

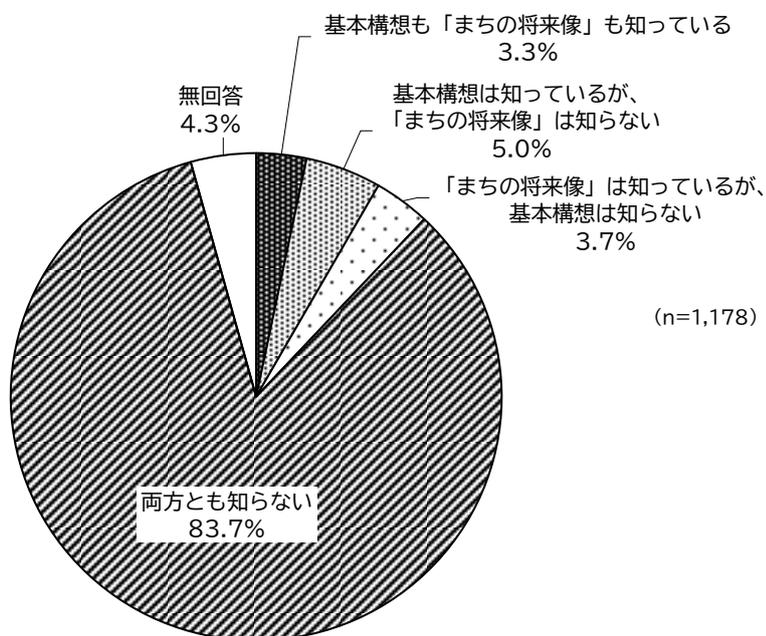
(1) 基本構想と「まちの将来像」の認知度

問52 区では令和3（2021）年3月に、「さくら咲き 心地よいまち ずっと めぐる」という「まちの将来像」を掲げる新しい基本構想を策定しました。この基本構想について、または「まちの将来像」をご存知ですか。（あてはまるもの1つに○）

①全体

「両方とも知らない」が83.7%を占める。「基本構想も「まちの将来像」も知っている（3.3%）」、「基本構想は知っているが、「まちの将来像」は知らない（5.0%）」、「「まちの将来像」は知っているが、基本構想は知らない（3.7%）」を合わせた『知っている』は12.0%である。

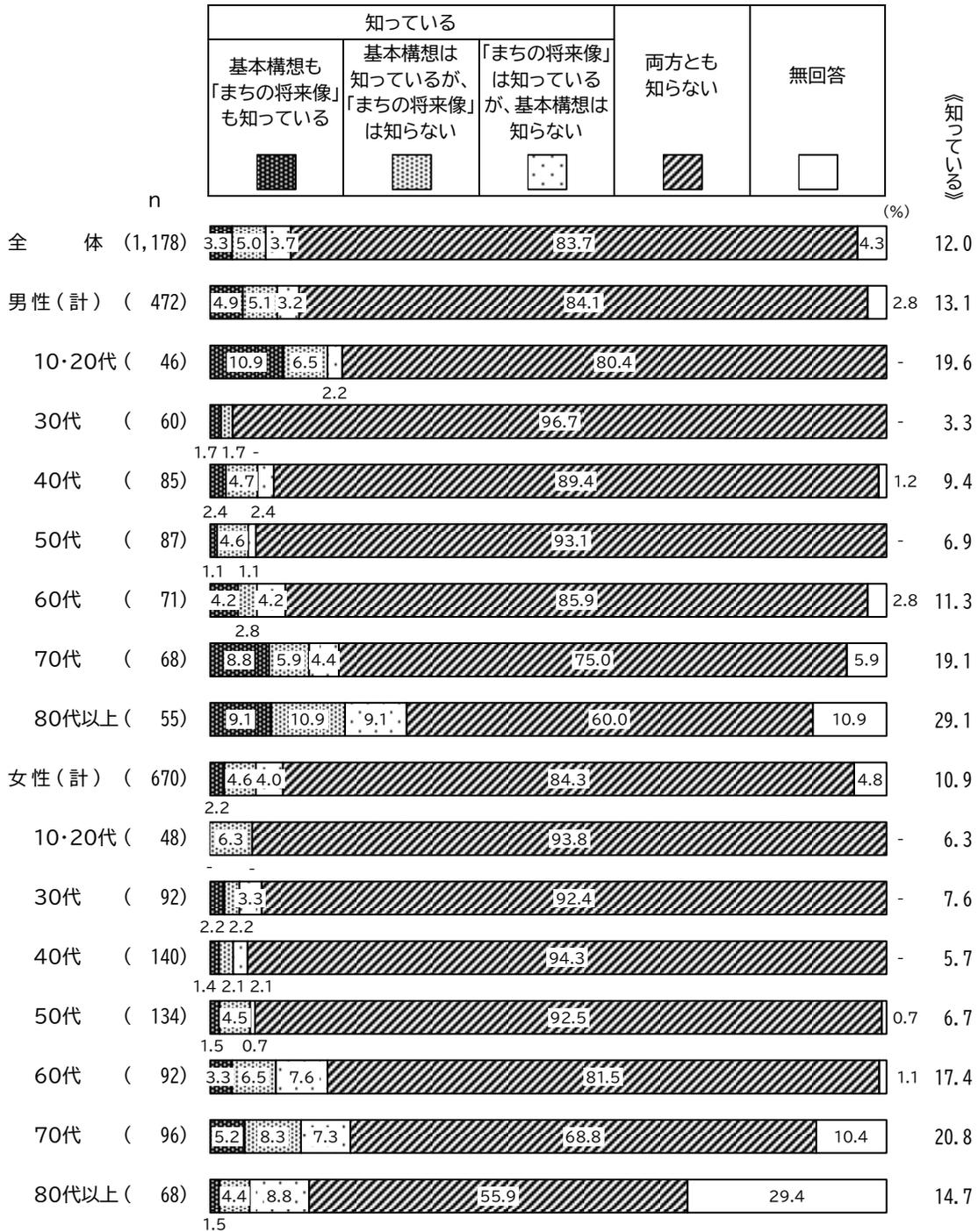
図14-1-1 基本構想と「まちの将来像」の認知度（全体）



②性・年代別

『知っている』は男性の80代以上（29.1%）が最も高く、男性の10・20代と60～70代、女性の60代以上で1割を超えている。「両方とも知らない」は男性の30代（96.7%）が最も高く、男性の50代、女性の50代以下も9割を超えている。

図14-1-2 基本構想と「まちの将来像」の認知度（性・年代別）



(2) 基本構想と「まちの将来像」の認知経路

(問52で「基本構想も「まちの将来像」も知っている」「基本構想は知っているが、「まちの将来像」は知らない」「まちの将来像」は知っているが、基本構想は知らない」のいずれかに回答した方にお尋ねします。)

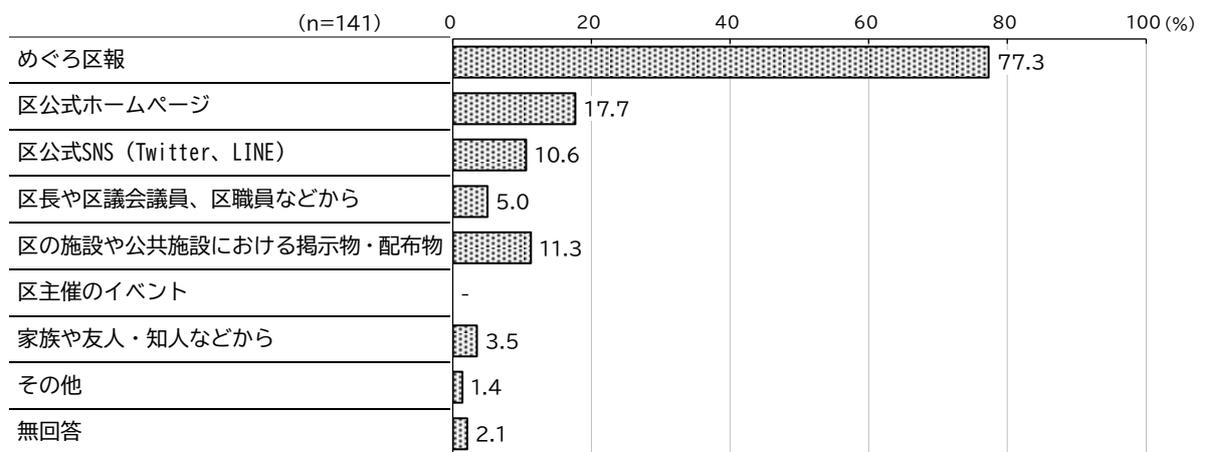
問52-1 基本構想または「まちの将来像」を何からお知りになりましたか。

(あてはまるもの3つまでに○)

①全体

「めぐろ区報」が77.3%で最も高くなっている。次いで、「区公式ホームページ(17.7%)」となっている。

図14-2-1 基本構想と「まちの将来像」の認知経路(全体)



(3) 良いと思う施策・悪いと思う施策

問53 あなたは、区の施策についてどのように思いますか。下表の1～30の中からそれぞれ5つまで選び、番号を記入してください。

問53-1 良いと思うところ

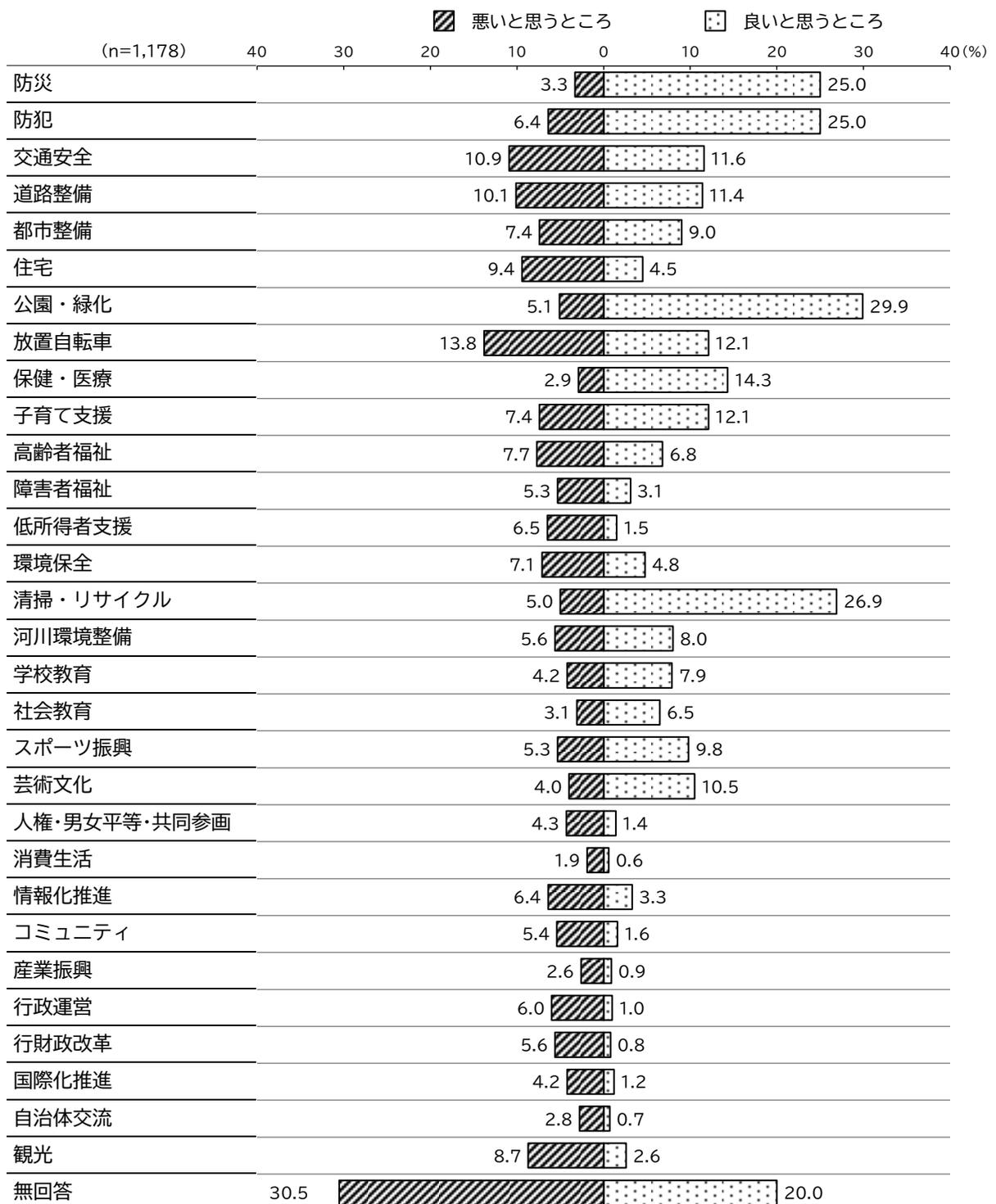
問53-2 悪いと思うところ

①全体

良いと思う施策は、「公園・緑化」が29.9%で最も高く、次いで、「清掃・リサイクル(26.9%)」、「防災(25.0%)」、「防犯(25.0%)」となっている。

悪いと思う施策は、「放置自転車」が13.8%で最も高く、次いで、「交通安全(10.9%)」、「道路整備(10.1%)」となっている。

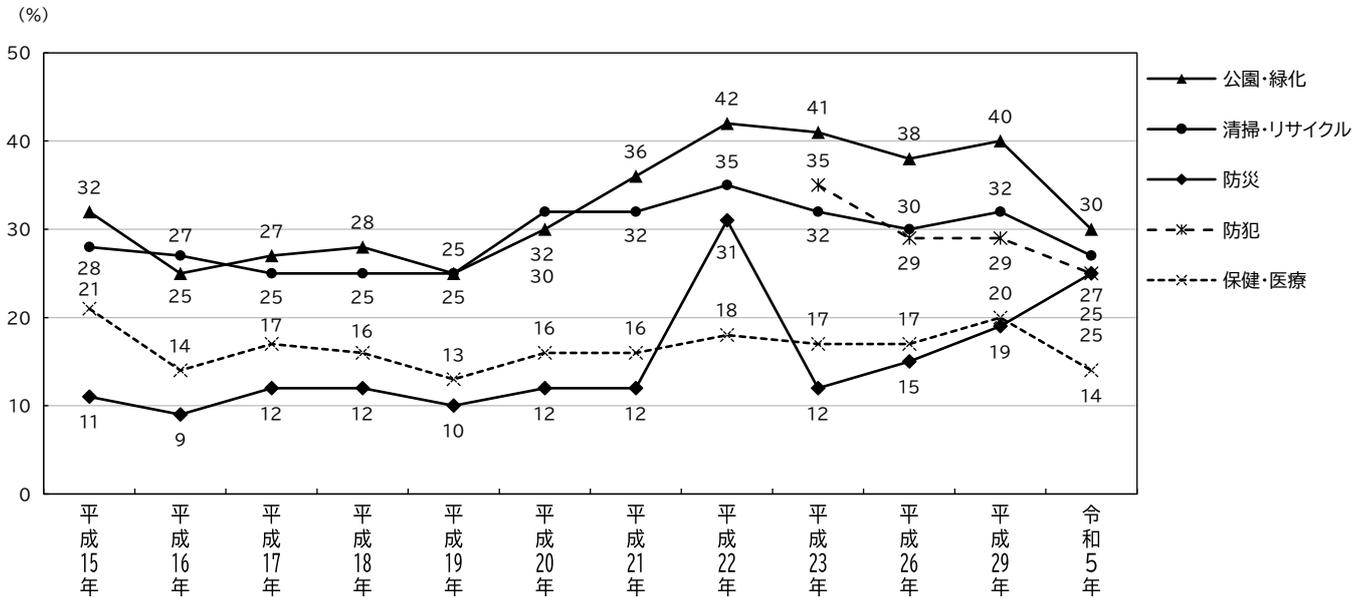
図14-3-1 良いと思う施策・悪いと思う施策(全体)



良いと思う施策の推移をみると、「公園・緑化」は平成21年以降第一位となっているものの、令和5年は平成29年に比べ減少している。「防災」は平成29年より増加し、順位も第五位から防犯と同率の第三位に上がっている。

悪いと思う施策の推移をみると、「放置自転車」は平成15年以降第一位で推移しているが、割合は年々減少している。

図14-3-2 良いと思う施策の推移【上位5項目】（全体）



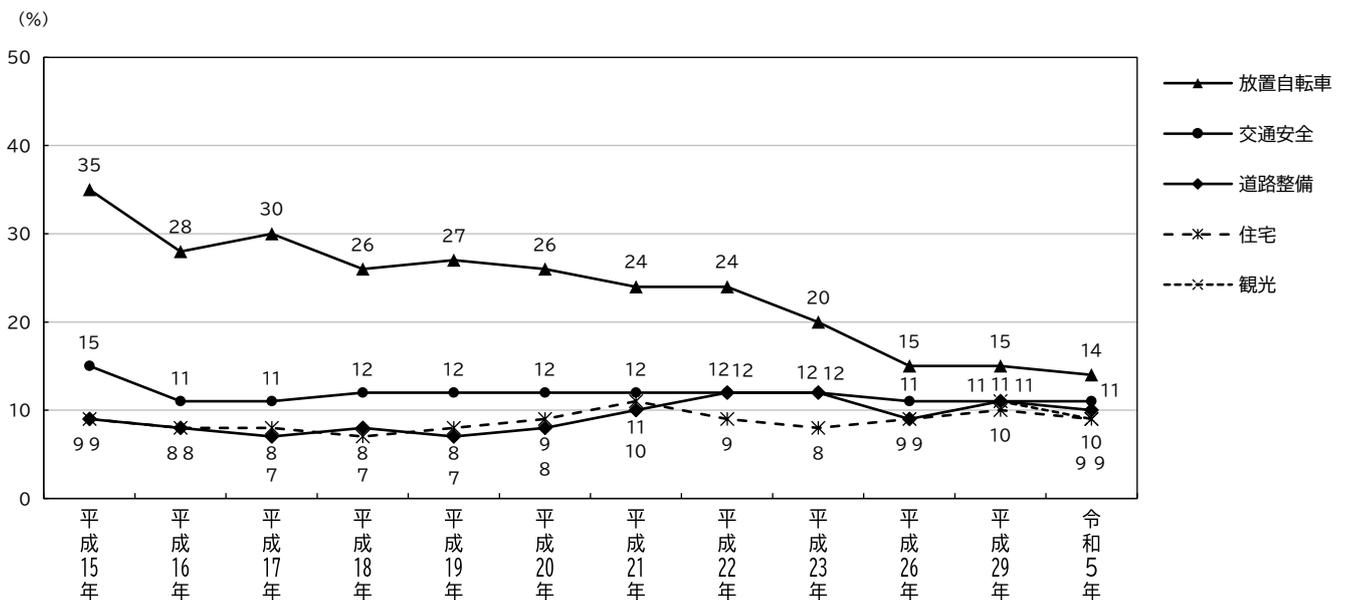
(注) 平成22年の「防災」の選択肢は「防災・防犯」としていた。

(注) 「防犯」は平成23年から新設した選択肢。

(注) 「観光」は平成29年から新設した選択肢。

(注) このグラフは今回調査における上位5項目の推移である（図14-3-3も同様）。

図14-3-3 悪いと思う施策の推移【上位5項目】（全体）



②地区別／良いと思う施策

「公園・緑化」は西部地区（35.5%）、北部地区（35.4%）、南部地区（28.8%）が高く、各地区で第一位に挙げられている。「防災」は中央地区（29.2%）が高く、第一位に挙げられている。東部地区は第一位が「清掃・リサイクル」（24.9%）、第二位が「公園・緑化」（24.5%）となっている。

表14-3-1 良いと思う施策（地区別）

(%)

	n	防災	防犯	交通安全	道路整備	都市整備	住宅	公園・緑化	放置自転車	保健・医療	子育て支援	高齢者福祉	障害者福祉	低所得者支援	環境保全	清掃・リサイクル
全体	1,178	25.0	25.0	11.6	11.4	9.0	4.5	29.9	12.1	14.3	12.1	6.8	3.1	1.5	4.8	26.9
北部	195	27.2	29.2	12.3	15.9	8.2	4.1	35.4	9.2	16.4	9.2	6.2	4.6	1.5	2.1	28.7
東部	233	23.6	23.2	11.2	10.7	9.4	6.0	24.5	9.9	11.6	12.0	6.4	3.0	0.4	4.7	24.9
中央	243	29.2	23.9	11.5	11.1	9.9	5.3	24.7	15.6	13.2	12.8	7.8	2.9	1.6	4.9	28.0
南部	208	24.5	25.5	10.1	8.7	10.1	3.8	28.8	8.7	16.3	13.5	9.1	2.4	3.4	4.3	24.0
西部	299	21.4	24.1	12.7	11.0	7.7	3.3	35.5	15.4	14.7	12.7	5.0	2.7	1.0	7.0	28.4

	n	河川環境整備	学校教育	社会教育	スポーツ振興	芸術文化	人権・男女平等・共同参画	消費生活	情報化推進	コミュニティ	産業振興	行政運営	行財政改革	国際化推進	自治体交流	観光
全体	1,178	8.0	7.9	6.5	9.8	10.5	1.4	0.6	3.3	1.6	0.9	1.0	0.8	1.2	0.7	2.6
北部	195	11.3	9.7	7.7	8.7	8.2	2.1	0.5	4.6	1.5	1.0	0.5	-	1.5	0.5	3.1
東部	233	13.3	6.0	4.3	8.6	11.2	1.3	0.4	3.0	2.1	0.4	1.3	1.3	0.9	0.4	5.2
中央	243	9.1	6.6	6.2	10.3	9.9	1.6	1.2	2.5	1.2	1.6	0.8	-	1.2	0.4	1.6
南部	208	3.4	8.2	4.3	11.1	5.8	0.5	0.5	2.9	1.9	1.0	0.5	1.9	1.9	1.0	1.9
西部	299	4.0	9.0	9.0	10.4	15.4	1.3	0.3	3.7	1.3	0.7	1.7	0.7	0.7	1.0	1.7

(注) 無回答は省略

③地区別／悪いと思う施策

「放置自転車」は南部地区（16.3%）、北部地区（15.4%）が高く、西部地区を除くすべての地区で第一位に挙げられている。西部地区は「交通安全」（15.1%）が第一位に挙げられている。

表14-3-2 悪いと思う施策（地区別）

(%)

	n	防災	防犯	交通安全	道路整備	都市整備	住宅	公園・緑化	放置自転車	保健・医療	子育て支援	高齢者福祉	障害者福祉	低所得者支援	環境保全	清掃・リサイクル
全体	1,178	3.3	6.4	10.9	10.1	7.4	9.4	5.1	13.8	2.9	7.4	7.7	5.3	6.5	7.1	5.0
北部	195	2.6	6.2	8.7	7.2	3.6	7.2	1.5	15.4	3.1	4.6	9.2	5.6	6.2	8.2	5.6
東部	233	2.1	6.4	9.0	8.6	5.6	10.7	4.7	12.9	3.9	9.4	6.4	5.2	6.4	6.4	4.7
中央	243	3.7	7.8	10.3	12.3	11.1	9.1	6.2	13.6	2.5	7.0	9.1	5.8	6.2	8.6	5.8
南部	208	5.3	3.4	9.6	8.2	5.8	11.5	7.2	16.3	1.9	8.7	6.3	3.4	7.2	5.8	3.4
西部	299	3.0	7.4	15.1	12.7	9.4	8.7	5.4	12.0	3.0	7.0	7.7	6.0	6.7	6.7	5.4

	n	河川環境整備	学校教育	社会教育	スポーツ振興	芸術文化	人権・男女平等・共同参画	消費生活	情報化推進	コミュニティ	産業振興	行政運営	行財政改革	国際化推進	自治体交流	観光
全体	1,178	5.6	4.2	3.1	5.3	4.0	4.3	1.9	6.4	5.4	2.6	6.0	5.6	4.2	2.8	8.7
北部	195	7.2	4.6	3.6	4.1	2.1	3.6	0.5	6.7	4.6	3.1	6.7	5.6	4.6	2.6	10.3
東部	233	9.9	4.7	2.6	7.7	6.4	3.0	3.9	6.0	4.7	2.6	4.3	5.2	1.7	3.9	6.9
中央	243	4.1	3.7	2.1	3.7	2.9	4.5	0.4	4.9	5.8	2.1	7.0	7.4	4.1	2.1	7.8
南部	208	2.9	3.4	4.3	3.8	2.9	5.8	1.0	6.7	5.3	2.4	6.3	4.8	3.8	1.9	7.2
西部	299	4.3	4.7	3.0	6.7	5.0	4.7	3.0	7.4	6.4	3.0	6.0	5.0	6.4	3.3	10.7

(注) 無回答は省略

④性・年代別／良いと思う施策

「公園・緑化」は男性の30代と50～60代、女性の50代以下で3割を超えている。「清掃・リサイクル」は男性の60代以上と女性の50～70代で3割を超え、「防災」は男性の60代と80代以上、女性の10・20代で3割を超え、「防犯」は男性の40～60代で3割を超えている。「子育て支援」は男性の40代（28.2%）が最も高く、次いで女性の30代（25.0%）が高くなっている。

表14-3-3 良いと思う施策（性・年代別）

(%)

	n	防災	防犯	交通安全	道路整備	都市整備	住宅	公園・緑化	放置自転車	保健・医療	子育て支援	高齢者福祉	障害者福祉	低所得者支援	環境保全	清掃・リサイクル
全体	1,178	25.0	25.0	11.6	11.4	9.0	4.5	29.9	12.1	14.3	12.1	6.8	3.1	1.5	4.8	26.9
男性計	472	27.5	28.4	15.0	13.8	11.2	3.8	29.2	13.1	13.6	14.4	5.5	3.2	0.8	4.7	26.9
10・20代	46	26.1	19.6	15.2	13.0	19.6	17.4	26.1	13.0	6.5	4.3	-	2.2	2.2	-	19.6
30代	60	25.0	25.0	8.3	13.3	11.7	1.7	35.0	10.0	10.0	20.0	-	1.7	1.7	6.7	18.3
40代	85	25.9	35.3	15.3	11.8	12.9	2.4	29.4	10.6	9.4	28.2	3.5	3.5	-	3.5	18.8
50代	87	24.1	31.0	16.1	14.9	12.6	3.4	31.0	13.8	19.5	16.1	8.0	5.7	1.1	3.4	29.9
60代	71	32.4	33.8	12.7	11.3	5.6	2.8	36.6	11.3	11.3	8.5	7.0	4.2	-	7.0	36.6
70代	68	26.5	25.0	13.2	14.7	8.8	1.5	20.6	17.6	17.6	7.4	7.4	1.5	1.5	7.4	30.9
80代以上	55	34.5	21.8	25.5	18.2	9.1	1.8	23.6	16.4	18.2	9.1	10.9	1.8	-	3.6	32.7
女性計	670	23.4	22.5	9.4	9.9	7.6	5.2	30.9	11.2	14.9	10.9	7.6	2.8	1.9	4.9	27.3
10・20代	48	31.3	14.6	14.6	18.8	14.6	4.2	35.4	4.2	14.6	16.7	4.2	2.1	-	4.2	20.8
30代	92	22.8	29.3	9.8	16.3	6.5	6.5	37.0	12.0	14.1	25.0	1.1	-	1.1	4.3	22.8
40代	140	22.9	25.0	8.6	7.1	13.6	6.4	38.6	10.7	15.7	17.1	8.6	5.7	2.1	5.7	27.9
50代	134	21.6	23.9	6.7	9.0	6.0	5.2	32.8	17.2	14.9	5.2	7.5	3.7	3.0	3.7	31.3
60代	92	26.1	25.0	8.7	9.8	5.4	1.1	28.3	8.7	14.1	4.3	8.7	-	1.1	5.4	31.5
70代	96	21.9	17.7	12.5	6.3	4.2	7.3	19.8	14.6	17.7	6.3	14.6	5.2	3.1	7.3	30.2
80代以上	68	22.1	14.7	8.8	7.4	2.9	4.4	19.1	2.9	11.8	1.5	5.9	-	1.5	2.9	19.1

	n	河川環境整備	学校教育	社会教育	スポーツ振興	芸術文化	人権・男女平等・共同参画	消費生活	情報化推進	コミュニティ	産業振興	行政運営	行財政改革	国際化推進	自治体交流	観光
全体	1,178	8.0	7.9	6.5	9.8	10.5	1.4	0.6	3.3	1.6	0.9	1.0	0.8	1.2	0.7	2.6
男性計	472	7.2	9.3	6.6	10.6	10.6	1.5	0.8	2.8	1.3	0.8	1.1	1.1	2.1	0.6	3.6
10・20代	46	8.7	6.5	8.7	6.5	6.5	4.3	2.2	-	-	2.2	-	-	6.5	-	13.0
30代	60	5.0	13.3	6.7	10.0	11.7	1.7	1.7	5.0	-	-	1.7	3.3	1.7	-	6.7
40代	85	8.2	16.5	7.1	14.1	9.4	-	-	3.5	-	-	1.2	1.2	1.2	1.2	3.5
50代	87	6.9	8.0	6.9	9.2	16.1	1.1	-	1.1	1.1	1.1	-	1.1	2.3	-	-
60代	71	7.0	4.2	5.6	14.1	15.5	1.4	-	2.8	4.2	2.8	1.4	1.4	2.8	-	2.8
70代	68	7.4	8.8	4.4	8.8	5.9	-	2.9	5.9	2.9	-	1.5	-	-	1.5	1.5
80代以上	55	7.3	5.5	7.3	9.1	5.5	3.6	-	-	-	-	1.8	-	1.8	1.8	1.8
女性計	670	8.7	7.2	6.7	9.4	10.9	1.3	0.4	3.7	1.9	1.0	1.0	0.6	0.3	0.7	2.1
10・20代	48	10.4	6.3	6.3	8.3	10.4	2.1	-	4.2	6.3	-	4.2	-	-	-	10.4
30代	92	8.7	12.0	8.7	14.1	13.0	4.3	1.1	1.1	3.3	3.3	-	-	-	-	2.2
40代	140	9.3	12.1	9.3	11.4	12.9	2.1	0.7	7.1	2.9	-	1.4	0.7	-	0.7	1.4
50代	134	9.0	6.7	6.0	5.2	6.0	0.7	-	3.7	-	1.5	-	0.7	0.7	-	2.2
60代	92	6.5	5.4	4.3	13.0	14.1	-	-	2.2	1.1	1.1	2.2	1.1	-	1.1	1.1
70代	96	10.4	3.1	7.3	8.3	13.5	-	1.0	4.2	-	-	-	-	-	2.1	1.0
80代以上	68	5.9	-	2.9	4.4	5.9	-	-	1.5	2.9	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	-

(注) 無回答は省略

⑤性・年代別／悪いと思う施策

「放置自転車」は男性の60～70代で2割を超え、男性の40～50代、女性の10・20代で1割台後半となっている。「交通安全」は男性の30代で2割を超え、「都市整備」は男性の80代以上で2割を超えている。「子育て支援」は男性の30代（18.3%）が最も高く、次いで女性の40代（14.3%）が高くなっている。

表14-3-4 悪いと思う施策（性・年代別）

(%)

	n	防災	防犯	交通安全	道路整備	都市整備	住宅	公園・緑化	放置自転車	保健・医療	子育て支援	高齢者福祉	障害者福祉	低所得者支援	環境保全	清掃・リサイクル
全体	1,178	3.3	6.4	10.9	10.1	7.4	9.4	5.1	13.8	2.9	7.4	7.7	5.3	6.5	7.1	5.0
男性計	472	4.9	6.8	14.0	11.7	10.0	10.6	6.6	17.4	3.0	8.5	8.7	6.6	6.4	5.5	4.9
10・20代	46	6.5	6.5	8.7	15.2	-	8.7	8.7	13.0	2.2	4.3	4.3	4.3	6.5	2.2	4.3
30代	60	1.7	-	23.3	13.3	8.3	13.3	8.3	6.7	5.0	18.3	3.3	3.3	8.3	5.0	1.7
40代	85	3.5	7.1	17.6	14.1	5.9	15.3	5.9	18.8	1.2	7.1	4.7	2.4	4.7	4.7	3.5
50代	87	4.6	6.9	9.2	12.6	11.5	10.3	5.7	18.4	2.3	12.6	11.5	6.9	2.3	5.7	6.9
60代	71	9.9	11.3	11.3	16.9	12.7	11.3	4.2	25.4	1.4	5.6	12.7	12.7	12.7	2.8	12.7
70代	68	2.9	7.4	17.6	4.4	8.8	8.8	7.4	20.6	2.9	4.4	10.3	10.3	7.4	8.8	2.9
80代以上	55	5.5	7.3	9.1	3.6	21.8	3.6	7.3	14.5	7.3	5.5	12.7	5.5	3.6	9.1	-
女性計	670	2.4	6.3	9.3	9.1	6.0	8.8	4.2	11.5	3.0	6.6	7.2	4.5	6.6	8.2	4.9
10・20代	48	-	8.3	10.4	4.2	-	12.5	-	16.7	-	4.2	4.2	4.2	2.1	18.8	4.2
30代	92	3.3	8.7	6.5	7.6	4.3	6.5	7.6	10.9	4.3	12.0	6.5	4.3	10.9	7.6	2.2
40代	140	1.4	5.0	10.7	10.0	9.3	10.7	6.4	12.1	2.1	14.3	5.0	5.7	7.1	6.4	4.3
50代	134	3.0	8.2	11.9	14.2	7.5	10.4	3.7	14.2	4.5	7.5	11.9	3.7	9.0	8.2	6.7
60代	92	5.4	5.4	10.9	5.4	6.5	13.0	3.3	9.8	5.4	1.1	10.9	6.5	7.6	6.5	5.4
70代	96	1.0	6.3	8.3	12.5	6.3	5.2	3.1	8.3	2.1	-	5.2	4.2	4.2	11.5	6.3
80代以上	68	1.5	1.5	2.9	2.9	1.5	1.5	1.5	8.8	-	-	2.9	1.5	-	2.9	4.4

	n	河川環境整備	学校教育	社会教育	スポーツ振興	芸術文化	人権・男女平等・共同参画	消費生活	情報化推進	コミュニティ	産業振興	行政運営	行財政改革	国際化推進	自治体交流	観光
全体	1,178	5.6	4.2	3.1	5.3	4.0	4.3	1.9	6.4	5.4	2.6	6.0	5.6	4.2	2.8	8.7
男性計	472	4.7	4.0	4.2	8.3	3.8	3.6	2.3	6.6	5.5	3.2	6.1	6.4	5.9	2.3	9.5
10・20代	46	6.5	4.3	6.5	17.4	2.2	2.2	4.3	13.0	10.9	2.2	8.7	4.3	8.7	2.2	6.5
30代	60	3.3	5.0	8.3	8.3	1.7	3.3	-	10.0	-	5.0	3.3	6.7	5.0	-	13.3
40代	85	-	5.9	2.4	5.9	5.9	3.5	1.2	9.4	4.7	2.4	5.9	8.2	10.6	3.5	14.1
50代	87	8.0	4.6	5.7	9.2	5.7	3.4	2.3	5.7	10.3	2.3	2.3	5.7	4.6	4.6	8.0
60代	71	8.5	2.8	5.6	9.9	2.8	2.8	4.2	4.2	2.8	4.2	9.9	7.0	5.6	-	12.7
70代	68	2.9	2.9	1.5	4.4	1.5	4.4	-	-	8.8	4.4	10.3	8.8	2.9	1.5	4.4
80代以上	55	3.6	1.8	-	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	-	1.8	3.6	1.8	3.6	3.6	5.5
女性計	670	6.0	4.6	2.2	3.6	4.2	4.9	1.5	6.6	5.5	2.4	6.1	5.2	3.1	3.3	8.1
10・20代	48	14.6	2.1	2.1	2.1	6.3	8.3	2.1	12.5	8.3	-	4.2	6.3	4.2	4.2	10.4
30代	92	9.8	13.0	2.2	7.6	5.4	6.5	2.2	10.9	8.7	4.3	9.8	7.6	3.3	4.3	9.8
40代	140	5.0	8.6	0.7	6.4	5.0	7.1	-	8.6	4.3	0.7	6.4	2.1	4.3	4.3	12.9
50代	134	5.2	2.2	5.2	2.2	3.7	5.2	1.5	6.0	4.5	3.7	9.0	9.7	6.0	3.7	8.2
60代	92	6.5	2.2	3.3	2.2	2.2	2.2	2.2	3.3	7.6	2.2	5.4	4.3	1.1	3.3	4.3
70代	96	3.1	-	1.0	2.1	6.3	2.1	3.1	4.2	5.2	3.1	3.1	4.2	1.0	2.1	2.1
80代以上	68	1.5	1.5	-	-	-	2.9	-	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	-	-	7.4

(注) 無回答は省略

(4) 優先して行ってほしい施策

問53 あなたは、区の施策についてどのように思いますか。下表の1～30の中からそれぞれ5つまで選び、番号を記入してください。

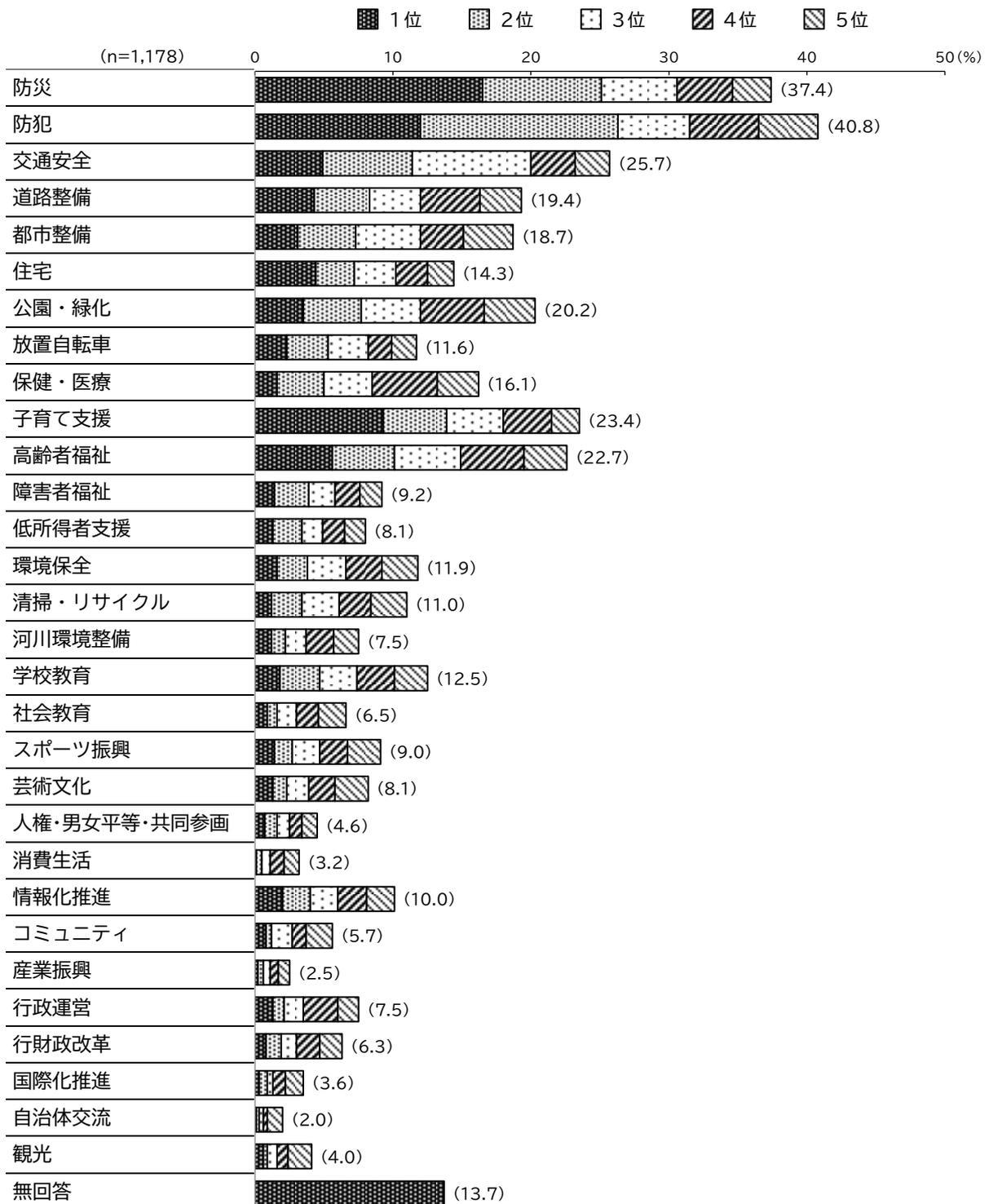
問53-3 優先して行ってほしいところ

①全体

1位に挙げられた施策は、「防災」が16.5%で最も高く、次いで、「防犯（12.0%）」、「子育て支援（9.3%）」となっている。

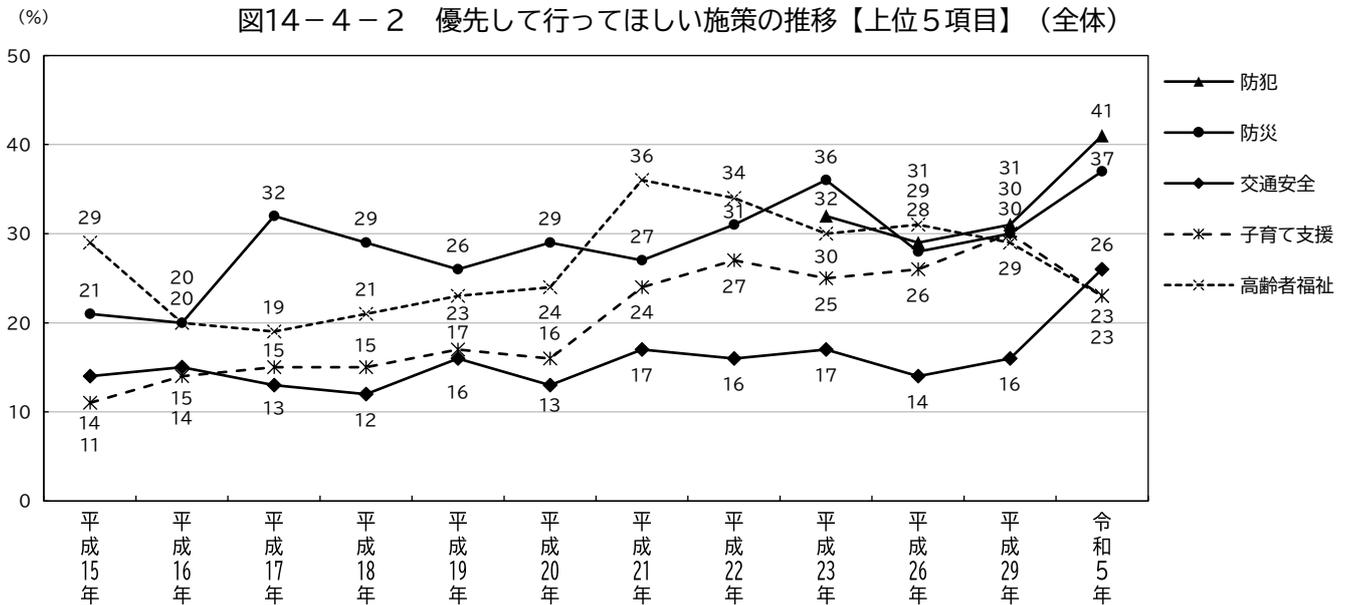
1位～5位を合わせると、「防犯」が40.8%で最も高く、次いで、「防災（37.4%）」、「交通安全（25.7%）」、「子育て支援（23.4%）」、「高齢者福祉（22.7%）」となっている。

図14-4-1 優先して行ってほしい施策（全体）



優先して行ってほしい施策の推移をみると、「防犯」、「防災」は平成23年以降3割前後で推移し令和5年は4割前後と増加している。「交通安全」は平成15年以降1割台半ばで推移していたが、令和5年は2割台半ばと増加している。「子育て支援」は平成29年までは増加傾向にあったが、令和5年は平成29年より減少し、「高齢者福祉」は平成21年以降減少傾向にある。

図14-4-2 優先して行ってほしい施策の推移【上位5項目】（全体）



(注) 平成22年の「防災」の選択肢は「防災・防犯」としていた。

(注) 「防犯」は平成23年から新設した選択肢。

(注) このグラフは今回調査における上位5項目の推移である。

②地区別

「防犯」は北部地区（43.6%）、南部地区（42.8%）が高く、「防災」は北部地区（40.0%）が高くなっている。「子育て支援」は南部地区（27.9%）が高く、「高齢者福祉」は中央地区（25.9%）、南部地区（24.5%）、西部地区（23.7%）が高くなっている。

表14-4-1 優先して行ってほしい施策（地区別）

(%)

	n	防災	防犯	交通安全	道路整備	都市整備	住宅	公園・緑化	放置自転車	保健・医療	子育て支援	高齢者福祉	障害者福祉	低所得者支援	環境保全	清掃・リサイクル
全体	1,178	37.4	40.8	25.7	19.4	18.7	14.3	20.2	11.6	16.1	23.4	22.7	9.2	8.1	11.9	11.0
北部	195	40.0	43.6	24.6	20.5	19.5	13.3	23.6	14.4	19.0	22.1	19.0	9.7	9.7	12.8	9.7
東部	233	36.1	37.8	25.3	14.2	16.3	16.3	16.3	11.6	18.9	24.0	19.3	6.9	8.2	11.2	9.9
中央	243	35.8	40.3	24.3	21.8	19.8	16.0	22.2	11.1	14.8	20.6	25.9	11.5	9.1	12.8	10.3
南部	208	38.0	42.8	27.4	15.9	16.3	14.4	20.2	12.5	14.4	27.9	24.5	9.1	6.3	12.0	12.0
西部	299	37.5	40.5	26.8	23.1	20.7	12.0	19.4	9.7	14.4	23.1	23.7	8.7	7.4	11.0	12.7

	n	河川環境整備	学校教育	社会教育	スポーツ振興	芸術文化	人権・男女平等・共同参画	消費生活	情報化推進	コミュニティ	産業振興	行政運営	行財政改革	国際化推進	自治体交流	観光
全体	1,178	7.5	12.5	6.5	9.0	8.1	4.6	3.2	10.0	5.7	2.5	7.5	6.3	3.6	2.0	4.0
北部	195	9.7	11.8	8.2	7.2	9.2	4.6	3.1	12.8	4.1	4.1	5.6	3.6	5.1	1.5	4.1
東部	233	14.6	12.9	6.4	12.9	9.0	4.3	3.0	11.2	5.2	1.3	7.3	6.4	3.4	2.1	4.3
中央	243	5.8	10.7	4.5	7.0	7.0	4.5	3.3	7.0	10.3	2.9	8.6	8.2	3.7	1.6	3.7
南部	208	3.4	11.1	5.8	7.7	8.2	6.3	4.3	9.6	4.8	1.9	8.2	7.7	1.0	1.4	3.4
西部	299	4.7	15.1	7.7	9.7	7.7	3.7	2.7	10.0	4.0	2.3	7.4	5.4	4.3	2.7	4.3

(注) 無回答は省略

③性・年代別

「防犯」は男性の10・20代と40～50代、女性の10・20代で5割を超え、女性の30～50代で4割を超えている。「防災」は男性の10・20代と50代、女性の50代以下で4割を超え、「交通安全」は男性の30代以下で4割を超えている。「子育て支援」は男性の30代（53.3%）が最も高く、次いで女性の30代（43.5%）が高い。

表14-4-2 優先して行ってほしい施策（性・年代別）

(%)

	n	防災	防犯	交通安全	道路整備	都市整備	住宅	公園・緑化	放置自転車	保健・医療	子育て支援	高齢者福祉	障害者福祉	低所得者支援	環境保全	清掃・リサイクル
全体	1,178	37.4	40.8	25.7	19.4	18.7	14.3	20.2	11.6	16.1	23.4	22.7	9.2	8.1	11.9	11.0
男性計	472	36.2	42.6	29.9	22.0	23.1	16.5	20.8	12.7	12.3	27.5	20.8	10.0	9.1	12.9	10.2
10・20代	46	47.8	54.3	43.5	23.9	26.1	32.6	28.3	15.2	15.2	32.6	15.2	8.7	2.2	17.4	2.2
30代	60	30.0	35.0	41.7	25.0	23.3	21.7	15.0	8.3	11.7	53.3	5.0	8.3	11.7	6.7	10.0
40代	85	36.5	51.8	28.2	20.0	25.9	18.8	22.4	11.8	12.9	35.3	10.6	3.5	7.1	15.3	10.6
50代	87	42.5	50.6	34.5	23.0	31.0	18.4	28.7	11.5	11.5	16.1	26.4	12.6	8.0	9.2	10.3
60代	71	38.0	38.0	25.4	31.0	31.0	12.7	19.7	15.5	16.9	18.3	22.5	8.5	9.9	18.3	18.3
70代	68	32.4	30.9	17.6	17.6	11.8	10.3	17.6	11.8	7.4	27.9	30.9	16.2	11.8	14.7	10.3
80代以上	55	25.5	34.5	21.8	12.7	7.3	3.6	10.9	16.4	10.9	12.7	34.5	12.7	12.7	9.1	5.5
女性計	670	38.8	40.9	23.6	17.9	16.3	13.6	20.6	10.9	19.6	21.0	24.0	8.5	7.3	11.5	11.3
10・20代	48	43.8	56.3	31.3	16.7	10.4	20.8	20.8	10.4	12.5	35.4	14.6	10.4	8.3	8.3	6.3
30代	92	47.8	47.8	18.5	17.4	23.9	15.2	23.9	12.0	19.6	43.5	7.6	5.4	12.0	13.0	14.1
40代	140	44.3	49.3	28.6	25.0	20.7	15.0	30.0	14.3	25.0	25.7	11.4	7.9	6.4	12.9	10.0
50代	134	44.8	42.5	28.4	18.7	17.2	14.2	23.1	9.0	24.6	16.4	33.6	7.5	6.7	11.9	11.2
60代	92	38.0	38.0	21.7	15.2	16.3	17.4	22.8	16.3	18.5	13.0	38.0	10.9	9.8	17.4	15.2
70代	96	30.2	29.2	20.8	11.5	9.4	10.4	7.3	6.3	15.6	11.5	37.5	12.5	6.3	8.3	12.5
80代以上	68	13.2	20.6	11.8	16.2	8.8	1.5	7.4	5.9	10.3	4.4	22.1	5.9	1.5	4.4	7.4

	n	河川環境整備	学校教育	社会教育	スポーツ振興	芸術文化	人権・男女平等・共同参画	消費生活	情報化推進	コミュニティ	産業振興	行政運営	行財政改革	国際化推進	自治体交流	観光
全体	1,178	7.5	12.5	6.5	9.0	8.1	4.6	3.2	10.0	5.7	2.5	7.5	6.3	3.6	2.0	4.0
男性計	472	7.4	13.8	7.4	10.4	7.0	4.2	3.4	10.2	6.4	3.4	8.5	9.3	3.0	1.7	5.5
10・20代	46	2.2	4.3	10.9	15.2	8.7	-	2.2	21.7	4.3	2.2	13.0	10.9	2.2	-	4.3
30代	60	6.7	25.0	5.0	21.7	6.7	1.7	8.3	18.3	6.7	3.3	8.3	13.3	5.0	-	8.3
40代	85	10.6	21.2	10.6	12.9	8.2	4.7	-	12.9	8.2	4.7	12.9	8.2	4.7	3.5	5.9
50代	87	11.5	8.0	11.5	11.5	9.2	1.1	2.3	9.2	4.6	4.6	5.7	6.9	1.1	1.1	4.6
60代	71	4.2	9.9	8.5	2.8	8.5	9.9	5.6	4.2	7.0	1.4	7.0	12.7	5.6	1.4	5.6
70代	68	2.9	16.2	1.5	2.9	2.9	10.3	1.5	5.9	8.8	1.5	8.8	10.3	1.5	-	4.4
80代以上	55	10.9	9.1	1.8	7.3	3.6	-	5.5	1.8	3.6	5.5	3.6	3.6	-	5.5	5.5
女性計	670	7.2	12.2	6.1	8.1	9.3	4.9	3.1	10.3	5.4	1.9	7.0	4.3	3.9	2.2	3.1
10・20代	48	8.3	12.5	10.4	8.3	14.6	10.4	2.1	14.6	12.5	-	6.3	6.3	8.3	-	4.2
30代	92	15.2	26.1	6.5	14.1	12.0	6.5	4.3	16.3	4.3	-	9.8	5.4	5.4	2.2	3.3
40代	140	7.9	18.6	8.6	11.4	10.0	4.3	2.1	16.4	3.6	2.1	6.4	2.1	6.4	2.1	5.7
50代	134	4.5	9.7	8.2	6.0	12.7	6.7	3.0	11.2	4.5	3.7	8.2	6.0	4.5	1.5	3.0
60代	92	5.4	4.3	2.2	5.4	7.6	5.4	3.3	5.4	4.3	2.2	4.3	4.3	1.1	1.1	4.3
70代	96	7.3	8.3	4.2	6.3	6.3	2.1	4.2	4.2	6.3	1.0	8.3	4.2	1.0	5.2	-
80代以上	68	1.5	1.5	1.5	2.9	-	-	2.9	-	7.4	2.9	4.4	2.9	-	2.9	-

(注) 無回答は省略

④優先して行ってほしい施策／上位5位

優先して行ってほしい施策上位5位をみると、「子育て支援」は男性の30代で1位、「高齢者福祉」は男性の80代以上、女性の60代以上、居住年数40年以上で1位となっている。

表14-4-3 優先して行ってほしい施策（地区別、性・年代別、居住年数別） (%)

属性	順位	n	1位	2位	3位	4位	5位
全体		1,178	防犯 40.8	防災 37.4	交通安全 25.7	子育て支援 23.4	高齢者福祉 22.7
地区別	北部	195	防犯 43.6	防災 40.0	交通安全 24.6	公園・緑化 23.6	子育て支援 22.1
	東部	233	防犯 37.8	防災 36.1	交通安全 25.3	子育て支援 24.0	高齢者福祉 19.3
	中央	243	防犯 40.3	防災 35.8	高齢者福祉 25.9	交通安全 24.3	公園・緑化 22.2
	南部	208	防犯 42.8	防災 38.0	子育て支援 27.9	交通安全 27.4	高齢者福祉 24.5
	西部	299	防犯 40.5	防災 37.5	交通安全 26.8	高齢者福祉 23.7	道路整備／子育て支援 23.1
性×年代別	男性(計)	472	防犯 42.6	防災 36.2	交通安全 29.9	子育て支援 27.5	都市整備 23.1
	10・20代	46	防犯 54.3	防災 47.8	交通安全 43.5	住宅／子育て支援	32.6
	30代	60	子育て支援 53.3	交通安全 41.7	防犯 35.0	防災 30.0	道路整備／学校教育 25.0
	40代	85	防犯 51.8	防災 36.5	子育て支援 35.3	交通安全 28.2	都市整備 25.9
	50代	87	防犯 50.6	防災 42.5	交通安全 34.5	都市整備 31.0	公園・緑化 28.7
	60代	71	防災／防犯 38.0		道路整備／都市整備 31.0		交通安全 25.4
	70代	68	防災 32.4	防犯／高齢者福祉 30.9		子育て支援 27.9	交通安全／道路整備／公園・緑化 17.6
	80代以上	55	防犯／高齢者福祉 34.5	防災 25.5		交通安全 21.8	放置自転車 16.4
	女性(計)	670	防犯 40.9	防災 38.8	高齢者福祉 24.0	交通安全 23.6	子育て支援 21.0
	10・20代	48	防犯 56.3	防災 43.8	子育て支援 35.4	交通安全 31.3	住宅／公園・緑化 20.8
	30代	92	防災／防犯 47.8		子育て支援 43.5	学校教育 26.1	都市整備／公園・緑化 23.9
	40代	140	防犯 49.3	防災 44.3	公園・緑化 30.0	交通安全 28.6	子育て支援 25.7
	50代	134	防災 44.8	防犯 42.5	高齢者福祉 33.6	交通安全 28.4	保健・医療 24.6
	60代	92	防災／防犯／高齢者福祉 38.0			公園・緑化 22.8	交通安全 21.7
	70代	96	高齢者福祉 37.5	防災 30.2	防犯 29.2	交通安全 20.8	保健・医療 15.6
80代以上	68	高齢者福祉 22.1	防犯 20.6	道路整備 16.2	防災 13.2	交通安全 11.8	
居住年数別	5年未満	228	防犯 49.1	防災 42.5	子育て支援 35.1	交通安全 30.7	都市整備／公園・緑化 25.0
	5年以上～10年未満	149	防犯 40.9	防災 35.6	子育て支援 30.9	公園・緑化 30.2	交通安全 25.5
	10年以上～20年未満	213	防犯 48.8	防災 42.3	交通安全 29.1	子育て支援 22.5	道路整備 21.6
	20年以上～30年未満	169	防災 43.2	防犯 39.1	高齢者福祉 29.0	交通安全 27.8	公園・緑化 23.7
	30年以上～40年未満	94	防犯 34.0	高齢者福祉 31.9	防災 30.9	子育て支援 24.5	交通安全 20.2
	40年以上	303	高齢者福祉 33.3	防犯 32.3	防災 30.0	交通安全 21.5	道路整備 18.5

⑤最も優先して行ってほしい施策／上位5位

最も優先して行ってほしい施策（1位に挙げられた施策）の上位5位をみると、「子育て支援」は男性の30～40代、女性の30代で1位、「高齢者福祉」は女性の80代以上で1位となっている。

表14-4-4 最も優先して行ってほしい施策（地区別、性・年代別、居住年数別） (%)

属性		順位	n	1位	2位	3位	4位	5位
全 体			1,178	防災 16.5	防犯 12.0	子育て支援 9.3	高齢者福祉 5.6	交通安全 4.9
地区別	北 部		195	防災 16.4	防犯 15.9	子育て支援 8.2	道路整備 5.6	交通安全 4.6
	東 部		233	防災 15.9	子育て支援 12.0	防犯 9.4	住宅 5.6	高齢者福祉 4.3
	中 央		243	防災 15.2	防犯 12.8	子育て支援 7.8	道路整備／住宅 5.3	
	南 部		208	防災 17.3	防犯 13.9	子育て支援 11.5	高齢者福祉 7.7	交通安全 5.3
	西 部		299	防災 17.4	防犯 9.4	子育て支援／高齢者福祉 7.7		交通安全 6.4
性×年代別	男 性（計）		472	防災 15.3	防犯 12.7	子育て支援 11.0	道路整備 6.6	交通安全 5.9
	10・20代		46	防災 23.9	道路整備 13.0	防犯／子育て支援 8.7		交通安全／公園・緑化 6.5
	30代		60	子育て支援 21.7	交通安全 11.7	防災 10.0	防犯／住宅 8.3	
	40代		85	子育て支援 20.0	防犯 15.3	防災 9.4	公園・緑化 5.9	道路整備／住宅／学校教育 4.7
	50代		87	防犯 18.4	防災 17.2	交通安全 8.0	都市整備 6.9	住宅／子育て支援 5.7
	60代		71	防災 21.1	防犯 15.5	道路整備 14.1	高齢者福祉 9.9	交通安全 5.6
	70代		68	防災 17.6	子育て支援 8.8	高齢者福祉 7.4	交通安全／住宅 5.9	
	80代以上		55	防犯 14.5	高齢者福祉 12.7	防災 9.1	子育て支援 7.3	公園・緑化 5.5
	女 性（計）		670	防災 17.5	防犯 12.1	子育て支援 8.2	高齢者福祉 6.1	住宅 4.5
	10・20代		48	防犯 16.7	子育て支援 14.6	防災 10.4	住宅／情報化推進 6.3	
	30代		92	子育て支援 22.8	防災 15.2	防犯 13.0		住宅／情報化推進 5.4
	40代		140	防災 19.3	防犯 12.1	子育て支援 10.7	公園・緑化 7.1	学校教育 5.7
	50代		134	防災 22.4	防犯 14.2	高齢者福祉 7.5	道路整備 6.0	交通安全／住宅／子育て支援 5.2
	60代		92	防災 20.7	防犯 15.2	高齢者福祉 9.8	交通安全 6.5	環境保全 5.4
	70代		96	防災 17.7	高齢者福祉 11.5	防犯 6.3	交通安全 5.2	住宅 4.2
80代以上		68	高齢者福祉 11.8	防災／防犯 7.4		清掃・リサイクル 4.4	都市整備／放置自転車／環境保全 2.9	
居住年数別	5年未満		228	防災 16.7	子育て支援 15.4	防犯 14.0	道路整備 7.5	交通安全／住宅 5.7
	5年以上～ 10年未満		149	防災 15.4	子育て支援 14.8	防犯 9.4	公園・緑化 6.7	情報化推進 6.0
	10年以上～ 20年未満		213	防災 16.4	防犯 12.7	子育て支援 7.5	交通安全 5.2	住宅／高齢者福祉 4.7
	20年以上～ 30年未満		169	防災 23.1	防犯 13.0	高齢者福祉 6.5	子育て支援 5.9	道路整備 4.7
	30年以上～ 40年未満		94	防災／防犯 12.8		子育て支援 9.6	住宅／高齢者福祉 7.4	
	40年以上		303	防災 14.2	防犯 11.2	高齢者福祉 9.9	子育て支援 5.6	交通安全 4.3

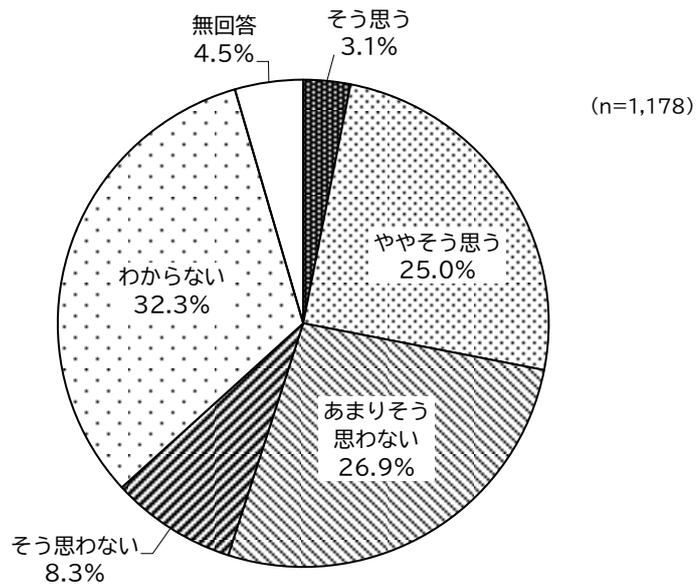
(5) 区政に区民の意見が反映されているか

問54 あなたは、区政には区民の意見が十分に反映されていると感じていますか。
(あてはまるもの1つに○)

①全体

「わからない」が32.3%で最も高くなっている。「そう思う(3.1%)」と「ややそう思う(25.0%)」を合わせた『そう思う』は28.0%、「あまりそう思わない(26.9%)」と「そう思わない(8.3%)」を合わせた『そう思わない』は35.2%である。

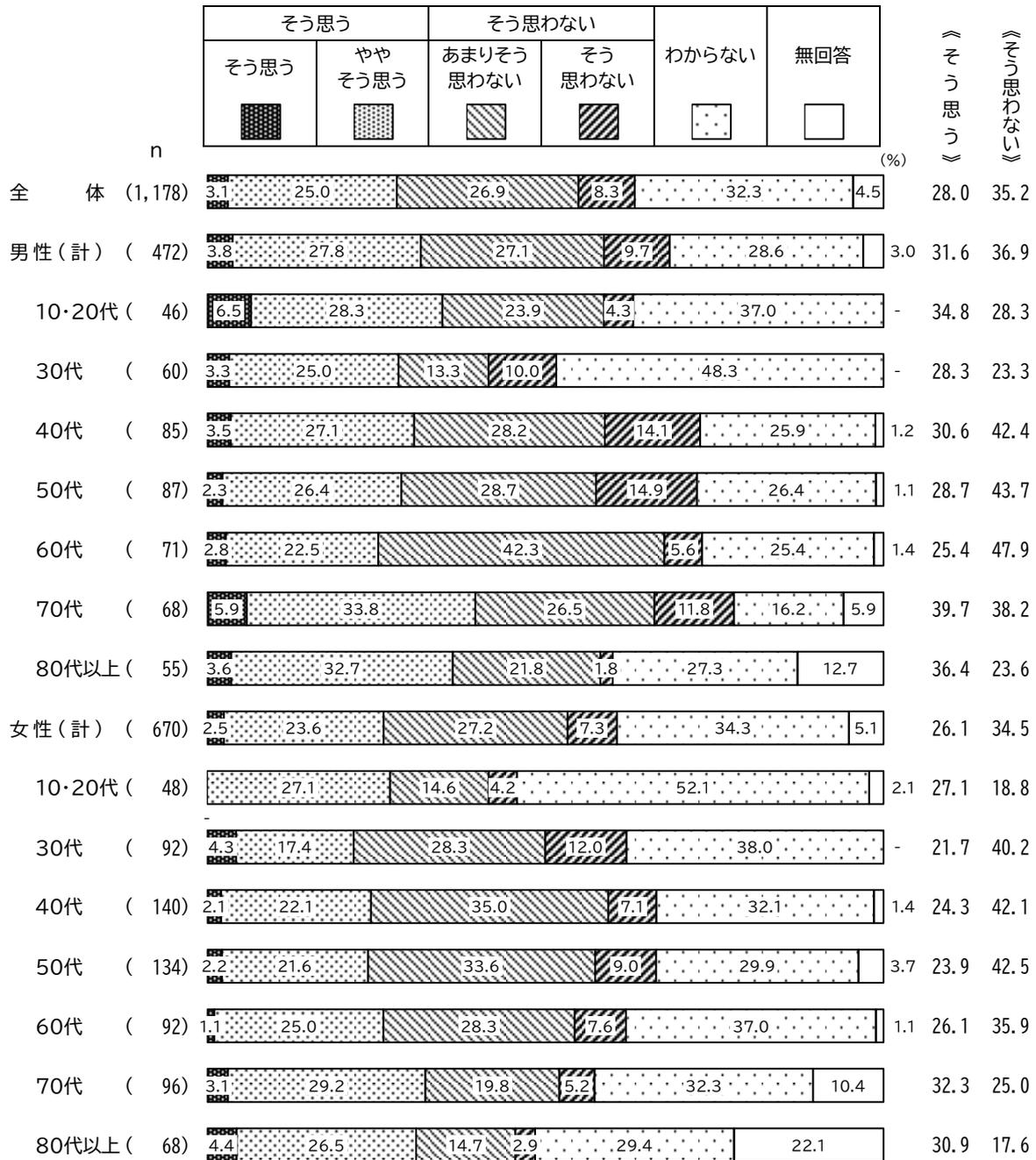
図14-5-1 区政に区民の意見が反映されているか (全体)



②性・年代別

『そう思う』は男性の70代（39.7%）が最も高く、次いで男性の80代以上（36.4%）が高くなっている。一方、『そう思わない』は男性の40～60代、女性の30～50代で4割を超えている。

図14-5-2 区政に区民の意見が反映されているか（性・年代別）



(6) 区政への意見

問55 区政について、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

記述式の回答に253名から347件の意見が寄せられた。

区政への意見（一部抜粋、編集）

<施策について> 203件

- 公共施設や公園（28件）
 - ・区役所が遠く不便なので駐車場のあらかゆる施設の拡充を期待したい
 - ・子どもが思いっきり遊べる公園にしてほしい
- 子育て・子ども支援、学校教育（26件）
 - ・教育や子育て支援の充実
 - ・区立中学校を魅力・特色のある学校にして欲しい
- 道路整備や駐輪場（22件）
 - ・狭くて自動車の交通量の多い道路の無電柱化を優先して進めてほしい
 - ・自転車置き場を増やしてほしい
- 都市計画、景観、住宅（22件）
 - ・セメント、ビル群の区ではなく、自然豊かな環境を
 - ・区営住宅を増やしてほしい
- 高齢者・障害者・低所得者支援（21件）
 - ・高齢者が安心して過ごせる目黒区であることを希望
 - ・低所得者や弱者（社会的に）に対しても手厚く助力してほしい
- 防犯・防災・安全（14件）
 - ・高齢化社会に相応しい、安心で安全な目黒区になることを希望
 - ・自転車のマナーが悪いので安心して歩ける環境を作してほしい
- 幅広い世帯への支援、税金・医療費の軽減（11件）
 - ・低所得者のみではなく幅広い世帯への支援をお願いしたい
- その他（59件）
 - ・ふるさと納税を獲得する施策を検討してはどうか
 - ・日本人コミュニティ向けのイベントがないように思える

<情報発信について> 46件

- ・区報などで区の政策などを詳しく公表してほしい
- ・区民の意見はどこで聞いてくれるのかわからない
- ・区のホームページをもう少しわかりやすくしてほしい

<日常生活について> 23件

- ・物価の高騰が非常に生活を苦しめている
- ・区のスピーカーの音声が聞こえづらく何を言っているのかわからない
- ・選挙の車がうるさい／飛行機の騒音に悩んでいる

<窓口サービス・職員について> 16件

- ・土日の区役所の対応日を増やして欲しい
- ・職員の対応の連携がなく区民利用者優先の意識が低い

<良いと思うところ> 32件

- ・保育園待機児童ゼロに感謝している
- ・情報の発信が行き届いているし、住区等の活動を通して住民の要望も汲み上げている

<その他> 27件

- ・区長の任期が長すぎる
- ・区議会議員の定数を削減し、その経費を福祉に充てるべき

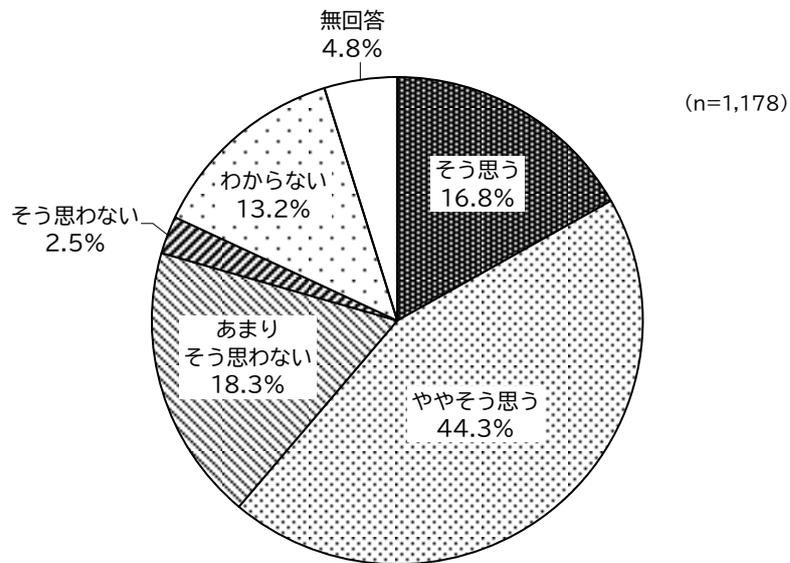
(7) 世論調査の内容が区民の意識把握にふさわしいか

問56 今回の調査でお答えいただいた質問は、区民の皆さまの意識を区が把握するために、ふさわしい内容だと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

①全体

「ややそう思う」が44.3%で最も高く、「そう思う(16.8%)」を合わせた『そう思う』が61.1%となっている。「あまりそう思わない(18.3%)」、「そう思わない(2.5%)」を合わせた『そう思わない』は20.8%である。

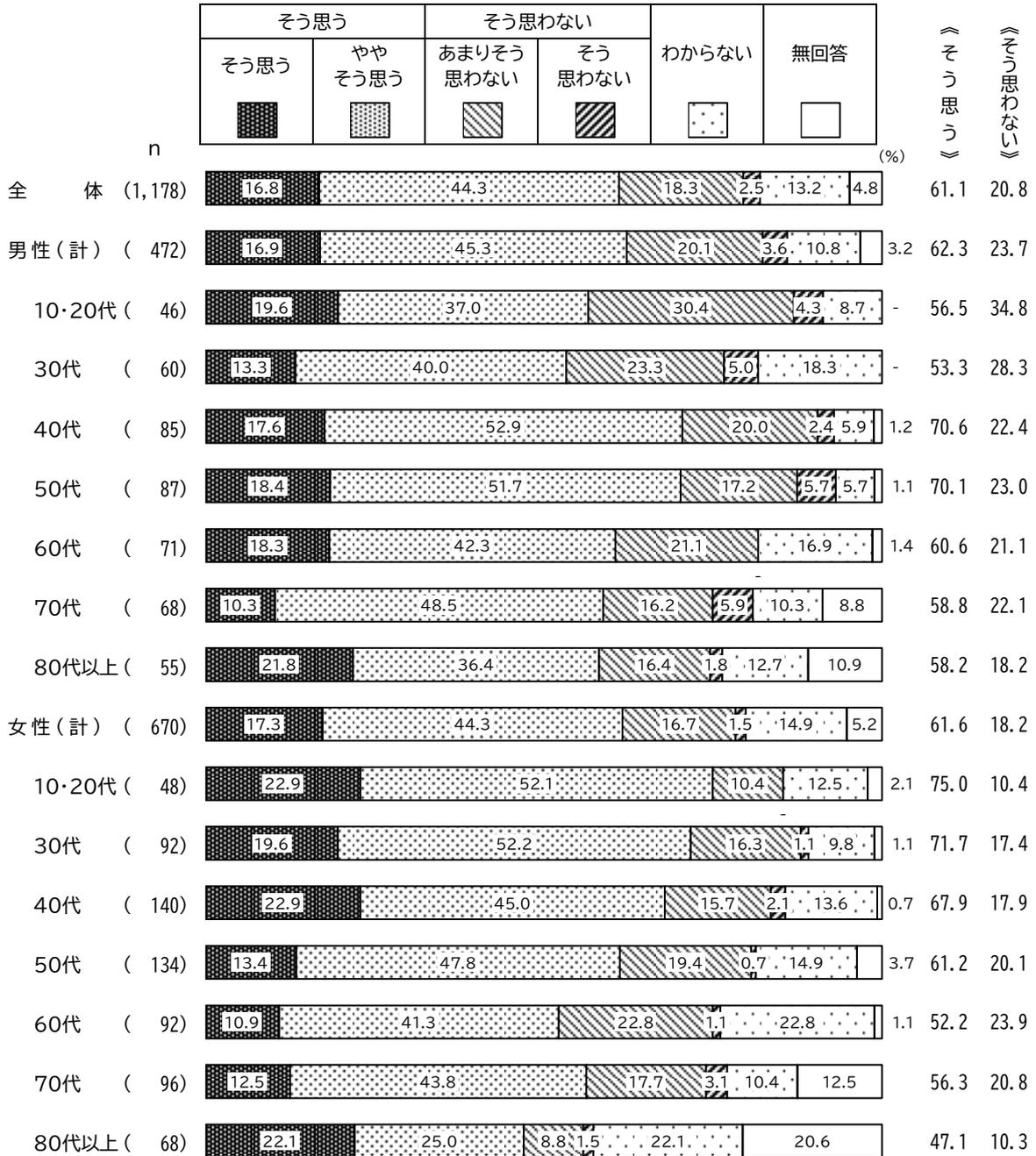
図14-7-1 世論調査の内容が区民の意識把握にふさわしいか(全体)



②性・年代別

『そう思う』は女性の10・20代（75.0%）が最も高く、男性の40～50代、女性の30代も7割を超えている。一方、『そう思わない』は男性の10・20代（34.8%）が最も高く、次いで男性の30代（28.3%）が高くなっている。

図14-7-2 世論調査の内容が区民の意識把握にふさわしいか（性・年代別）



(8) 世論調査の質問についての意見

問57 区では、今後も「世論調査」という形で区民の皆さまのご意見や声を聞く予定です。
この調査に関して、皆さまが不要だと思う質問や、新しく追加してほしい質問などがありましたら、ご自由にお書きください。

記述式の回答に141名から156件の意見が寄せられた。

世論調査の質問についての意見（一部抜粋、編集）

<今回の調査について> 69件

- ・質問が多すぎる
- ・選択肢や設問文の文章が長すぎる
- ・施策の質問は現状をほとんど知らないので答えづらかった
- ・設問の個々の内容を理解していないと難しく答えられないものがある
- ・自分には該当しないものがあり当事者の悩みと異なる回答になると重要度が薄まるかと心配
- ・各設問に意見を自由に書けるスペースを作ってほしい
- ・入力フォームが非常に使いにくい

<新しく追加してほしい質問> 37件

- ・学校教育について
- ・単身世帯に沿った質問
- ・空き家や古い家の対策
- ・防犯や道路整備を必要と感じる具体的な場所
- ・各施策の予算配分の妥当性について
- ・区長への評価／区議会等について

<調査手法について> 23件

- ・公式LINEで回答する方が手軽なのでアンケート方法を変更してほしい
- ・調査票IDから個人が特定できるのではと気になる
- ・手書きで調査に参加できるのは良かった
- ・もっと具体的に意見収集の場をつくる方が良い

<結果の公表・活用について> 13件

- ・このアンケート結果を区報に載せてほしい
- ・意見が反映されれば今後も区民は協力するのではないか

<その他> 14件

- ・年齢が送る時点でわかっているなら年齢別に質問内容が違っていても良いのでは
- ・何を質問事項とするかそれ自体を区民に聞いてほしい。何をどのようにするための調査なのかを明確にしたい。

資料編

第47回 目黒区世論調査

回答締切：令和5年6月30日（金）

【郵送で回答する場合】

- ・ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）にてご返送ください。
- ・返信用封筒には、お名前・ご住所などを記入しないでください。

【インターネットで回答する場合】

- ・同封の「インターネットでの回答がとても便利です」をご参照ください。

※IDは無作為に配付していますので、個人を特定するものではありません。
どなたがどのIDであるかは照合できません。

お問合せ先 **目黒区 情報政策推進部 区民の声課**

〒153-8573 東京都目黒区上目黒二丁目19番15号

電話 03-5722-9416（月～金曜日※祝日除く 8:30～17:00）

FAX 03-5722-9395

■ 目黒区での居住

問1 あなたは、目黒区に住んで何年になりますか。（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年以上～10年未満 | 3. 10年以上～20年未満 |
| 4. 20年以上～30年未満 | 5. 30年以上～40年未満 | 6. 40年以上 |

問2 あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。（あてはまるもの1つに○）

- | |
|-----------------------------|
| 1. 生まれてからずっと同じ場所 |
| 2. 目黒区内 |
| 3. 世田谷区、渋谷区、港区、品川区、大田区のいずれか |
| 4. 上記以外の東京都の区内 |
| 5. 東京都（23区以外） |
| 6. 神奈川県、埼玉県、千葉県いずれか |
| 7. その他の道府県・国外 |

問3 あなたが、目黒区に住んでいる理由は何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. 通勤・通学に便利、交通の便がよいから
2. 自分や家族の持家だから
3. 昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから
4. 親や親戚が近くに住んでいるから、親と同居しているから
5. 社宅や官舎などがあったから
6. 身近な商店街など買い物に便利だから
7. 緑の多い落ち着いた住環境だから
8. 目黒区のイメージがよいから
9. 地域コミュニティなど近隣の間人間関係がよいから
10. 公園や街路樹がよく整備されているから
11. 保健・医療施設などがよく整備されているから
12. 集会施設や文化施設などがよく整備されているから
13. 小中学校など子どもの教育環境がよいから
14. 高齢者福祉サービスなどの内容がよいから
15. 保育園など子育て支援サービスの内容がよいから
16. リサイクル活動や環境対策が進んでいるから
17. その他(具体的に)

問4 あなたは、目黒区に今後も住みたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. ずっと住んでいたい | 2. 当分の間は住んでいたい |
| 3. あまり住んでたくない | 4. できれば引っ越したい |

(問4で「3」「4」のいずれかに回答した方にお尋ねします。)

問4-1 あまり住んでたくない・できれば引っ越したいと思うのは、主にどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家賃相場が高いから
2. 通勤・通学に不便、交通の便が悪いから
3. 身近な商店街などの買い物環境が不十分だから
4. スーパーや商店街における、日用品の物価が高いから
5. 住環境や治安に不満を感じるから
6. 保健・医療体制に不満を感じるから
7. 集会施設や文化施設などに不満を感じるから
8. 小中学校など子どもの教育環境に不満を感じるから
9. 高齢者福祉サービスなどの内容に不満を感じるから
10. 保育園など子育て支援サービスの内容に不満を感じるから
11. 東京都心部は新型コロナウイルス感染症拡大の危険性が高いから
12. リモートワークやオンライン授業の進展により、東京都心部に居住する必要性が低くなったから
13. その他(具体的に)

問5 今後の住環境においては、どのようなことが重要だと思えますか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 住居の広さ | 2. 住居設備の充実 |
| 3. 家賃の安さ | 4. 身近な商店街などの買い物環境 |
| 5. 通学先や通勤先への交通アクセス | 6. 周辺環境の良さ(緑が豊か、など) |
| 7. 地域コミュニティのつながり、地域活動の活発さ | |
| 8. その他(具体的に) | |

■ 暮らし向き・仕事

問6 あなたの暮らし向き（経済状況）は、昨年の今ごろと比べてどうですか。
（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|--------------|-------------|----------|
| 1. 非常に苦しくなった | 2. 苦しくなった | 3. 変わらない |
| 4. 楽になった | 5. 非常に楽になった | |

（問6で「1」「2」のいずれかに回答した方にお尋ねします。）

問6-1 暮らし向きが苦しくなったのは、主にどのような理由からですか。
（あてはまるもの1つに○）

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 営業不振などで給料や収益が増えない、または減った |
| 2. 失業、退職、病気などで働けなくなった、あるいは働き手が減った |
| 3. 自分や家族の進学・浪人等にかかる出費が増えた |
| 4. 教育費が増えた（3. 以外） |
| 5. 家族が増えて、毎日の生活費が増えた |
| 6. 結婚、出産、病気など特別な出費があった |
| 7. 家や自動車、電化製品などの出費が増えた |
| 8. 年金の支給額が減少した |
| 9. その他（具体的に |

■ 防災

問7 在宅避難という言葉を知っていますか。（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

（問7で「1」と回答した方にお尋ねします。）

問7-1 在宅避難をするためにおこなっていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|----------------------------------|
| 1. 飲料水や非常食を常備している |
| 2. 携帯トイレ等の災害グッズを備蓄している |
| 3. 家具が転倒しないように固定している |
| 4. 都や目黒区からの防災に関する情報を収集している |
| 5. 火災に備えるために、消火器や感震ブレーカー等を設置している |
| 6. 耐震工事を行った |
| 7. その他（具体的に |
| 8. 在宅避難をするためにおこなっていることはない |

問8 区内で実施されている防災訓練※に参加したことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

※防災訓練には目黒区総合防災訓練、目黒区総合水防訓練、目黒区夜間避難所運営訓練、地域の避難所運営訓練、地域の防災訓練（街かど防災訓練など）があります。

(問8で「2」と回答した方にお尋ねします。)

問8-1 防災訓練に参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 訓練があることを知らない | 2. 仕事等で都合がつかない |
| 3. 訓練に興味がない | 4. 誰でも参加できるとは思っていなかった |
| 5. その他(具体的に |) |

問9 あなたが災害情報を収集する手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-------------------------------|----------------|-----------|
| 1. 区公式ホームページ | 2. 区公式 Twitter | 3. 防災行政無線 |
| 4. 区防災地図アプリ | 5. 緊急速報メール | 6. テレビ |
| 7. ラジオ | 8. ケーブルテレビ | |
| 9. 民間のアプリケーション (LINE・Yahoo!等) | | |
| 10. その他(具体的に | |) |

■ 地域活動・コミュニティ

問10 あなた(またはあなたの世帯)は、ご近所づきあいをしていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|-----------|-----------|--------------|
| 1. よくしている | 2. 時々している | 3. まったくしていない |
|-----------|-----------|--------------|

問11 あなた(またはあなたの世帯)は、町会・自治会に加入していますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|-----------|--------------|-------------|
| 1. 加入している | 2. 加入したことはない | 3. 以前加入していた |
|-----------|--------------|-------------|

(問11で「2」「3」のいずれかに回答した方にお尋ねします。)

問11-1 町会・自治会に加入していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 加入方法がわからない | 2. 加入の勧誘がない |
| 3. 活動内容がわからない | 4. 役員になりたくない |
| 5. 時間的な余裕がない | 6. 加入の必要性を感じない |
| 7. 人間関係がわずらわしい | 8. その他(具体的に |
| |) |

問12 町会・自治会や住区住民会議^{※1}が行っている地域活動^{※2}を知っていますか。

(あてはまるものそれぞれ1つに○)

町会・自治会	1. よく知っている	2. 知っている
	3. あまり知らない	4. まったく(ほとんど)知らない
住区住民会議	1. よく知っている	2. 知っている
	3. あまり知らない	4. まったく(ほとんど)知らない

※1 目黒区ではおよそ小学校区単位を「住区」と定め、住区ごとに「住区住民会議」という住民協議組織があります。

※2 「地域活動」とは、一定の範囲に居住する人たちが中心になって行う公益的な活動(問13-1に掲げる活動)をいいます。(行政機関と共催するものも含まれます。)

問13 あなた（またはあなたの世帯）は、下記の問13-1に掲げるような地域活動に参加したことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. よく参加する | 2. 参加したことがある | 3. 参加したことがない |
|-----------|--------------|--------------|

（問13で「1」「2」のいずれかに回答した方にお尋ねします。）

問13-1 次の地域活動のうち、「あなたが参加している・参加したことがある分野」は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--|
| 1. 防犯活動（地域安全パトロールなど） |
| 2. 防災活動（地域防災訓練など） |
| 3. 交通安全活動（交通安全教室、自転車点検など） |
| 4. 子育て支援活動（子育て相談や保育手伝いなど） |
| 5. 子どもの居場所づくり活動（キャンプや学校開放など） |
| 6. 福祉・介護支援活動（家事援助や介護、ひとり暮らし高齢者等の見守りなど） |
| 7. 地域の伝統継承（お祭り、もちつき大会など） |
| 8. 環境保全や美化活動（公園や緑道等の花壇の手入れ、地域清掃など） |
| 9. スポーツ活動（地域スポーツ大会・教室など） |
| 10. その他（具体的に |

問14 皆さんが地域活動に参加しやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 活動の必要性の周知 | 2. 活動参加の誘いやきっかけとなる機会の充実 |
| 3. 関心のある地域活動があること | 4. 円滑かつ良好な人間関係 |
| 5. 地域活動への参加の自由度があること | 6. ボランティア保険加入など補償制度の充実 |
| 7. その他（具体的に | |
| 8. わからない | |

■ 運動・スポーツ

問15 あなたは、この1年間に1回30分以上の運動やスポーツをどのくらい行っていますか。（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. ほぼ毎日のように行っている | 2. 週に2～3回程度行っている |
| 3. 週に1回程度行っている | 4. 月に2～3回程度行っている |
| 5. 年に数回程度行っている | 6. 1年間、ほとんど行わなかった |

（問15で「1」～「5」のいずれかに回答した方にお尋ねします。）

問15-1 どんな運動をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--|
| 1. 屋内球技（バレーボール、卓球、バドミントンなど） |
| 2. 屋外球技（野球、ソフトボール、サッカー、テニスなど） |
| 3. 武道（柔道、剣道、空手、弓道など） |
| 4. 水泳（水中ウォーキング、水中エアロビクスを含む） |
| 5. 野外活動（ウォーキング、ジョギング、登山、サイクリング、ゴルフなど） |
| 6. 海洋スポーツ（ヨット、サーフィン、スキューバダイビングなど） |
| 7. ダンス（社交ダンス、フォークダンス、民踊など） |
| 8. 健康体操（ラジオ体操、音楽体操、エアロビクス、ヨガ、太極拳など） |
| 9. ニュースポーツ（ゲートボール、輪投げ、グラウンドゴルフ、ティーボールなど） |
| 10. 雪と氷のスポーツ（スキー、スノーボード、スケートなど） |
| 11. その他（具体的に |

問 16 この1年間実施した運動やスポーツの実施場所を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 目黒区の体育施設・学校の体育館 | 2. 他自治体の公共のスポーツ施設 |
| 3. 民間スポーツ施設 | 4. 公園・広場・道路等 |
| 5. 自宅(室内・庭) | 6. その他(具体的に) |
| 7. 実施していない | |

問 17 あなたは、この1年間に目黒区立の体育施設を利用しましたか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---------|------------|
| 1. 利用した | 2. 利用していない |
|---------|------------|

(問 17で「2」と回答した方にお尋ねします。)

問 17-1 目黒区立の体育施設を利用しなかった理由を教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 体育施設で行っている教室事業・イベントを知らない |
| 2. 体育施設の利用方法がわからない |
| 3. 目黒区の体育施設以外で運動をしている(民間のスポーツ施設、区外の体育施設等) |
| 4. 運動やスポーツをする機会がない |
| 5. 運動やスポーツに関心がない |
| 6. その他(具体的に) |

問 18 あなたは、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較して、現在の自分の運動量をどのように思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 足りている | 2. ほぼ足りている |
| 3. やや足りていない | 4. 足りていない |
| 5. わからない | |

問 19 あなたは、今後どのような運動やスポーツをしたいですか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | |
|--|
| 1. 屋内球技(バレーボール、卓球、バドミントンなど) |
| 2. 屋外球技(野球、ソフトボール、サッカー、テニスなど) |
| 3. 武道(柔道、剣道、空手、弓道など) |
| 4. 水泳(水中ウォーキング、水中エアロビクスを含む) |
| 5. 野外活動(ウォーキング、ジョギング、登山、サイクリング、ゴルフなど) |
| 6. 海洋スポーツ(ヨット、サーフィン、スキューバダイビングなど) |
| 7. ダンス(社交ダンス、フォークダンス、民踊など) |
| 8. 健康体操(ラジオ体操、音楽体操、エアロビクス、ヨガ、太極拳など) |
| 9. ニュースポーツ(ゲートボール、輪投げ、グラウンドゴルフ、ティーボールなど) |
| 10. 雪と氷のスポーツ(スキー、スノーボード、スケートなど) |
| 11. その他(具体的に) |

問 20 あなたは、この1年間にスポーツの指導やスポーツ大会の運営などスポーツに関するボランティア活動を行いましたか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 日常的・定期的に行っている | 2. イベント・大会で不定期に行った |
| 3. 行っていない | 4. わからない |

■ 福祉・子育て

介護を必要とする高齢者等が増加する中、介護と育児が同時に直面する世帯（いわゆる「ダブルケア」）や障害のある子と要介護の親の世帯など、様々な課題を抱え、複合的な支援が必要な方が多くみられ、福祉の各分野を超えた包括的な支援が求められています。

問 21 あなたは、65歳以上の高齢者（障害のある方を含む）の介護※をしていますか。

（あてはまるもの1つに○）

※「問 21～問 25」における「介護」は、別居しているご家族の介護を含みます。また、ヘルパー等の仕事での介護は含みません。

1. している

2. していない

（問 21 で「1」と回答した方にお尋ねします。）

問 21-1 あなたから見て、どなたの介護をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 配偶者

2. 父

3. 母

4. 配偶者の父

5. 配偶者の母

6. 祖父

7. 祖母

8. 子

9. 兄弟・姉妹

10. その他（具体的に

）

問 22 あなたは、障害のある方（65歳以上の方及び小学生以下のお子さんを除く）の介護をしていますか。（あてはまるもの1つに○）

1. している

2. していない

（問 22 で「1」と回答した方にお尋ねします。）

問 22-1 あなたから見て、どなたの介護をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 配偶者

2. 父

3. 母

4. 配偶者の父

5. 配偶者の母

6. 祖父

7. 祖母

8. 子

9. 兄弟・姉妹

10. その他（具体的に

）

問 23 あなたは、小学生以下のお子さんの育児をしていますか。（あてはまるもの1つに○）

1. している

2. していない

（問 23 で「1」と回答した方にお尋ねします。）

問 23-1 あなたが育児をしているおさんは次のいずれにあてはまりますか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 就学前の乳幼児

2. 小学生

3. 障害や発達に不安のある就学前の乳幼児

4. 障害や発達に不安のある小学生

問 24 あなたが、介護や育児をする上で、不安なこと、困っていることは何ですか。または、あなたが今後、介護や育児をすることになった場合、どのようなことが心配ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 介護（または育児）と仕事の両立が難しい
2. 介護と育児（ダブルケア）や複数の方の介護の両立が難しい
3. 精神的に疲れる
4. 身体的に疲れる
5. 経済的にゆとりがない
6. 十分な介護（または育児）ができない
7. 自分の時間が少ない
8. 相談できる相手や窓口がない
9. 介護・障害者支援・育児のサービス内容や利用方法がわからない
10. 家族等の支援が得られない（自分以外に介護等を分担できる家族や親族等がない）
11. 介護等がいつまで続くのかわからない
12. 緊急時の対応が不安
13. 介護・障害者支援・育児のサービスや施設の利用が難しい
14. 新型コロナの影響で介護・障害者支援・育児のサービスや施設が休業・営業縮小している
15. その他（具体的に)
16. 特に不安はない
17. わからない

問 25 あなたは、安心して介護や育児をするためには、どのような支援が必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つまでに○)

1. 介護（または育児）と仕事の両立に関する情報提供の充実
2. 介護や育児に関する情報提供の充実
3. 介護や育児に関する総合的な相談支援窓口の充実
4. 相談支援窓口の夜間・休日等開設時間の拡充
5. 介護や育児の費用負担の軽減（経済的支援）
6. 居住する地域の支援（地域による見守りや子育て支援等）
7. 介護者等が休養できるサービスの充実（ショートステイや一時預かりサービスなど）
8. 緊急時に利用できるサービスの充実（緊急ショートステイや一時預かりサービスなど）
9. 家族会や介護者の会など当事者や経験者同士が気軽に相談し合える場の充実
10. 介護・障害者支援・育児のサービスや施設の整備充実
11. その他（具体的に)
12. 特にない
13. わからない

■ 都市計画・街づくり

問 26 「生物多様性」について知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|--------------|-------------|---------|
| 1. 意味を理解している | 2. 言葉は知っている | 3. 知らない |
|--------------|-------------|---------|

問 27 区では、「目黒区みどりの基本計画」を策定し、みどりの保全・創出・育成に努めています。そこで、魅力あるみどりのまちづくりのために、あなたが協力できること、やってみたいことは何ですか。(もっともあてはまるもの1つに○)

- | |
|---|
| 1. 自宅の庭や玄関などで植物を育てる |
| 2. 屋上や壁面を緑化する |
| 3. 庭に樹木を植える |
| 4. 建て替えの際に樹木をできるだけ保全する |
| 5. 公園や緑道などで花壇の世話や清掃などのボランティア活動に参加する |
| 6. サクラ基金への寄付など、サクラの保全事業に参加する |
| 7. みどりの普及啓発活動に参加する |
| 8. 自然と親しむため、身近なみどりやいきものを観察・記録し、みんなと情報共有する |
| 9. その他(具体的に) |
| 10. 特にない |

問 28 公園の魅力向上させるために、あなたが必要だと思うことは何ですか。(もっとも必要だと思うこと1つに○)

- | |
|--|
| 1. 四季折々の花やみどりが感じられること |
| 2. 障害のある子もいない子も誰もが一緒に遊べる環境づくり |
| 3. ボール遊び、泥んこ遊びなど、子どもが屋外で自由な遊びができる環境づくり |
| 4. 健康遊具の設置など公園を利用した健康づくりができること |
| 5. 飲食店等の店舗があったりイベントが開催されたりすること |
| 6. 花壇づくり、農作業など、土に触れることができること |
| 7. 災害時の避難場所としての活用や防災設備の充実 |
| 8. 自然観察や環境学習ができること |
| 9. その他(具体的に) |

問 29 区では「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりを進めています。歩きたくなる空間づくりのためにはどのような取組が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 歩車分離※された歩道の整備 |
| 2. 歩行者が憩うことができる空間(広場や公園)の整備 |
| 3. 開かずの踏切解消や鉄道高架が低いことによる通行制限の改善 |
| 4. 無電柱化による歩行空間改善 |
| 5. 歩道と車道間の段差解消などのバリアフリー化 |
| 6. 歩道舗装を明るいものにすること |
| 7. 路上駐車対策の強化 |
| 8. 放置自転車対策の強化 |
| 9. 自転車、電動キックボードなどの運転マナー啓発 |
| 10. 歩行者が休憩できるベンチ等の設置 |
| 11. 道路に出された看板や商品のせり出しをなくすこと |
| 12. その他(具体的に) |

※「歩車分離」とは、歩行者が通る道と車が通る道を分けることです。

■ 地球温暖化対策

区では2050年ゼロカーボン(脱炭素)シティの実現を目指すことを表明し、「目黒区環境基本計画」に基づき地球温暖化対策を推進しています。

問30 あなたは、身近な生活の中で地球温暖化の影響が起きていると感じますか。
(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 大いに起きている | 2. 起きている |
| 3. あまり起きていない | 4. 起きていない |
| 5. わからない | |

問31 あなたは、地球温暖化を防止するために、今後何を優先して行いたいと思いますか。
(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|-------------------------------|---|
| 1. 節電・節水などの省エネルギー行動 | |
| 2. 環境に配慮した製品(省エネ家電など)の購入 | |
| 3. 太陽光発電システムなどの再生可能エネルギー設備の設置 | |
| 4. 住宅の省エネルギー性能を向上させるリフォーム・改築等 | |
| 5. 再生可能エネルギー由来の電力の購入 | |
| 6. エネルギー使用量の「見える化」等によるエネルギー管理 | |
| 7. 自動車・自動二輪車の使用抑制 | |
| 8. ごみの減量、リサイクル | |
| 9. 屋上緑化や身近なみどりを増やす | |
| 10. 環境学習講座や環境イベントへの参加 | |
| 11. その他(具体的に |) |
| 12. 特にない | |

問32 地球温暖化を防止するために、区に特に力を入れて取り組んでほしいと思うことは何ですか。
(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|--|---|
| 1. 日常生活や事業活動における省エネルギーに関する情報提供 | |
| 2. 地球温暖化やその対策にかかる講演会の開催 | |
| 3. 屋上緑化や壁面緑化等の導入にかかる助成 | |
| 4. 再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入にかかる助成 | |
| 5. 学校での環境教育・学習の推進 | |
| 6. 学校等の区有施設を環境配慮型施設に改築 | |
| 7. 公共交通機関利用やエコドライブの普及、啓発 | |
| 8. 環境にやさしい自動車の率先導入、普及、啓発 | |
| 9. みどりの保全・創出への取組 | |
| 10. 環境省が提唱する賢い選択を促す国民運動「クールチョイス」の普及、啓発 | |
| 11. その他(具体的に |) |
| 12. 特にない | |
| 13. わからない | |

■ 生涯学習

区では、「目黒区生涯学習実施推進計画」を策定し、区民一人ひとりが生き生きと主体的に学び、その成果や経験を地域社会に生かすことができる生涯学習社会の実現を目指しています。

問 33 あなたは、この1年間に、生涯学習活動*を行いましたか。(あてはまるもの1つに○)

※生涯学習活動の具体例は問 33-1 を参照してください。

1. 生涯学習活動を行った
2. 活動したいと思ったができなかった
3. 活動したいと思わなかった

(問 33 で「1」と回答した方にお尋ねします。)

問 33-1 どのような生涯学習活動を行いましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 健康・スポーツ(水泳、ヨガ、体操、ダンス、健康法など)
2. 趣味的なもの(楽器演奏、生け花、書道、絵画、陶芸、俳句、囲碁、将棋など)
3. 教養的なもの(文学、歴史、科学、語学、講演会など)
4. パソコン、インターネットなどITに関係すること
5. 生活に役立つ技能に関すること(料理、編み物、和裁、洋裁など)
6. 暮らしに役立つ活動に関すること(消費生活、リサイクルなど)
7. 育児・教育に関すること
8. 自然体験など体験活動に関すること
9. 図書館の資料を利用して知識を得ること
10. その他(具体的に)

(問 33 で「2」「3」のいずれかに回答した方にお尋ねします。)

問 33-2 あなたが生涯学習活動をできなかった、またはしなかった理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事や家事、育児、介護などで忙しくて時間がない
2. 生涯学習活動をサポートする仕組みが整っていない
3. (講座などで)自分が希望する内容・時期・時間帯がない
4. 生涯学習に関する情報が少ない
5. 一緒に活動したり学んだりする仲間がいない
6. 生涯学習に関心がない
7. 健康上の理由で活動が困難
8. その他(具体的に)

問 34 あなたが生涯学習を行うために、どんなことが必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つまでに○)

1. 気軽に参加できる講座や関心のある講座がある
2. 講座やサークル活動内容などの情報が得やすい
3. 生涯学習活動に関心を持つ人が利用しやすい施設がある
4. 生涯学習活動をサポートする仕組みがある
5. 活動している人同士が交流できる機会がある
6. インターネットなどを使って、家庭でも生涯学習活動ができる環境が整っている
7. その他(具体的に)

問 35 あなたはこの1年間に、「これまで学校や社会で得た知識や経験」を生かした地域の活動等（例：地域のイベントで楽器演奏や作品展示を行う、児童館で工作や昔遊びを教える等）を行っていましたか。（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1. 既に地域の活動等を行っている | |
| 2. 地域の活動等を行いたいと思っているが、方法がわからない | |
| 3. 地域の活動等を行いたいとは思わない | |
| 4. その他（具体的に | ） |

問 36 あなたは、この1年間に、目黒区立の図書館を利用したことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 利用したことがある | 2. 利用したことがない |
|--------------|--------------|

（問 36 で「1」と回答した方にお尋ねします。）

問 36-1 利用した図書館はどこですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|----------------|-----------|-------------|
| 1. 八雲中央図書館 | 2. 大橋図書館 | 3. 中目黒駅前図書館 |
| 4. 目黒区民センター図書館 | 5. 守屋図書館 | 6. 目黒本町図書館 |
| 7. 洗足図書館 | 8. 緑が丘図書館 | 9. めぐろ電子図書館 |

（問 36 で「1」と回答した方にお尋ねします。）

問 36-2 この1年間でのどのぐらいの頻度で利用しましたか。（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|-------------|-------------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に2～3回程度 | 3. 週に1回程度 |
| 4. 月に2～3回程度 | 5. 月に1回程度 | 6. 年に数回程度 |
| 7. 年に1回程度 | | |

問 37 今後の区立図書館に期待するサービスは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--|---|
| 1. 図書資料の充実 | |
| 2. 電子書籍のコンテンツの充実 | |
| 3. 地域、目黒に関する資料のデジタル化 | |
| 4. 所蔵のない資料への要望（リクエスト）のメール及び図書館ホームページによる受付 | |
| 5. 新着資料のメールによる案内サービス | |
| 6. 読み聞かせ、ブックリストなどによる読書支援サービス（高齢者、児童、青少年、成人一般、赤ちゃん、子育て中、障害のある方、外国人の方など） | |
| 7. 利用者参加イベント（読書会、講座、クイズラリーなど） | |
| 8. 閲覧席利用の予約サービスの拡大及び充実 | |
| 9. データベース提供サービスの充実 | |
| 10. 図書館資料による課題解決支援サービス（ビジネス支援や、医療健康情報、法情報の提供など） | |
| 11. 開館日・開館時間の拡大 | |
| 12. その他（具体的に | ） |
| 13. 特にない | |

(問37で「1」と回答した方にお尋ねします。)

問37-1 充実を期待する図書資料は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------|--------------|------------|
| 1. 小説・文芸書 | 2. 入門書・実用書 | 3. 専門書・学術書 |
| 4. 事辞典類、参考図書 | 5. 新聞・雑誌 | 6. 児童書・えほん |
| 7. 外国語資料 | 8. 郷土資料・行政資料 | |
| 9. その他(具体的に | |) |

■ 情報推進

問38 区のDX※の取組の中で、一番最初に実現してもらいたいサービスを1つ選んでください。
(あてはまるもの1つに○)

※DX(デジタル・トランスフォーメーション)…「デジタル技術を活用して、あらゆる面で生活をより良い方向に変えていくこと」。

- | | |
|--|---|
| 1. 行政サービスのデジタル化(1つの窓口で複数手続きの完了、1度の書類提出で再提出は不要、キャッシュレス決済) | |
| 2. 行政手続のオンライン化(24時間、365日のオンライン手続申請、受付) | |
| 3. 必要としている情報のオンライン提供サービス(自分にあった情報の配信) | |
| 4. デジタル機器の活用教室、利用相談会(スマートフォン教室、相談会) | |
| 5. 区が保有しているデータの活用(防犯・防災、人口、地図データなど) | |
| 6. リモート会議ツールを活用した個別相談会の実施 | |
| 7. その他(具体的に |) |

問39 行政手続のオンライン化について、各種行政手続や相談などで、オンライン化した方がよいと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|---|
| 1. 住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票や証明書、納課税証明書の交付等申請 | |
| 2. 住民登録関係(転入届・転出届・転居届等)・戸籍関係(出生届、婚姻届、離婚届、死亡届等)等の届出 | |
| 3. 住民票等交付手数料・住民税(特別区民税・都民税)等の納付 | |
| 4. 手続にかかる相談(福祉・高齢者・障害者・区税、国民年金等) | |
| 5. 生活にかかる相談(法律・子育て・教育等) | |
| 6. その他(具体的に |) |
| 7. 各種手続のオンライン化は必要ない | |

■ 消費生活

問40 あなたが利用している区内の商店街はにぎわいがあると思いますか。
(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. とてもそう思う | 2. ややそう思う |
| 3. あまりそう思わない | 4. 全くそう思わない |
| 5. わからない(商店街を利用していない) | |

問41 目黒区の消費生活センターをご存じですか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|------------|----------------|---------|
| 1. よく知っている | 2. 名前は聞いたことがある | 3. 知らない |
|------------|----------------|---------|

問 42 この1年間に消費者トラブルにありましたか（1回だけのつもりが定期購入コースだった、トイレ修理を頼んだら高額な費用を請求されたなど）。（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. あったことがある | 2. あったことはない |
|-------------|-------------|

（問42で「1」と回答した方にお尋ねします。）

問 42-1 その際にどこかに相談しましたか。（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|---------|------------|
| 1. 相談した | 2. 相談しなかった |
|---------|------------|

（問42-1で「1」と回答した方にお尋ねします。）

問 42-2 相談は、どちらにしましたか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---|---|
| 1. 目黒区消費生活センター
2. 東京都消費生活総合センター
3. 国民生活センター
4. 商品・サービスの勧誘や販売を行う販売店や代理店等
5. 商品・サービスの提供元であるメーカー等の事業者
6. 家族・知人、同僚などの身近な人
7. 弁護士・司法書士等の専門家
8. 警察
9. 消費者団体
10. 民生・児童委員・ケアマネージャー等（地域の身近な相談者）
11. その他（具体的に |) |
|---|---|

■ 広報・ホームページ

問 43 あなたは、日ごろ、区政情報をどのように入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--|---|
| 1. めぐる区報（自宅に配布されたもの）
2. めぐる区報（区施設や駅、金融機関やコンビニエンスストアなど公共施設に置いてあったもの）
3. めぐる区報（区公式ホームページにあるPDF版）
4. めぐる区報（電子書籍【カタログポケット】版）
5. 暮らしのガイド
6. リビングガイド（「暮らしのガイド」の英語版）
7. 町会・自治会などの回覧板
8. 掲示板
9. 区施設の窓口や掲示板などにおけるチラシやポスター
10. 区公式ホームページ（スマートフォン・タブレット）
11. 区公式ホームページ（パソコン）
12. 区公式Twitter
13. 区公式LINE
14. 区公式YouTube
15. 区公式メールマガジン
16. 新聞・テレビ・ラジオなどのマスメディア
17. インターネットニュースやSNS、アプリなどのデジタルメディア
18. 口コミ
19. その他（具体的に |) |
|--|---|

問 44 あなたは、現在の「めぐろ区報」の紙面に満足していますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 1. 満足 | 2. どちらかと言えば満足 | 3. どちらとも言えない |
| 4. どちらかと言えば不満 | 5. 不満 | 6. 読んでいない |

問 45 区は令和4年度から、区内すべての世帯に「めぐろ区報」をお届けするようにしました。このことについて、どのようにお考えですか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 良い、評価する | 2. どちらかと言えば良い |
| 3. どちらかと言えば評価しない | 4. 評価しない |

問 46 目黒区公式ホームページの満足度について教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|---------------|---------------|----------------------|
| 1. 満足 | 2. どちらかと言えば満足 | 3. どちらとも言えない |
| 4. どちらかと言えば不満 | 5. 不満 | 6. ホームページを見ないのでわからない |

問 47 目黒区公式 LINE についてお伺いします。あなたは、目黒区公式 LINE の友だち登録をしたことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- | |
|--------------------------|
| 1. 登録したことがあります、現在も友だちである |
| 2. 登録したことがない |
| 3. 登録したことはあるが、既にブロックした |

(問 47 で「1」と回答した方にお尋ねします。)

問 47-1 あなたは、現在の目黒区公式 LINE に満足していますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 1. 満足 | 2. どちらかと言えば満足 | 3. どちらとも言えない |
| 4. どちらかと言えば不満 | 5. 不満 | |

(問 47 で「2」と回答した方にお尋ねします。)

問 47-2 あなたが、目黒区公式 LINE を友だち登録したことがない理由を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. LINEを使っていない |
| 2. LINEを使っているが、友だち登録をする必要性を感じない |
| 3. LINEを使っているが、友だち登録したくない |

(問 47 で「3」と回答した方にお尋ねします。)

問 47-3 あなたが、目黒区公式 LINE をブロックした理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 新型コロナウイルスのワクチン接種の予約以外では使うつもりがなかった |
| 2. 区から情報が届く頻度が多過ぎる |
| 3. 必要な情報、ほしい情報が少ない |
| 4. 使用感が悪い、使いづらい |
| 5. その他(具体的に) |

問 48 今後、目黒区公式 LINE に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 情報・メッセージの配信の充実
2. AIチャットボットにより、24時間、自動でさまざまな問い合わせに対応
3. 税金や介護保険料、公営住宅料、保育料等の各種料金等の公金の支払いにおいて、LINEアプリ上で使える決済サービスLINE Payを活用したキャッシュレス決済
4. 住民票の写しや納税証明書の請求など、申請行政手続きのオンライン化
5. 粗大ごみ収集の申し込み、処理手数料のLINE Payによる支払い
6. 災害発生時の情報収集、災害情報などの緊急連絡の伝達
7. 各種相談やカウンセリング
8. アンケート、オープン型リサーチ
9. 道路・河川・公園の損壊、資源物などの持ち去り通報などを受け付ける区民レポート機能(個人情報への入力不要)
10. 区独自のLINEスタンプを活用したシティプロモーション活動
11. その他(具体的に)
12. 特に期待はない

■ 自転車の安全利用

問 49 あなたは日常生活の中で、自転車を利用していますか。(あてはまるもの1つに○)

1. はい
2. いいえ

(問 49 で「1」と回答した方にお尋ねします。)

問 49-1 あなたは、自転車を安全に利用するために、どのような意識を持っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 自転車は道路交通法で軽車両であることを知っている
2. 交通ルール、マナーを理解し守っている
3. 事故を起こした際の高額な損害賠償の事例を知っている
4. 対人・対物の自転車保険に加入すべきであると考えている
5. 利用する際はヘルメットを着用すべきであると考えている
6. その他(具体的に)

問 50 あなたは自転車保険に加入していますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 自転車店のTSマーク以外の単体の自転車保険に加入している
2. 自動車保険や火災保険の特約に加入している
3. 職場などの団体保険に加入している
4. 自転車店で購入や点検の際に、保険に加入している
5. 加入していない
6. わからない

問51 あなたは自転車を利用する際にヘルメットを着用していますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 日常的に着用している
2. 着用する時としない時がある
3. 着用していないが、ヘルメットの購入予定がある
4. 着用しておらず、今後も着用する気はない(ヘルメットの購入予定なし)

■区の政策など

問52 区では令和3(2021)年3月に、「さくら咲き 心地よいまち ずっと めぐる」という「まちの将来像」を掲げる新しい基本構想※を策定しました。この基本構想について、または「まちの将来像」をご存知ですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 基本構想も「まちの将来像」も知っている
2. 基本構想は知っているが、「まちの将来像」は知らない
3. 「まちの将来像」は知っているが、基本構想は知らない
4. 両方とも知らない

※「基本構想」とは、まちづくりの基本的な理念や将来像と、それに向けての長期的な目標や政策の方向を示すものです。

(問52で「1」「2」「3」のいずれかに回答した方にお尋ねします。)

問52-1 基本構想または「まちの将来像」を何からお知りになりましたか。
(あてはまるもの3つまでに○)

1. めぐる区報
2. 区公式ホームページ
3. 区公式SNS (Twitter、LINE)
4. 区長や区議会議員、区職員などから
5. 区の施設や公共施設における掲示物・配布物
6. 区主催のイベント
7. 家族や友人・知人などから
8. その他(具体的に)

問53 あなたは、区の施策についてどのように思いますか。下表の1～30の中からそれぞれ5つまで選び、番号を記入してください。（それぞれあてはまる施策の番号を5つまで記入）

問 53-1 良いと思うところ

問53-1 回答欄				

問 53-2 悪いと思うところ

問53-2 回答欄				

問 53-3 優先して行ってほしいところ

問53-3 回答欄				
1位	2位	3位	4位	5位

番号	施策	内容
1	防災	避難所整備、食糧・水・防災資機材の備蓄など
2	防犯	犯罪に強い街づくりの強化、地域安全パトロールの推進
3	交通安全	交通安全の啓発、カーブミラー・ガードレールや歩道の整備など
4	道路整備	道路の維持管理、都市計画道路の整備など
5	都市整備	都市計画、都市景観の整備、地区計画、建物の不燃化促進、駅周辺整備など
6	住宅	公営住宅等の供給、家賃助成、住宅に関する相談など
7	公園・緑化	公園や緑道の整備、生垣づくりや屋上緑化の助成、身近な自然の啓発など
8	放置自転車	駐輪場の整備、放置自転車の撤去など
9	保健・医療	健康診断や健康づくり、在宅療養の支援、食品衛生、環境衛生など
10	子育て支援	保育園・児童館・学童保育クラブの整備や充実、子育ての相談、児童虐待への対応など
11	高齢者福祉	在宅生活支援、生きがい対策、高齢者福祉施設の整備、介護保険など
12	障害者福祉	障害福祉サービスの充実、障害福祉施設の整備、障害理解・差別解消の推進、建物のバリアフリー化推進など
13	低所得者支援	就労相談の充実、生活の援助や自立支援など
14	環境保全	公害対策、地球温暖化対策、ポイ捨て防止対策や路上喫煙禁止対策など
15	清掃・リサイクル	ごみの収集、資源の分別回収・ごみ減量の推進など
16	河川環境整備	河川の水質浄化、川沿いの通路や橋の環境整備など
17	学校教育	小中学校や幼稚園・こども園の整備、特色ある学校づくり、教育内容の充実など
18	社会教育	図書館、社会教育館の整備、各種社会教育講座、青少年の健全育成など
19	スポーツ振興	体育館・プール等の整備、各種スポーツ教室、健康スポーツの啓発など
20	芸術文化	文化ホール・美術館の整備、コンサート・展覧会の開催、芸術文化活動の支援など
21	人権・男女平等・共同参画	人権尊重、男女平等・共同参画及び性の多様性尊重の推進など
22	消費生活	消費者相談、消費生活情報の提供、各種消費生活講座など
23	情報化推進	区政情報の提供、デジタル技術の活用による区民サービスの向上など
24	コミュニティ	地域活動支援、隣近所との交流や助け合いなど
25	産業振興	区内事業者への融資あっせん、商工相談、工業・農業振興、商店街活性化の支援など
26	行政運営	区政の透明性向上、契約事務改善、情報公開・個人情報保護など
27	行財政改革	事務事業や職員数の見直し、組織改正など
28	国際化推進	国際交流、外国人への支援、平和記念事業など
29	自治体交流	他の自治体の市民との交流、災害時の相互協力など
30	観光	観光資源の発掘と活用、訪れたいまちへ向けた環境づくりなど

問 54 あなたは、区政には区民の意見が十分に反映されていると感じていますか。
(あてはまるもの1つに○)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 55 区政について、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

問 56 今回の調査でお答えいただいた質問は、区民の皆さまの意識を区が把握するために、ふさわしい内容だと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 57 区では、今後も「世論調査」という形で区民の皆さまのご意見や声を聞く予定です。
この調査に関して、皆さまが不要だと思う質問や、新しく追加してほしい質問などがありましたら、ご自由にお書きください。

第47回 目黒区世論調査

主要印刷物番号
5-31号

令和5年11月発行

発行 目黒区
編集 目黒区 情報政策推進部 区民の声課
東京都目黒区上目黒二丁目19番15号
電話 03(5722)9416

調査委託先 株式会社アダムスコミュニケーション
東京都杉並区上高井戸1-8-17 ブライトコアビル新館6階
電話 03(6847)5757